RICOH

imagio MP W4001シリーズ

使用説明書
〈RP-GL/2&RTIFF〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. プリンターの設定

エミュレーションを切り替える.....5
印刷条件を設定する.....6
印刷条件リストを印刷する.....7
印刷条件リストの見かた.....8
RP-GL/2 印刷条件リスト.....8
RTIFF 印刷条件リスト.....9
プログラムを登録する.....11
プログラムを呼び出す.....12
エミュレーション検知に関する注意事項.....13
プログラムを削除する.....14
プログラム内容を印刷する.....15
給紙トレイを選択する.....16
印刷部数を設定する.....17

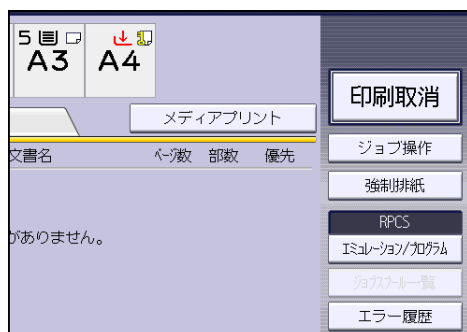
2. RP-GL/2 エミュレーション

RP-GL/2 エミュレーションとは.....19
RP-GL と RP-GL/2 の主な違い.....20
HP-GL、HP-GL/2、HP RTL について.....21
RP-GL/2 エミュレーション使用上の注意.....22
Windows から使用する - パソコンの設定.....24
Windows で印刷するための準備.....24
プリンタードライバーの設定を保存/呼び出しする.....24
RP-GL/2 ドライバーでできること.....25
DOS/UNIX から使用する - プリンターの設定.....27
DOS/UNIX で印刷するための準備.....27
RP-GL/2 の動作モード.....27
GL-GL/2 切り替えモードの動作について.....28
出力プロッターを設定する.....29
印刷条件の設定.....30
印刷する.....65
印刷オプションを指定する.....70
印刷オプションとは.....70
印刷オプションの指定方法.....70

印刷オプション一覧表......71
印刷オプションの指定項目......71
コマンドを指定する......77
エミュレーション切り替えコマンド......77
印刷オプション指定コマンド......78
印刷オプション指定コマンド一覧表......79
印刷オプション指定コマンドの指定項目......80
2 色印刷する......83
２色印刷に関する注意事項......83
図面サイズと用紙サイズによる縮尺率......84
RP-GL/2 エミュレーションのトラブルシューティング......85
思いどおりに印刷できないとき......85

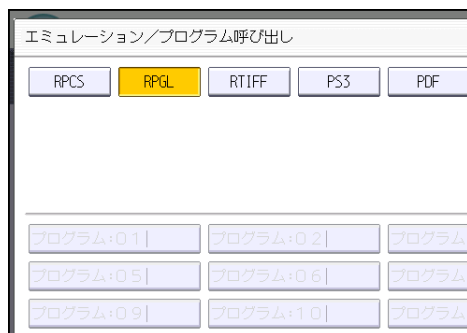
3. RTIFF エミュレーション

RTIFF エミュレーションとは......89
印刷するための準備......90
使用上の注意事項......91
印刷する......92
UNIX ワークステーションから使用する......92
DOS/V パソコンから使用する......92
印刷条件の設定......96
印刷条件設定項目一覧表......96
印刷条件の設定項目......98
印刷オプションを指定する......125
印刷オプションとは......125
印刷オプションの指定方法......125
印刷オプション一覧表......126
印刷オプションの指定項目......130
印刷オプションの省略形......172
入力データの仕様......175
印刷できる TIFF ファイル......175
印刷できる CALS ファイル......181
印刷できる JPEG ファイル......183
エミュレーション切り替えコマンド......184

サマリー印刷指定コマンド......185
印刷オプション指定コマンド......185
RTIFF エミュレーションのトラブルシューティング......187
エラーメッセージ......187
思いどおりに印刷できないとき......193

1. プリンターの設定

エミュレーションを切り替える

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押します。
4. 切り替えたいエミュレーションを選択します。

5. ［OK］を 2 回押します。

   呼び出したエミュレーションの画面が表示されます。

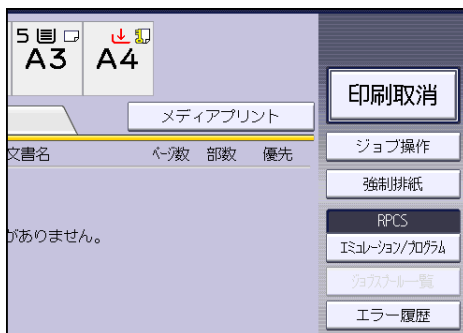
印刷条件を設定する

印刷するデータに応じた印刷条件を操作部で設定できます。

1

重要

- 印刷中や印刷データの受信中は、印刷条件を変更しないでください。
- 本機の設定によっては意図しない印刷結果となるときがあります。P.13「エミュレーション検知に関する注意事項」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押してエミュレーションを選択し、［OK］を押します。
4. ［印刷条件］を押します。
5. 項目を押して、印刷条件を設定します。

   変更する印刷条件の項目が表示されていないときは、［▲前へ］または［▼次へ］を押してタッチパネルの表示を切り替えます。
6. ［終了］を押します。
7. ［OK］を押します。

補足

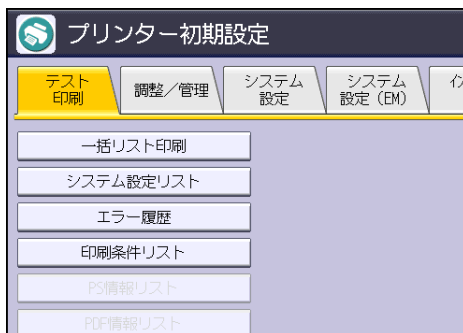
- 設定した印刷条件は、印刷データを印刷したあとも保持されます。ただし、本機の電源を切ったときや、エミュレーションを切り替えたときは、設定した印刷条件が初期値に戻ります。
- 使用する頻度が多い印刷条件は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくと、本機の電源を切ったり、エミュレーションが切り替わったりしても、プログラムを呼び出すことで同じ条件での印刷ができます。プログラムの登録については、P.11「プログラムを登録する」を参照してください。

印刷条件リストを印刷する

設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

印刷条件リストを印刷するときは、A4 サイズの用紙を選択することをお勧めします。

印刷する印刷条件が呼び出されていることを確認してから、操作してください。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。
2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [テスト印刷] タブが表示されていることを確認し、[印刷条件リスト] を押します。

4. [終了] を 2 回押します。

印刷条件リストの見かた

使用している機種や設定によっては、異なる内容が印刷されるときがあります。

RP-GL/2 印刷条件リスト

1. システム構成

エミュレーションやシステムのバージョン、メモリー容量、ホストバッファ、給紙トレイにセットされている用紙サイズが印刷されます。

2. 印刷条件

印刷条件の設定項目、および現在の設定値が印刷されます。「*」がついている項目は、初期値から変更されている項目です。

3. 印刷条件：ペン設定

本機で設定したペン設定一覧が印刷されます。「*」がついている項目は、初期値から変更されている項目です。

4. プログラムキー登録状況

本機に登録されているプログラムが印刷されます。「No.1」～「No.16」に登録される名前（RGL.1、RTF.1 など）の数字部分はユーザーメモリースイッチ番号です。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに登録された順番で「1」から自動的に採番されます。

5. エラー履歴

エラーの履歴が印刷されます。

補足

- RP-GL/2 でエラーが発生したとき、次のページに「エラーリレキ」欄が印刷されます。この欄に RP-GL/2 で発生したエラーの一覧が印刷されます。

RTIFF 印刷条件リスト

お使いの機器名

RTIFF Ver. XX. XX. XX
PRINTER SYSTEM Ver. X. XX

1 システム構成

実装メモリ	2048 MB	プログラム指定	指定なし
受信バッファ	128 KB	印刷部数	1
処理用メモリ	10977 KB	処理用ディスク	1521 MB

給紙トレイ状況

トレイ 1	A4	トレイ 4	A4
トレイ 2	A3R	トレイ 5	A3R
トレイ 3	A2R		
手差し	A4		

2 印刷条件

1.給紙トレイ	システムデフォルト	K.縦変倍率	100%
2.用紙サイズ	指定しない	L.白黒反転	しない
4.リミットレス給紙	自 動	M.明るさ	100%
5.印刷方向	ポートレイト	N.コントラスト	100%
6.両面印刷	片 面	O.中央配置	す る
7.エンジン解像度	600dpi	P.自動変倍	しない
8.変倍率	100%	Q.エラー印刷	しない
9.左余白	0mm	R.印字モード	スムージングオフ
A.右余白	0mm	S.印刷領域	最 大
B.上余白	0mm	T.実サイズ変倍	す る
C.下余白	0mm	U.自動用紙選択	す る
D.Xオフセット	0mm	V.用紙超過率	5%
E.Yオフセット	0mm	W.データバッファ	メモリー
F.Xマージン	0mm	Z.画像の向き	0度回転画像
G.Yマージン	0mm	b.自動縮小	縮小しない
H.マルチ カラム	1	c.自動縮小余白補正	0mm
I.マルチ ロー	1	d.自動縮小無効倍率	5%
J.横変倍率	100%	e.縮小変倍時細線補正	縦線・横線補正

3 プログラムキー登録状況

No. 1	未登録	No. 5	未登録	No. 9	未登録	No. 13	未登録
No. 2	未登録	No. 6	未登録	No. 10	未登録	No. 14	未登録
No. 3	未登録	No. 7	未登録	No. 11	未登録	No. 15	未登録
No. 4	未登録	No. 8	未登録	No. 12	未登録	No. 16	未登録

CRG007

1. **システム構成**

   メモリー容量、受信バッファ、処理用メモリーの容量、指定されているプログラム、設定されている印刷部数、処理用ディスクの容量、給紙トレイにセットされている用紙サイズが印刷されます。

2. **印刷条件**

   印刷条件の設定項目、および現在の設定値が印刷されます。

3. **プログラムキー登録状況**

   本機に登録されているプログラムが印刷されます。「No.1」～「No.16」に登録される名前（RGL.1、RTF.1 など）の数字部分はユーザーメモリースイッチ番号です。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに登録された順番で「1」から自動的に採番されます。

プログラムを登録する

設定したエミュレーションモードや印刷条件は、電源を切ったり、エミュレーションを切り替えたりすると、すべて工場出荷時の設定に戻ります。使用する頻度が多い印刷条件は、プログラムとして本機に登録しておくことをお勧めします。プログラムは 16 個まで登録でき、電源を切っても保存されます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押してエミュレーションを選択し、［OK］を押します。
4. ［印刷条件］を押して必要な印刷条件を設定します。
5. ［終了］を押して印刷条件設定画面を閉じます。
6. ［プログラム登録/削除］を押します。
7. ［登録］が選択されていることを確認し、登録するプログラム番号を押します。
8. ［OK］を 2 回押します。

   プログラムが登録され、プリンターの画面に戻ります。

補足

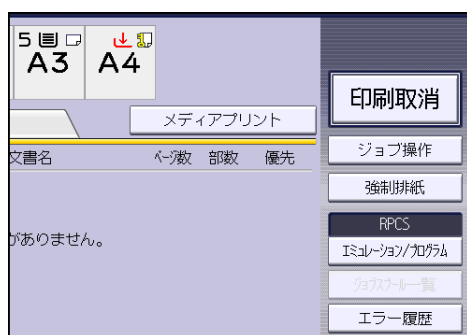
- 登録済みのプログラム番号には、登録したときのエミュレーション名が表示されます。登録済みのプログラム番号を指定して［OK］を押すと、新たな登録内容に上書きできます。
- プログラムを登録すると、登録した順にユーザーメモリースイッチ番号が設定されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに、登録された順番で「1」から自動的に採番されます。ユーザーメモリースイッチ番号は、印刷条件リストの＜プログラムキー登録状況＞で確認できます。印刷条件リストの見かたについては、P.8「印刷条件リストの見かた」を参照してください。

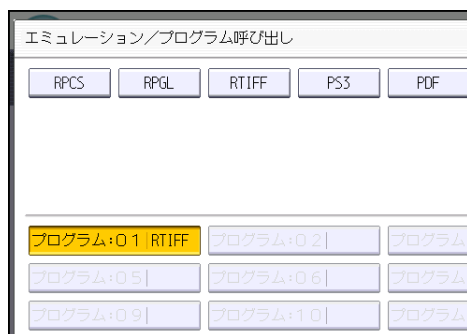
プログラムを呼び出す

プログラム登録した印刷条件で印刷するには、あらかじめプログラムを呼び出します。

- 本機の設定によっては意図しない印刷結果となるときがあります。P.13「エミュレーション検知に関する注意事項」を参照してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押します。

4. 呼び出すプログラムを押します。

5. ［OK］を押します。

選択したプログラム番号が画面に表示されていることを確認します。

6. ［OK］を押します。

エミュレーション検知に関する注意事項

意図しない印刷結果となったとき

意図しない印刷結果となったときは、[エミュレーション検知] の設定を確認してください。

[エミュレーション検知] が [する] に設定されていると、各エミュレーションのユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが起動します。また、印刷ジョブが変わるたびに検知が働きます。これらの動作によって、意図しない印刷結果となるときがあります。

この場合、[プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [しない] に設定してください。[エミュレーション検知] については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

補足

- RTIFF エミュレーションでは、RTIFF 以外のエミュレーションやプログラムが呼び出されているときに限り、ユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが起動します。RTIFF エミュレーションまたは RTIFF のプログラムが呼び出されているときは、[エミュレーション検知] が [する] になっていても、ユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムは起動しません。
- プログラムが登録されていないときは、検知されたエミュレーションの初期値が呼び出されます。

印刷途中で異なるエミュレーションに切り替わったとき

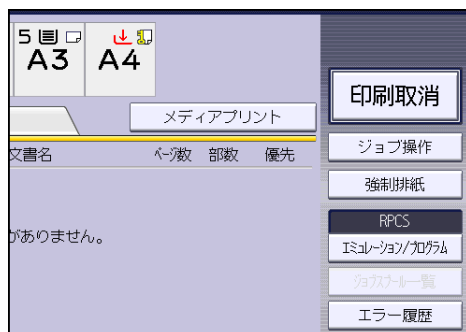
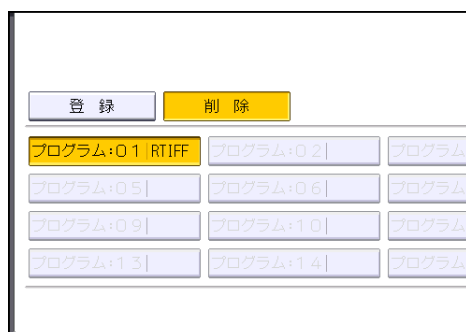
[エミュレーション検知] が [する] に設定されているとき、[インターフェース切替時間] の設定が短いと、データの途中で誤ったエミュレーションに切り替わることがあります。

[インターフェース切替時間] を長めに設定するか、[エミュレーション検知] を [しない] に設定してください。

[エミュレーション検知] については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。[インターフェース切替時間] については、『プリンター』「インターフェース設定」を参照してください。

1

プログラムを削除する

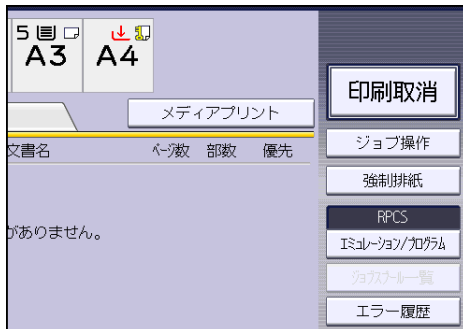
1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［プログラム登録/削除］を押します。
4. ［削除］を押します。
5. 削除するプログラムを押します。

6. ［OK］を押します。

   確認画面が表示されます。

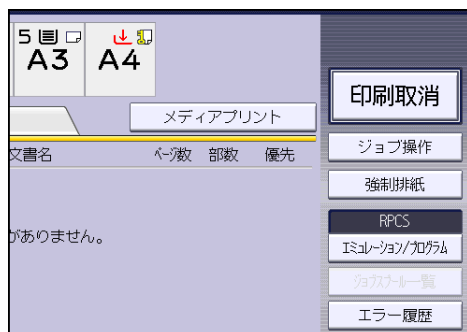
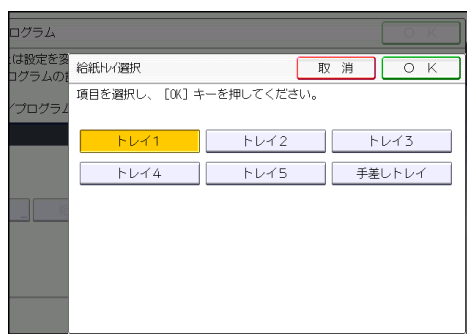
7. ［削除する］を押します。
8. ［OK］を押します。

プログラム内容を印刷する

本機に登録したプログラムの一覧を印刷できます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押して印刷するプログラムを選択し、［OK］を押します。
4. ［プログラム登録/削除］を押します。
5. ［プログラム内容印刷］を押します。
6. ［取消］を押します。
7. ［OK］を押します。

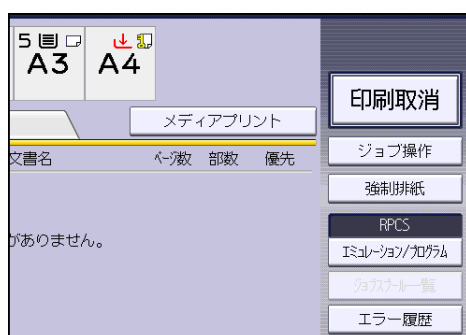
給紙トレイを選択する

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押してエミュレーションを選択し、［OK］を押します。
4. ［給紙トレイ選択］を押します。
5. 選択する給紙トレイを押します。

6. ［OK］を 2 回押します。

印刷部数を設定する

印刷部数は、RTIFF エミュレーションでは 999 部まで、RP-GL/2 エミュレーションでは 99 部まで指定できます。

設定した印刷部数は、印刷データを印刷したあとも保持されます。ただし、本機の電源を切ったときや、エミュレーションを切り替えたときは、設定した印刷部数が初期値（1 部）に戻ります。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押してエミュレーションを選択し、［OK］を押します。
4. ［印刷部数］を押します。
5. テンキーで印刷部数を入力します。
6. ［OK］を 2 回押します。

補足

- RP-GL/2 エミュレーションでは、アプリケーションによっては、操作部で設定した印刷部数が有効にならないときがあります。その場合は、印刷条件「102.印刷部数指定優先」を「機器側設定優先」に設定してください。
- RTIFF エミュレーションでは、印刷オプションの copies や qty で印刷部数を指定すると、操作部で設定した印刷部数は無効になります。

2. RP-GL/2 エミュレーション

RP-GL/2 エミュレーションとは

RP-GL/2 エミュレーションを使用すると、本機をレーザープロッターとして使用し、CAD アプリケーションから印刷できます。

HP（Hewlett-Packard）社で開発されたペンプロッター制御用の命令セット HP-GL（Hewlett-Packard's Graphics Language）、ラスタープロッター制御用の命令セット HP-GL/2（Hewlett-Packard's Graphics Language Standard）＋HP RTL（HP's Raster Transfer Language）に準拠しています。HP-GL、HP-GL/2、HP RTL で出力できる CAD アプリケーションから印刷できます。

Windows 環境や、DOS/UNIX 環境でも印刷できます。

RP-GL と RP-GL/2 の主な違い

RP-GL/2 エミュレーションは、RP-GL と RP-GL/2 の 2 種類のコマンド体系をサポートしています。

RP-GL は、Hewlett-Packard 社の HP-GL のコマンドに準拠しています。

RP-GL/2 は、Hewlett-Packard 社の HP-GL/2、および HP-RTL のコマンドに準拠しています。

RP-GL と RP-GL/2 の出力機能についての違いは以下のとおりです。

機能	RP-GL	RP-GL/2
エミュレートするプロッター	HP7475A、HP7550A、HP7570A、HP7575A、HP7576A、HP7580B、HP7585B、HP7586B、HP7595A、HP7596A	Type1：DesignJet600 Type3：DesignJet700
座標原点位置	左下、または中央	左下
イメージデータの出力	不可	可
座標軸回転	0°、90°	0°、90°、180°、270°
画像の重ね合わせ制御	なし	あり
ベクトル作画命令の圧縮機能	なし	あり
ミラー印刷機能	なし	あり
印刷色の対応	モノクロ（グレースケール）	Type1、Type3： モノクロ（グレースケール）
ペン指定	8 種類	16 種類
ペン属性の指定	線幅：26 段階 濃度：11 階調	線幅：26 段階 濃度：11 階調

HP-GL、HP-GL/2、HP RTL について

HP-GL

HP 社で開発されたペンプロッター制御用のコマンドです。HP-GL はもともと HP 社のプロッターを制御するための命令体系ですが、最も標準的なコマンドとして、多くの CAD アプリケーションおよびプロッターで使用されています。

HP-GL/2

HP 社で開発されたラスタープロッター制御用のコマンドです。

ペンプロッターをベースに考えられた HP-GL とは異なり、HP-GL/2 にはラスタープロッターを想定した高度な作画機能が盛り込まれています。

また、HP-GL/2 は HP-GL にはない次のような拡張機能を持っています。

- ベクトル作画命令の圧縮機能により、出力データ量を大幅に減少させ、パソコンの開放時間を大幅に短縮できます。
- カラーデータに対応し、カラーまたはグレースケールで印刷できます。
- コマンドを使用して HP RTL と切り替えられるため、ベクターデータ、イメージデータが混在したデータも高速に印刷できます。
- 多彩な塗りつぶし（カラー、グレースケール、パターンなど）ができます。
- 仮想的なペンを使用した様々な設定（線幅、線終端処理、接合部処理など）の指定ができます。

HP RTL

HP RTL はイメージデータ（ビットマップ）を作画するために開発されたグラフィック言語です。

イメージデータは、ドットで構成された図形です。通常のプロッターで描画された線などで構成された図形に加えて、イメージデータを組み合わせることで、より表現力に富んだ鮮やかな描画ができます。

HP RTL では、膨大になりがちなイメージデータを圧縮して転送できるため、高速に描画できます。

RP-GL/2 エミュレーション使用上の注意

- 本製品は、CAD アプリケーションでの使用を目的としています。ワープロ、表計算、フォトレタッチ、ドローイング系のアプリケーションでは使用しないでください。
- CAD アプリケーションが独自のドライバーを持っていることがあります。そのときは、プリンターの操作部で印刷条件を設定してください。
- 「RP-GL/2（Type1）」は DesignJet600 の HP-GL/2 の動作モードをエミュレーションしています。ただし、DesignJet600 に存在する「HP7586+GL/2 混在モード」については仕様が異なるため、完全にエミュレーションできません。したがって、「HP7586+GL/2 混在モード」と異なる動作をするときがあり、期待した印刷結果が得られないことがあります。GL-GL/2 切り替えモード時に RP-GL/2 または、RTL データを出力するとき、うまく印刷できない場合は、印刷条件の「プロッタ ID」を「RP-GL/2」に切り替えてみてください。
- HP-GL/2 は「圧縮データ方法」には、8bit と 7bit のモードがあります。RP-GL/2 もこれらの圧縮方法に対応しています。プリンタードライバーでは 8bit モードで圧縮しています。
- 線描画における終端形状および接合部形状の仕様は、コマンド体系処理モードによって次のように異なります。

線属性	RP-GL	RP-GL/2
終端形状	丸め	LA コマンドまたは印刷条件設定により、設定できます。
接合部形状	丸め	LA コマンドまたは印刷条件設定により、設定できます。

  太い線幅で描画しているとき、[終端処理設定]、[接合部処理設定] の設定によっては正常に印刷されないことがあります。

  [終端処理設定]、[接合部処理設定] は 0.35mm よりも太い線に有効です。

- GL-GL/2 切り替えモードでは、モードを切り替えたあとのペン位置の座標は常に原点（0,0）です。
- GL-GL/2 切り替えモードでは、RP コマンドによるリプロット機能は無効です。
- 細線をハーフトーンで印刷するとき、描画位置によっては、実線が点線や破線になったり、線が描画されなかったりすることがあります。
- 印刷条件で「6.プロッタ ID」を「RP-GL/2」に変更したとき、RP-GL 用のデータを印刷させようとすると、意図した印刷結果にならない場合があります。
- GL-GL/2 切り替えモード、RP-GL/2 モードにかかわらずプログラムを登録すると、登録した順にユーザーメモリースイッチ番号が設定されます。エミュレーション切り替えコマンド付きのデータを印刷するときに、ユーザーメモリースイッチ番号が「1」となっているプログラム番号が希望するプログラム番号でない場合は、希望す

るプログラム番号のユーザーメモリースイッチ番号が「1」になるように設定してください。ユーザーメモリースイッチ番号は印刷条件を印刷して確認してください。＜プログラムキー登録状況＞の欄に印刷されます。印刷条件の印刷については、P.7「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

- 何種類かのプロッタ ID を使用し、プログラム登録するときは、プロッタ ID が「RP-GL/2」のプログラムは 1 番最初に登録しないでください。希望するプログラムで印刷されない場合があります。
- ［プリンター初期設定］の［システム設定］タブにある［エミュレーション検知］が［しない］に設定されているとき、PJL コマンド「ENTER LANGUAGE＝HPGL/2」を受信すると、印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」で最初に登録されたプログラムに切り替わります。

  ただし、起動しているプログラムが「RP-GL/2」のプログラムの場合は、上記コマンドを受信しても、通常プログラムは切り替わりません。
- ［プリンター初期設定］の［システム設定］タブにある［エミュレーション検知］を［する］に設定しているとき、起動しているプログラムにかかわらず、RPGL/GL2 で登録したプログラムに切り替わります。このとき、データによって起動するプログラムは以下のように異なります。
  - PJL コマンドがあるとき：印刷条件「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」に設定されたプログラムの中から、最初に登録されたプログラムが呼び出されます。「RP-GL/2」に設定されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。
  - PJL コマンドがないとき：印刷条件「6.プロッタ ID」の設定にかかわらず、RPGL/GL/2 のユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが呼び出されます。RP-GL、RP-GL/2 で登録されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。
- CAD アプリケーションで漢字 ROM の「あり」「なし」が選べるときは、CAD アプリケーションの設定を次のようにします。
  - 「あり」を選択したとき：漢字フォントを使用します。
  - 「なし」を選択したとき：漢字フォントを使用しません。
- CAD アプリケーションでステップサイズの設定があるときは、「0.025mm」に設定します。

補足

- ユーザーメモリースイッチ番号とは、プログラムが登録されるときにエミュレーションごとに自動的に「1」から連番をつけたもので、プログラムを登録した順番を表しています。印刷条件を印刷すると＜プログラムキー登録状況＞に記載されます。
- RP-GL/2 で印刷するとき、自動両面印刷はできません。

Windows から使用する - パソコンの設定

Windows で印刷するための準備

1. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認します。
2. 本機に同梱の CD-ROM から、パソコンにプリンタードライバーをインストールします。
3. プリンターに取り付けたオプションをプリンタードライバーで設定します。
4. プリンタードライバーの設定画面を表示し、印刷に関する設定をします。

補足

- プリンタードライバーのインストール方法やオプションの設定については、『ドライバーインストールガイド』「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- CAD アプリケーション独自のドライバーを使用するときは、本機の操作部で印刷条件を設定してください。
- Windows の機能や操作については、Windows の説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定を保存/呼び出しする

印刷するデータや印刷のしかたに応じて最適な設定を保存しておくと、次に印刷するとき簡単に設定し直すことができます。

プリンタードライバーの設定内容を保存する

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. プリンタードライバーを保存する状態に設定します。
3. [基本] タブの [設定の保存/呼び出し...] をクリックします。
4. [ファイル名:] ボックスに保存するファイル名を入力します。

   設定ファイルの拡張子は「.rst」です。拡張子を入力しなくても、自動的に拡張子が付加されて保存されます。
5. [保存] をクリックします。

プリンタードライバーの設定内容を呼び出す

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. ［基本］タブの［設定の保存/呼び出し...］をクリックします。
3. 呼び出すファイルを選択します。
4. ［呼出］をクリックします。

プリンタードライバーの設定内容を削除する

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. ［基本］タブの［設定の保存/呼び出し...］をクリックします。
3. 削除するファイルを選択します。
4. ［削除］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。

RP-GL/2 ドライバーでできること

プリンタードライバーで設定できるおもな機能についての説明です。

変倍して印刷する

作成した図面を拡大または縮小して印刷できます。

文字を画面どおりに印刷する

すべての文字をイメージに展開することによって、画面表示に最も近い結果が得られます。

データを用紙の中央に印刷する

データを用紙の中央に印刷し、上下左右の余白を均等にできます。

ペンの設定を変更する

アプリケーションで使用している画面色と、それに対応するペンにペン幅、ペン濃度、およびペン色を設定できます。

画面色を作成する

RP-GL/2 プリンタードライバーでは、アプリケーションで使用している画面色にあわせた色彩の近い色が、各ペンに割り当てられます。選択できる画面色は、初期値で「White」「Black」「Blue」「Red」「Magenta」「Green」「Cyan」「Yellow」の 8 色です。アプリケーションでほかの色を使用しているときは、画面色を作成して追加できます。

文字だけを黒ベタで印刷する

図面上の文字だけを黒ベタで印刷できます。

グレー階調を高めて印刷する

図面に適したディザリングの処理方法を指定することによって、グレー階調を高めて印刷できます。

線の終端、接合部の処理を設定する

線の終端、接合部の処理を設定できます。

文字や日付をスタンプのように重ねて印刷する

作成した図面に文字や日付をスタンプのように重ねて印刷できます。また、そのスタンプを作成、編集できます。

補足

- ペン色設定には、使用しているモデルによってはオプションの赤現像ユニットが必要です。
- その他の機能や設定項目の機能説明は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ヘルプの表示方法は、『プリンター』「プリンタードライバーのヘルプを表示する」を参照してください。

DOS/UNIX から使用する - プリンターの設定

DOS/UNIX で印刷するための準備

1. パソコンで印刷に関する設定をします。

2. 本機の操作部でエミュレーションを「RPGL」に切り替えます。

3. CAD アプリケーションで設定したプロッターと本機の印刷条件「6.プロッタ ID」を合わせます。

「6.プロッタ ID」の設定により、RP-GL/2 の動作モードが設定されます。

4. 印刷領域やペン幅、ペン濃度などの印刷条件を設定します。

エミュレーション特有の印刷条件を設定できます。

また、[プリンター初期設定］の［システム設定（EM)］タブで、[白紙排紙]、[自動排紙時間]、[水平補正初期値]、および［垂直補正初期値］を設定できます。

補足

- パソコンでの印刷に関する設定については、使用している OS、およびアプリケーションの説明書を参照してください。
- エミュレーションの切り替えについては、P.5「エミュレーションを切り替える」を参照してください。
- ［システム設定（EM)］の設定項目については、『プリンター』「システム設定（EM)」を参照してください。

RP-GL/2 の動作モード

RP-GL/2 の動作モードには GL-GL/2 切り替えモードと RP-GL/2 モードがあり、それぞれ次のように動作します。

重要

- **GL-GL/2 切り替えモードのとき、データによっては印刷部数を指定しても 1 部しか出力されないことがあります。その場合は、RP-GL/2 モードで印刷してください。**

GL-GL/2 切り替えモード

送信されてきたコマンドによって、RP-GL と RP-GL/2 を自動的に切り替えます。

以下の環境のとき、このモードに設定することをお勧めします。

- RP-GL 出力だけの環境

- 複数のパソコン、CAD アプリケーションを使用しているときなど RP-GL 出力、RP-GL/2 出力が混在する環境

印刷条件の「6.プロッタ ID」が**「7475A, 7550A, 7570A, 7575A, 7576A, 7580B, 7585B, 7586B, 7595A, 7596A」のいずれか**に設定されていると、このモードで動作します。

RP-GL/2 モード

RP-GL/2 のコマンド体系で動作します。

以下の環境のとき、このモードに設定することをお勧めします。

- RP-GL/2 出力だけの環境
- 切替コマンド（ESC%-1B）がない HP-GL/2 データを印刷するとき
- RP-GL/2 で印刷するアプリケーションで部数設定をするとき

印刷条件の「6.プロッタ ID」が**「RP-GL/2」**に設定されているとき、このモードで動作します。

補足

- 初期値は GL-GL/2 切り替えモードです。
- GL-GL/2 切り替えモードを使ったときに切り替えられる「RP-GL/2」のタイプは、印刷条件の「6.プロッタ ID」のサブメニュー「RP-GL/2」で最後に設定したタイプにしたがいます。たとえば、GL-GL/2 切り替えモードを使用したとき、確実に「RP-GL/2 （Type1）」に切り替えたい場合は、印刷条件の「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2 （Type1）」に設定後、再度「6.プロッタ ID」で RP-GL モードのプロッタを設定してから切り替えコマンドを使用します。

GL-GL/2 切り替えモードの動作について

印刷条件の「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」以外に設定されているとき、このモードで動作します。RP-GL と RP-GL/2 をコマンドにより自動的に切り替えて印刷します。

RP-GL から RP-GL/2 への切り替え

RP-GL/2 移行コマンド「ESC%#B」を受信すると、RP-GL/2 に切り替わり、受信したデータを RP-GL/2 エミュレーションのコマンド体系として処理します。このとき印刷データがある場合は、データを印刷排紙してから RP-GL/2 へ切り替わります。

RP-GL/2 移行コマンド「ESC%#B」の「#」は、「-1、0、1、2、3」のいずれかを指定します。

RP-GL/2 から RP-GL への切り替え

RP-GL/2 のとき、排紙コマンドで印刷データを排紙すると自動的に RP-GL に切り替わります。

切り替えコマンド

モード	コマンド	コマンド説明
RP-GL→RP-GL/2	ESC%#B	RP-GL/2 切り替えコマンド
RP-GL/2→RP-GL	PG RP	排紙コマンド
RP-GL/2→RP-GL	ESC.R ESC.K	デバイス制御コマンド
RP-GL/2→RP-GL	ESC%-12345X	PJL 切り替えコマンド

補足

- 「ESC%-12345X」を受信すると、PJL に切り替わります。
- PJL は HP 社の Printer Job Language のエミュレーションです。
- @PJL ENTER LANGUAGE＝HPGL2 コマンドを受信すると、RP-GL/2 に切り替わります。

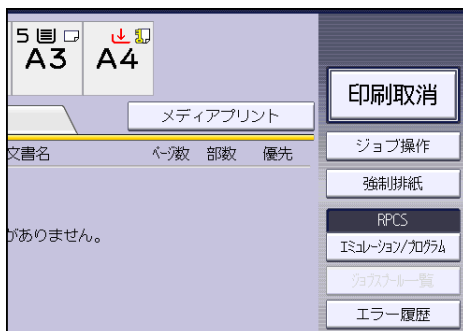
出力プロッターを設定する

CAD アプリケーションで設定したプロッターと、本機の印刷条件「6.プロッタ ID」を合わせます。

1. **CAD アプリケーションで出力するプロッターを選択します。**

   設定方法は、CAD アプリケーションの説明書を参照してください。

2. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。**

3. **［エミュレーション/プログラム］を押します。**

4. **［呼出］を押してエミュレーションを［RPGL］に切り替え、［OK］を押します。**

5. **［印刷条件］を押します。**

6. **[プロッタ ID］を押します。**

7. **[▲前へ］または［▼次へ］を押して目的のプロッター名を表示させて選択し、[OK］を押します。**

CAD アプリケーションで「7475A」、「7550A」、「7570A」、「7575A」、「7576A」、「7580B」、「7585B」、「7586B」、「7595A」、「7596A」のいずれかを選択したときは、選択したプロッターと同じプロッターを選択します。

CAD アプリケーションで「DesignJet600」または「DesignJet700」が選択できるときは、[RP-GL/2］を選択します。

8. **[RP-GL/2］を選択したときは、RP-GL/2 のタイプを選択し、[OK］を押します。**

CAD アプリケーションで選択したプロッターと RP-GL/2 のタイプの関係については以下のとおりです。

プロッター	RP-GL/2 のタイプ
DesignJet600	Type1
DesignJet700	Type3

9. **[終了］を押します。**

10. **[OK］を押します。**

補足

- 選択した「プロッタ ID」によって、本機の動作モードが異なります。P.27「RP-GL/2 の動作モード」を参照してください。
- 使用する頻度が多い印刷条件は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくと、本機の電源を切ったり、エミュレーションが切り替わったりしても、プログラムを呼び出すことで同じ条件での印刷ができます。プログラムの登録については、P.11「プログラムを登録する」を参照してください。

印刷条件の設定

印刷条件は CAD アプリケーションの設定に合わせて設定してください。

RP-GL と RP-GL/2 では、印刷条件の設定項目が異なります。

各項目ページに記載されているマークは、それぞれ次の意味を表します。

マーク	説明
GL GL/2	RP-GL だけで有効です。
GL GL/2	RP-GL/2 だけで有効です。
GL GL/2	RP-GL、RP-GL/2 どちらでも有効です。

印刷条件件設定項目一覧表

「✱」マークの付いた設定値は、各項目の初期値です。

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
5	なし	座標軸回転	✱0°	90°	180°	270°				
6	一部あり	プロッタ ID	7475A	✱7550A	7570A	7575A	7576A	7580B	7585B	7586B
			7595A	7596A	RP-GL/2					
	11	RP-GL/2	Type1		✱Type3					
7	なし	X 原点補正	0mm	(-99mm～99mm 1mm 単位で設定できます)						
8	なし	Y 原点補正	0mm	(-99mm～99mm 1mm 単位で設定できます)						
9	あり	ペン 1 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 1 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			✱0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 1 濃度	✱100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 1 赤指定	✱OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
10	あり	ペン 2 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 2 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	＊0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 2 濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 2 赤指定	＊OFF	ON						
11	あり	ペン 3 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 3 線幅	0.00mm	＊0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 3 濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 3 赤指定	＊OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
12	あり	ペン4設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン4線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	＊0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン4濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン4赤指定	＊OFF	ON						
13	あり	ペン5設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン5線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	＊0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン5濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン5赤指定	＊OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
14	あり	ペン 6 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 6 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	*0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 6 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 6 赤指定	*OFF	ON						
15	あり	ペン 7 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 7 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	*0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 7 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 7 赤指定	*OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
16	あり	ペン 8 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 8 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	*0.20mm	0.25mm	0.30mm	0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 8 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 8 赤指定	*OFF	ON						
17	なし	SP コマンド	*排紙する	排紙しない						
18	なし	IW コマンド	*有効	無効						
19	なし	線パターン比率	100%	(20%~255%まで 1%単位で設定できます)						
20	なし	変倍率	100.0%	(20.0%~400.0%まで 0.1%単位で設定できます)						
21	なし	水平補正	100.00%	(99.00%~101.00%まで 0.01%単位で設定できます)						
22	なし	垂直補正	100.00%	(99.00%~101.00%まで 0.01%単位で設定できます)						
23	なし	ハードクリップ	プロッタサイズ	*標準サイズ	用紙サイズ					

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
24	なし	給紙トレイ	トレイ2/手差しトレイ	＊トレイ 1	システムデフォルト	トレイ 2	トレイ 3		手差し	トレイ 4
			トレイ5							
25	なし	リミットレス給紙	＊しない	する						
26	なし	エンジン解像度	400dpi	＊600dpi						
27	なし	印字モード	トナーセーブモード2	＊スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ				
29	なし	自動変倍	＊しない	自動1	自動2					
30	なし	文字描画	＊ストローク	明朝 L	ゴシック B					
39	なし	変倍余白補正	0mm	(-50mm〜50mm まで 1mm 単位で設定できます)						
40	なし	ペン設定選択	＊ソフトウェア	印刷条件						
41	なし	マージコントロール	ON	＊OFF						
42	なし	ミラー	ON	＊OFF						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
43	一部あり	紙サイズ切替	＊手動	自動	全自動	全自動＋変倍				
	4	全自動＋変倍	＊A3	B4	A4	A2	B3		A3/等倍	B4/等倍
			A4/等倍	A2/等倍	B3/等倍					
44	なし	イメージ濃度	＊うすく	こく						
45	あり	線属性設定	終端処理	接合処理						
	1	終端処理	＊指定なし	角タイプ	三角タイプ	丸タイプ	処理なし			
	2	接合処理	＊指定なし	延長タイプ	延長／斜めタイプ	三角タイプ	丸タイプ	斜めタイプ	処理なし	
47	なし	原稿サイズ判定	＊PS/IPコマンド	作画	Auto					
48	なし	原稿サイズマージン	1mm	(-99mm〜99mm、1mm 単位で設定できます)						
49	あり	センタリング	＊しない	する						
	2	する	＊全領域	プラス領域						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
50	あり	ペン 9 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 9 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	＊0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 9 濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 9 赤指定	＊OFF	ON						
51	あり	ペン 10 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 10 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	＊0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 10 濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 10 赤指定	＊OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
52	あり	ペン 11 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 11 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	*0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 11 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 11 赤指定	*OFF	ON						
53	あり	ペン 12 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 12 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	*0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 12 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 12 赤指定	*OFF	ON						

2

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
54	あり	ペン 13 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 13 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	*0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 13 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 13 赤指定	*OFF	ON						
55	あり	ペン 14 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 14 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	*0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 14 濃度	*100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 14 赤指定	*OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
56	あり	ペン 15 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 15 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	＊0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 15 濃度	＊100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	0%					
	4	ペン 15 赤指定	＊OFF	ON						
57	あり	ペン 0 設定	線幅	濃度		赤指定				
	1	ペン 0 線幅	0.00mm	0.10mm	0.13mm	0.18mm	0.20mm	0.25mm	0.30mm	＊0.35mm
			0.40mm	0.50mm	0.60mm	0.65mm	0.70mm	0.80mm	0.90mm	1.00mm
			1.10mm	1.20mm	1.30mm	1.40mm	1.50mm	2.00mm	3.00mm	5.00mm
			8.00mm	12.0mm						
	2	ペン 0 濃度	100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%
			20%	10%	＊0%					
	4	ペン 0 赤指定	＊OFF	ON						

No.	サブNo.	アイテム	設定値							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			9	10	11	12	13	14	15	16
			17	18	19	20	21	22	23	24
			25	26	27	28	29	30	31	32
72	あり	2色印刷	-	イメージ印刷色	赤ペン設定選択					
	2	イメージ印刷色	＊黒	赤						
	3	赤ペン設定選択	PCコマンド優先	＊機器側設定優先						
82	なし	ディザリング	自動（線画）	自動（塗り）	文字優先	写真優先	線画優先	塗り潰し優先	＊互換優先	
85	あり	画質調整	明度							
	1	明度	0	（範囲-50〜+50、1単位で設定できます）						
93	なし	横給紙処理	する	＊しない						
101	なし	画像の向き	＊左90度回転画像	0度回転画像	右90度回転画像	180度回転画像				
102	なし	印刷部数指定優先	＊ソフトウェア優先	機器側設定優先						

補足

- 「24.給紙トレイ」の「トレイ2/手差しトレイ」は、操作部には表示されません。
- 「ペン0 - 15設定」 の「赤指定」、「72. 2色印刷」は、使用しているモデルによってはオプションの赤現像ユニットを装着しているときだけ設定できます。

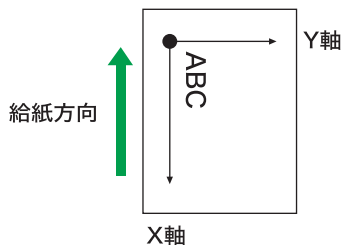
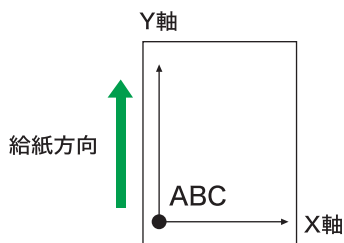
座標軸回転

GL GL/2

印刷時の用紙の座標軸の回転角度を設定します。座標軸は、用紙のセット方向によって決定します。

- 0°
- 90°
- 180°
- 270°

工場出荷時の設定：0°

0°のとき

90°のとき

補足

- RP-GL のときは 0°回転、90°回転しかできません。180°に設定すると 0°回転し、270°に設定すると 90°回転します。
- イメージデータのとき、この機能は無効です。

プロッタ ID

GL GL/2

CAD アプリケーションで指定しているプロッターを設定します。座標系は設定しているプロッターに準じます。

- 7475A
- 7550A

- 7570A
- 7575A
- 7576A
- 7580B
- 7585B
- 7586B
- 7595A
- 7596A
- RP-GL/2

  「RP-GL/2」を選択したときは、RP-GL/2 モードのタイプを選択できます。

  - Type1

    アプリケーション側で DesignJet600 相当を選択できるときに指定します。

  - Type3

    アプリケーション側で DesignJet700 相当を選択できるときに指定します。

工場出荷時の設定：**7550A**

補足

- RP-GL/2 を選択したときは RP-GL/2 モードになり、それ以外を選択したときは、GL-GL/2 切り替えモードで動作します。
- 7475A、7550A、RP-GL/2 は左下原点です。そのほかは中央原点です。
- コマンド自体は「HP7550A」準拠となっていますが、「7475A」「7550A」を選択したときでも、漢字ストロークフォントが使用できます。
- RP-GL/2 切り替えモードと RP-GL/2 モードについては、P.27「RP-GL/2 の動作モード」を参照してください。
- プロッタ ID の設定方法は、P.29「出力プロッターを設定する」を参照してください。

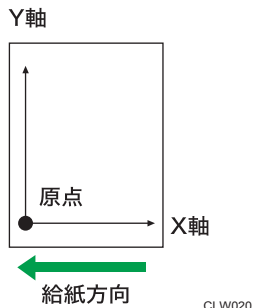
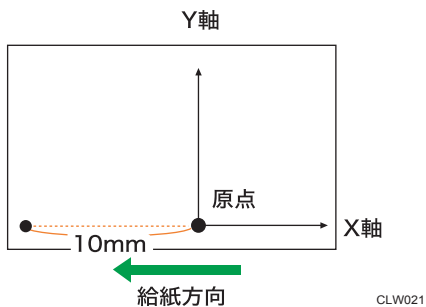
X 原点補正

GL GL/2

X 軸方向の原点の移動量を 1mm 単位で設定します。「-」で左方向「+」で右方向に移動します。

すでに図面枠が印刷されている用紙を使用するときの位置合わせに有効です。また、印刷した図面の端が切れてしまうときなどに使用すると座標位置が変更されるため、正しく印刷できる場合があります。

- -99～+99mm

X 方向が「0mm」のとき

X 方向が「+10mm」のとき

Y 原点補正

GL GL/2

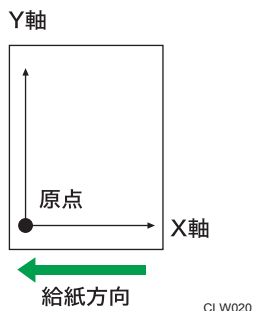
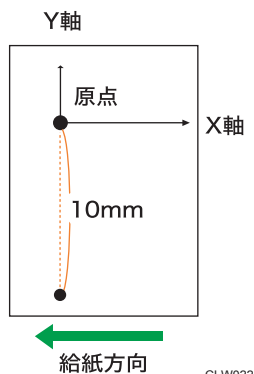
Y 軸方向の原点の移動量を 1mm 単位で設定します。「-」で下方向「+」で上方向に移動します。

すでに図面枠が印刷されている用紙を使用するときの位置合わせに有効です。また、印刷した図面の端が切れてしまうときなどに使用すると座標位置が変更されるため、正しく印刷できる場合があります。

- -99〜+99mm

Y 方向が「0mm」のとき

Y 方向が「+10mm」のとき

2

ペン 0 - 15 設定

GL GL/2

ペン番号 0 番から 15 番のそれぞれのペンに描画される線幅、濃度、赤指定を設定します。

ペンの番号は、RP-GL/2 のときは 0 番から 15 番まで、RP-GL のときは 1 番から 8 番までです。

線幅は以下の範囲で設定できます。ドット単位で線を作画しているため、指定した線幅と太さが若干異なることがあります。

- 0.00～12.0mm

濃度は、10%単位で設定できます。

- 0～100%

赤指定は、「ON」「OFF」で設定を切り替えます。

赤色の線幅を指定したとき、指定した線幅で描画できない場合があります。

補足

- RP-GL/2 のときは、印刷条件「40.ペン設定選択」が「印刷条件」に設定されているときに有効です。
- 「赤指定」は、使用しているモデルによってはオプションの赤現像ユニットを装着しているときだけ設定できます。
- 「赤指定」については、「72.2 色印刷」の「赤ペン設定選択」が「機器側設定優先」に設定されているときは、「40. ペン設定選択」の設定にかかわらず、「ペン 0 - 15 設定」の「赤指定」の設定が有効となります。

SP コマンド

GL GL/2

「SP；」または「SP0；」のコマンドを受信したときに排紙するかどうかを設定します。

- 排紙する

  コマンドを受信したときに排紙します。

- 排紙しない

  コマンドを受信しても、次のデータを待ちます。

工場出荷時の設定：**排紙する**

2

補足

- SP コマンドは、ペン番号を指定するコマンドです。ここでは、SP コマンドに番号を指定するパラメーターがなかったとき、または、0 番が指定されたときの処理を選択してください。

IW コマンド

GL GL/2

IW コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。

- 有効

  IW コマンドで指定された描画領域内を印字します。

- 無効

  IW コマンドを受信しても、無効にします。

工場出荷時の設定：**有効**

補足

- IW コマンドは、印刷領域を X、Y 座標値で指定するコマンドです。

線パターン比率

GL GL/2

LT コマンドで指定される線パターン長の変倍の比率を 1%単位で設定します。

- 20〜255%

変倍率

GL GL/2

印刷するときの縮小率、または拡大率を 0.1%単位で指定します。

- 20.0〜400.0%

縮小・拡大は座標原点を基にします。

変倍率を設定するときは、目安として次の表を参考にしてください。

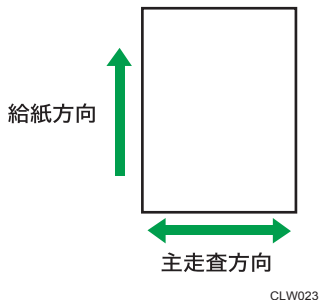
データサイズ	用紙サイズ
A0	A2：50.0%、A3：35.0%、A4：25.0%、B3：43.0%、B4：31.0%
A1	A2：71.0%、A3：50.0%、A4：35.0%、B3：61.0%、B4：43.0%
A2	A2: 100.0%、A3：71.0%、A4：50.0%、B3：87.0%、B4：61.0%
A3	A2：141.0%、A3：100.0%、A4：71.0%、B3：122.0%、B4：87.0%
A4	A2：200.0%、A3：141.0%、A4：100.0%、B3：173.0%、B4：122.0%
B1	A2：58.0%、A3：41.0%、A4：29.0%、B3：50.0%、B4：35.0%
B2	A2：82.0%、A3：58.0%、A4：41.0%、B3：71.0%、B4：50.0%
B3	A2：115.0%、A3：82.0%、A4：58.0%、B3：100.0%、B4：71.0%
B4	A2：163.0%、A3：115.0%、A4：82.0%、B3：141.0%、B4：100.0%

水平補正

GL GL/2

印刷するときの主走査方向（給紙方向に対しての垂直方向）の長さを以下の範囲で 0.01% 単位で補正します。

- 99.00～101.00%

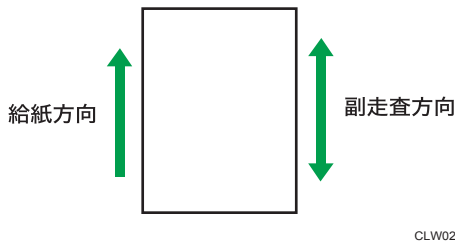
補足

- この印刷条件の初期値は、［プリンター初期設定］の［システム初期設定（EM）］タブにある、［水平補正初期値］の設定値です。［水平補正初期値］については、『プリンター』「プリンター初期設定」を参照してください。
- ［水平補正］をプログラム登録したあとに［水平補正初期値］を変更しても、値は反映されません。

垂直補正

GL GL/2

印刷時の副走査方向（給紙方向に対しての水平方向）の長さを以下の範囲で 0.01%単位で補正します。

- 99.00〜101.00%

補足

- この印刷条件の初期値は、［プリンター初期設定］の［システム初期設定（EM)］タブにある、［垂直補正初期値］の設定値です。［垂直補正初期値］については、『プリンター』「プリンター初期設定」を参照してください。
- ［垂直補正］をプログラム登録したあとに［垂直補正初期値］を変更しても、値は反映されません。

ハードクリップ

GL GL/2

用紙の印字領域を設定します。

- プロッタサイズ

  印刷条件の「6.プロッタ ID」で設定したプロッターと同じ印字領域です。

- 標準サイズ

  用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白をとった印字領域です。

- 用紙サイズ

  用紙サイズいっぱいを印字領域にするときに指定します。

工場出荷時の設定：**標準サイズ**

補足

- 用紙の上下左右の端から 5mm の領域は印刷保証範囲外です。
- RP-GL/2 では「プロッタサイズ」に設定しても「標準サイズ」と同じ印字領域です。

給紙トレイ

GL GL/2

使用する給紙トレイを設定します。「システムデフォルト」に設定したときは、現在選択されているトレイから給紙されます。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部で選択されている給紙トレイ
トレイ 1	給紙トレイ 1
トレイ 2	給紙トレイ 2
トレイ 3	給紙トレイ 3
トレイ 4	給紙トレイ 4
トレイ 5	給紙トレイ 5
手差し	手差しトレイ

補足

- 給紙トレイが「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わったとき、[システム初期設定] の [用紙設定] タブにある [給紙トレイ優先設定：プリンター] で設定されている給紙トレイが選択されます。

リミットレス給紙

GL GL/2

印刷中の給紙トレイの用紙がなくなったとき、ほかのトレイに自動的に切り替えるかどうかを設定します。

切り替え対象の給紙トレイは、同サイズ、同紙種の用紙がセットされているトレイです。

- しない

  トレイの切り替えはしません。用紙を補給してください。

- する

  プリンターが自動的にトレイを切り替えます。

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 印刷条件「43.紙サイズ切替」の設定が「手動」になっているとき、リミットレス給紙は無効です。
- [プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [拡張リミットレス給紙] が [する] になっているとき、印刷条件で [しない] を設定していても、リミットレス給紙機能は有効です。

エンジン解像度

GL GL/2

印刷する解像度を設定します。

- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

印字モード

GL GL/2

スムージングの指定をします。

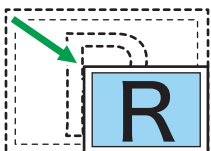
- トナーセーブモード２
  「トナーセーブモード１」よりもトナーを節約するときに選択します。
- スムージングオン
  文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷するときに選択します。
- トナーセーブモード１
  トナーを節約するときに選択します。やや薄目に印刷されます。
- スムージングオフ
  写真やハーフトーンのデータを印刷するときに選択します。

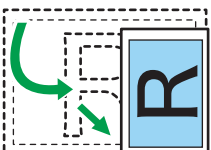
工場出荷時の設定：**スムージングオン**

自動変倍

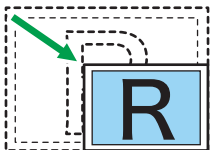
GL GL/2

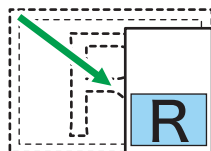
印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と、「39.変倍余白補正」の設定によって、送信されたデータからプリンターが図面の大きさを判断し、選択されている給紙トレイの用紙サイズに収まるように自動的に縮小、拡大する機能です。

- しない
  自動変倍しません。
- 自動１
  用紙に入りきる最大のサイズで印刷されるよう、図面を拡大縮小、および回転します（RP-GL/2 のときは「自動 2」と同じ動作です）。
  1. 印刷するデータが横長のときの例です。

2. 横長の用紙には変倍して印刷します。

3. 縦長の用紙には、図面の方向と用紙の方向を合わせて、変倍します。

- 自動２

  図面の回転をしないでセットされた用紙方向に収まるように変倍して印刷します。

1. 印刷するデータが横長のときの例です。

2. 横長の用紙には変倍して印刷します。

3. 縦長の用紙には、図面の方向を変更しないで、変倍して印刷します。

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 印刷するデータサイズは印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で選択されたサイズです。
- 「47.原稿サイズ判定」の設定が「PS/IP コマンド」に設定されているとき、RP-GL/2 で PS コマンドのないデータや、RP-GL で IP コマンドのないデータでは自動変倍できません。印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」にしてください。
- RP-GL/2 のとき、印刷条件の「43.紙サイズ切替」が「手動」に設定されているとき有効です。
- RP-GL のとき、「43.紙サイズ切替」が「手動」または「自動」の場合に有効です。
- RP-GL で自動変倍された結果と RP-GL/2 で自動変倍された結果では、変倍率が異なるときがあります。
- RP-GL のとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」の設定によって変倍率が異なります。
- PS コマンドは、印字する用紙の大きさを縦と横の長さで設定するコマンドです。
- IP コマンドは、スケーリングポイントを指定するコマンドです。スケーリングポイントとは、ユーザーが独自に座標系を設定するときに参照する値です。

文字描画

GL GL/2

図面中の文字に使用するフォントを選択します。

- ストローク
- 明朝 L（明朝体 L アウトラインフォント）
- ゴシック B（ゴシック体 B アウトラインフォント）

工場出荷時の設定：**ストローク**

補足

- アプリケーション側では「ストロークフォント」を選択するか、文字コードで文字を扱う設定にします。文字コードで文字を扱えないアプリケーションのとき、ここでの設定は無効です。アプリケーションの説明書を参照してください。
- 特殊文字・記号を印刷するときは「ストローク」以外を選択してください。
- 補助漢字はコードで印刷できません。

変倍余白補正

GL GL/2

自動変倍に使用する用紙サイズの用紙端からの余白を 1mm 単位で指定します。

- -50mm～50mm（工場出荷時の設定は 0mm）
- 印刷条件の「29.自動変倍」で「自動 1」または「自動 2」のどちらか、または「43.紙サイズ切替」で「全自動+変倍」を設定しているとき、この設定が有効です。

  GL モードと GL/2 モードで用紙端の取り扱いが異なります。

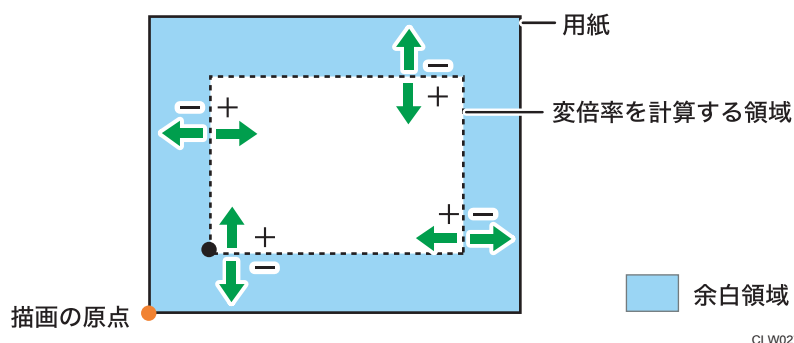
  - GL モード動作時

    プラスの値を指定したとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」で設定した位置の 10mm 内側から指定値分だけ小さなサイズとして扱います。

    マイナスの値を指定したとき、印刷条件の「23.ハードクリップ」で設定した位置の 10mm 内側から指定値分だけ大きなサイズとして扱います。

  - GL2 モード動作時

    プラスの値を指定したとき、用紙端の 7mm 内側から指定値分だけ小さなサイズとして扱います。

    マイナスの値を指定したとき、用紙端の 7mm 内側から指定値分だけ大きなサイズとして扱います。

左下原点のとき、描画の原点は印刷条件の「23.ハードクリップ」で指定された領域の左下隅です。

補足

- この印刷条件の設定値と印刷条件の「47.原稿サイズ判定」により、「29.自動変倍」や「43.紙サイズ切替」の「全自動+変倍」変倍時の基準サイズが決定します。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で判定された用紙サイズと、この印刷条件の設定値により計算された値が 1mm より小さくなるときは、1mm として計算されます。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で判定された用紙サイズと、この印刷条件の設定値により計算された値により求められる変倍率には上限があります。
  - 印刷条件の「43.紙サイズ切替」で［全自動＋変倍］設定しているとき：100.0%
  - それ以外のとき：400.0%（自動変倍の上限）

ペン設定選択

GL GL/2

ペンの設定（線幅、濃度）をアプリケーション上からコマンドで設定するか、印刷条件で設定するかを選択します。

- ソフトウェア

  アプリケーションの設定が有効になります。

- 印刷条件

  印刷条件の設定が有効になります。

工場出荷時の設定：**ソフトウェア**

補足

- ペンの設定については、P.46「ペン 0 - 15 設定」を参照してください。
- ペンの設定（赤指定）についての設定選択は、「72.2 色印刷」で指定します。詳しくは、P.62「2 色印刷」を参照してください。

マージコントロール

GL GL/2

図形の重ね合わせの処理を設定します。

- ON

  図形は、重ね合わせ（or）で処理されます。

- OFF

  図形は、置き換え（replace）で処理されます。

工場出荷時の設定：OFF

補足

- MC コマンドを受信したときは MC コマンドの設定が有効です。

ミラー

GL GL/2

ミラー印刷するかどうかを設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：OFF

2

紙サイズ切替

GL GL/2

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定により判定されたサイズの用紙がセットされている給紙トレイを自動選択するかしないかを設定します。

- 手動

  給紙トレイを自動選択しません。

- 自動

  印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定によって用紙サイズを判断し、データの長辺の長さから給紙トレイを自動選択します。

- 全自動

  印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定によって用紙サイズを判断し、データの長辺と短辺の両方のサイズから、給紙トレイを自動選択します。

  RP-GL/2 のとき、イメージデータを、必要に応じて用紙に収まるように回転して印刷できます。

  また、印刷条件の「20.変倍率」の設定が「100.0%」以外のときに、給紙トレイを自動選択するときも「全自動」に設定します。

- 全自動+変倍

  印刷する用紙サイズを「A3」「B4」「A4」「A2」「B3」「A3／等倍」「B4／等倍」「A4／等倍」「A2/ 等倍」「B3/ 等倍」から選択して設定します。

  印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と「39.変倍余白補正」の設定により、データの長辺と短辺の両方のサイズから、設定した用紙サイズへの変倍率を判断して、給紙トレイを自動選択します。

  データのサイズがここで設定した用紙サイズより大きいとき、用紙にあわせて縮小して印刷されます。

  データのサイズがここで設定した用紙サイズより小さいとき、設定値に「／等倍」があるかないかで動作が異なります。

設定値	送信データサイズ	結果
A4	A5	A5 データが A4 サイズに等倍で印刷されます。
A4/等倍	A5	A5 サイズの用紙が自動選択されて等倍で印刷されます。

工場出荷時の設定：**手動**

補足

- RP-GL/2 では「手動」、「自動」、「全自動」、「全自動+変倍」の設定値が有効です。

- RP-GL では「全自動」、「全自動+変倍」の設定値が有効です。「手動」、「自動」の設定値は対応していません。「手動」または「自動」に設定したときは、現在選択されている給紙トレイから印刷されます。
- RP-GL/2 で「手動」、または「自動」に設定しているとき、印刷条件の「5.座標軸回転」の設定は有効です。また、用紙を横給紙方向にセットすると、正常に印刷されない場合があります。
- 「全自動+変倍」に設定しているとき、印刷条件の「20.変倍率」の設定は無効になります。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定が「PS/IP コマンド」に設定されているとき、RP-GL/2 で PS コマンドのないデータや、RP-GL で IP コマンドのないデータでは給紙トレイを自動的に切り替えて印刷できません。印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」にしてください。
- PS コマンドは、印字する用紙の大きさを縦と横の長さで設定するコマンドです。
- IP コマンドは、スケーリングポイントを指定するコマンドです。スケーリングポイントとは、ユーザーが独自に座標系を設定するときに参照する値です。
- アプリケーションで作成した GL/GL2 データを出力する場合、想定したサイズとは異なって出力される場合があります。定形サイズのデータを出力する場合は、「手動」、「自動」、「全自動」のいずれかに設定してください。
- 不定形サイズのデータを出力する場合は「手動」を選択してください。
- RP-GL/2 データの場合、印刷条件の有効な組み合わせは次のとおりです。

	手動	自動	全自動	全自動+変倍
20.変倍率	OK	OK	OK	-
5.座標軸回転	OK	OK	-	-
29.自動変倍	OK	-	-	-

- RP-GL データの場合、印刷条件の有効な組み合わせは次のとおりです。

	手動	自動	全自動	全自動+変倍
20.変倍率	OK	OK	OK	-
5.座標軸回転	OK	OK	-	-
29.自動変倍	OK	OK	-	-

- 「43.紙サイズ切替」の設定方法は、「給紙トレイを自動選択する- 等倍で印刷する」、「給紙トレイを自動選択する- 用紙サイズを指定して縮小印刷する」、または「給紙トレイを自動選択する- 変倍率を指定して印刷する」を参照してください。

イメージ濃度

GL GL/2

イメージデータの印刷濃度を設定します。

- うすく
- こく

工場出荷時の設定：**うすく**

- イメージ濃度の設定は、印刷条件の「6.プロッタ ID」の設定が「RP-GL/2（Type1）」以外に設定されているときは無効です。

線属性設定

GL GL/2

印刷時の線の終端処理および線の接合部の処理の設定をします。

線の終端の処理

設定値	処理結果
処理なし	
角タイプ	
三角タイプ	
丸タイプ	

- 指定なし

  終端処理を指定しません。
- 処理なし

  終端の処理はしません。
- 角タイプ

  線の端から、線幅の半分だけ長く描画されます。
- 三角タイプ

  線の端から、線幅の半分の高さの三角形が描画されます。
- 丸タイプ

線の端に、線幅を直径とする半円が描画されます。

工場出荷時の設定：**指定なし**

線の接合部の処理

設定値	処理結果
延長タイプ	
延長／斜めタイプ	
三角タイプ	
丸タイプ	
斜めタイプ	
処理なし	

- 指定なし

  接合処理を指定しません。

- 延長タイプ

  2 本の直線の延長が交差するまで、外側の辺を延長します。

- 延長／斜めタイプ

  延長部分が長くなり過ぎるときは斜めタイプで処理され、短いときは延長タイプで処理されます。

- 三角タイプ

  2 本の線の終端から線幅の半分の高さでとがった形にします。

- 丸タイプ

線幅を直径とする半円を描画します。

- 斜めタイプ

  2 本の直線の外側の辺を結びます。

- 処理なし

  接合部の処理はしません。

工場出荷時の設定：**指定なし**

補足

- 太い線幅で描画しているとき、[終端処理設定]、[接合部処理設定] の設定によっては、正常に印刷されないことがあります。
- 線幅が 0.35mm よりも太い線のとき有効です。
- 線幅が 0.35mm 以下の線のときは、「終端処理」と「接合処理」は「丸タイプ」で処理します。
- 印刷条件で「指定なし」以外の項目が指定されているとき、LA コマンドにより線属性の指定は無効です。LA コマンドが有効になるのは、印刷条件の「終端処理」と「接合処理」がともに「指定なし」のときだけです。
- 線属性の各サブメニューの設定が「指定なし」のときの初期設定（標準値）は、終端処理は「処理なし」、接合処理は「延長タイプ」です。
- アプリケーションによっては、設定が有効にならないときがあります。

原稿サイズ判定

GL GL/2

原稿サイズの判定方法を選択します。

判定した原稿サイズは、印刷条件の「29. 自動変倍」、「43. 紙サイズ切替」、「49. センタリング」の処理をするときの基準サイズです。

- PS/IP コマンド

  RP-GL のとき、描画データ中の IP コマンドで指定した範囲が原稿サイズです。

  RP-GL/2 のとき、描画データ中の PS コマンドで指定した範囲が原稿サイズです。

- 作画

  描画した全領域を、原稿サイズとします。

- Auto

  PS/IP コマンドがあるかないかで、自動的に原稿サイズを判定します。

  - RP-GL のとき：

    描画データ中に IP コマンドがあるときは、IP コマンドで原稿サイズを判定します。

    描画データ中に IP コマンドがないときは、内部的に「作画」で動作します。

- RP-GL/2 のとき：

  描画データ中に PS コマンドがあるときは、PS コマンドで原稿サイズを判定します。

  描画データ中に PS コマンドがないときは、内部的に「作画」で動作します。

工場出荷時の設定：**PS/IP コマンド**

補足

- 印刷条件の「18.IW コマンド」が「有効」のとき、IW コマンドで指定された領域外のデータは原稿サイズには含まれません。
- ペンの中心で描画領域を判定します。線幅、線属性は考慮しません。
- アウトラインフォント描画のとき、フォントセルが描画領域です。
- 「Auto」を選択時、PS/IP コマンドが用紙サイズを指定していない描画データでは、意図した用紙サイズが選択できません。その場合、「作画」を選択してください。

原稿サイズマージン

GL GL/2

「47.原稿サイズ判定」で決定されたサイズを、-99〜99mm の範囲で 1mm 単位で調整します。目的のサイズより大きいサイズの用紙が選択されたときは、[+] 方向に調整し、逆に小さいサイズの用紙が選択されたときは [-] 方向に調整します。

補足

- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」にしたときにだけ有効です。

センタリング

GL GL/2

図面の印刷領域の中心と用紙の中心を合わせて用紙の中央に印刷できます。

- しない

  センタリングしません。

- する

  センタリングします。

  - 全領域

    図面全体を印刷領域としてセンタリングします。

  - プラス領域

    図面の座標原点位置を左下としたときの X 軸、Y 軸のプラス領域を印刷領域としてセンタリングします。

  工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 図面の中心は、印刷条件の「47.原稿サイズ判定」と、「39.変倍余白補正」で設定された値により調整されたサイズによる印刷領域の中心です。
- 用紙の中心は、印刷条件の「23. ハードクリップ」で設定された印刷領域の中心です。
- 印刷条件の「47.原稿サイズ判定」に「PS/IP コマンド」が設定されているときで、描画中のデータに RP-GL/2 は PS コマンド、RP-GL は IP コマンドがないときは、センタリングの機能は無効です。
- 「プラス領域」の設定は、印刷条件の「6.プロッタ ID」に「7475A」、「7550A」、または「RP-GL/2」を設定し、「47.原稿サイズ判定」に「作画」または「Auto」を設定したとき有効です。
- 印刷条件の「20.変倍率」、「29.自動変倍」または「43.紙サイズ切替」の設定によって変倍するとき、変倍処理した図面をセンタリングします。
- 印刷条件の「5.座標軸回転」、「29.自動変倍」または「43.紙サイズ切替」の設定によって回転するとき、回転処理した図面をセンタリングします。
- センタリング処理をしたあとに、印刷条件の「7.X 原点補正」、「8.Y 原点補正」で設定した補正量分移動します。

2 色印刷

GL GL/2

イメージの色と、赤ペン設定選択を指定します。

- イメージ印刷色

  赤、黒のどちらかを選択できます。

- 赤ペン設定選択
  - PC コマンド優先

    データ内の PC コマンドで赤指定されたペンを赤で印刷します。

  - 機器側設定優先

    操作部で赤指定されたペンを赤で印刷します。

  工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

補足

- 「72.2 色印刷」は、使用しているモデルによってはオプションの赤現像ユニットを装着しているときだけ設定できます。
- データ内の PC コマンドの値によっては、赤で印刷されません。逆に、意図していない箇所も赤で印刷される場合もあります。
- PC コマンドとは、ペン番号に対して、ペン色を指定するコマンドです。

ディザリング

GL GL/2

ディザリングの処理方法を選択します。

- 自動（線画）

  線画と中間色を含んだイメージデータの部分を自動的に判断し、それぞれに適した処理をします。中間色のイメージデータを含み、線画が多い図面を印刷するときに選択します。

- 自動（塗り）

  線画と中間色を含んだ画像の部分を自動的に判断し、それぞれに適した処理をします。中間色のイメージデータを含み、塗りつぶしが多い図面を印刷するときに選択します。

- 文字優先

  文字に適した処理をします。

- 写真優先

  写真に適した処理をします。

- 線画優先

  細い線に適した処理をします。

- 塗り潰し優先

  塗りつぶしが多い図面を印刷するときに選択します。

- 互換優先

  65 階調で処理します。

  既存機種の RP-GL/2 出力と同等の処理をします。

工場出荷時の設定：**互換優先**

画質調整

GL GL/2

グレースケールの明度を設定します。

- 明度

  明るさを調整します。明度を上げると、明るさが増します。-50〜+50 の範囲で設定できます。工場出荷時の設定は、0 です。

補足

- ベクターデータの白色、黒色部位は無効です。
- イメージデータの白黒 2 値イメージおよび、白色、黒色部位は無効です。

- 印刷条件の「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2（Type1）」に設定しているとき、ベクターデータにだけ有効です。
- 「85.画質調整」の設定方法は、P.65「グレースケールを調整して印刷する」を参照してください。

横給紙処理

GL GL/2

縦給紙方向にセットされた用紙に印刷するように作成したデータを横給紙方向にセットされた用紙に印刷するとき、用紙のセット方向に合わせて、データを回転して印刷するかどうかを設定します。

- する

  印刷データを回転して印刷します。

- しない

  印刷データをトレイにセットされている用紙方向に合わせないで、そのまま印刷します。

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 印刷条件「43.紙サイズ切替」の設定が「手動」、または「自動」になっているときに有効です。
- 縦給紙方向にセットされている用紙に印刷するとき、この設定は無効です。
- 横給紙方向にセットされた用紙にしか正常に印刷できないデータを印刷するときは、この印刷条件を「しない」に設定するか、印刷条件「5.座標軸回転」の設定を「90°」にしてください。
- 「93. 横給紙処理」の設定方法は、P.68「横給紙の用紙に印刷する」を参照してください。

画像の向き

GL GL/2

印刷オプション指定コマンドでパンチやステープルを指定したときの向きを設定します。

- 左 90 度回転画像
- 0 度回転画像
- 右 90 度回転画像
- 180 度回転画像

工場出荷時の設定：**左 90 度回転画像**

補足

- 印刷オプション指定コマンドについては、P.78「印刷オプション指定コマンド」を参照してください。

印刷部数指定優先

GL GL/2

印刷部数をソフトウェアコマンドで指定するか、操作部で指定するかどうかを設定します。

- ソフトウェア優先

  ソフトウェアコマンドの印刷部数指定を優先します。

- 機器側設定優先

  操作部の印刷部数指定を優先します。

工場出荷時の設定：**ソフトウェア優先**

補足

- 「ソフトウェア優先」に設定しても、ソフトウェアから送信した描画データ内に、印刷部数指定コマンドが含まれていないときは操作部の印刷部数指定が優先されます。
- 操作部から印刷部数を設定する方法は、P.17「印刷部数を設定する」を参照してください。

印刷する

いろいろな印刷方法を紹介します。

グレースケールを調整して印刷する

画質調整をするとよりよい印刷結果を得ることができます。

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。**
2. **［エミュレーション/プログラム］を押します。**
3. **エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。**
4. **［印刷条件］を押します。**
5. **［▼次へ］を 2 回押します。**
6. **［画質調整］を押します。**
7. **［明度］を押します。**

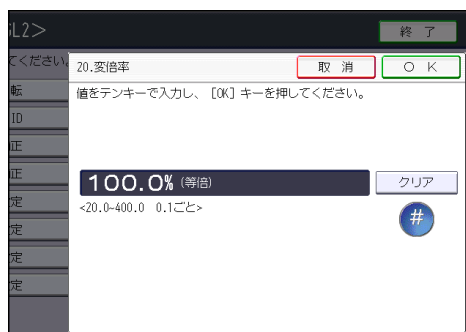
8. テンキーで数値を変更します。
9. [OK] を 2 回押します。
10. [終了] を押します。
11. [OK] を押します。
12. パソコンから印刷を指示します。

給紙トレイを自動選択する - 等倍で印刷する

印刷する用紙サイズと送信するデータのサイズが同じときに、給紙トレイを自動選択するための設定です。

1. 操作部左上の [ホーム] キーを押して、ホーム画面上の [プリンター] アイコンを押します。
2. [エミュレーション/プログラム] を押します。
3. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
4. [印刷条件] を押します。
5. [▼次へ] を押します。
6. [紙サイズ切替] を押します。
7. [全自動]、または [自動] を押して、[OK] を押します。

   RP-GL のときは「全自動」に、RP-GL/2 のときは「全自動」、または「自動」に設定します。
8. [▲前へ] を押します。
9. [変倍率] を押します。
10. 変倍率が「100.0%」に設定されていることを確認し、[OK] を押します。

    別の値が表示されているときは、テンキーで数値を「100.0%」に設定します。

11. [終了] を押します。

12.［OK］を押します。

13. パソコンから印刷を指示します。

印刷条件「46.原稿サイズ判定」によって判定されたサイズの用紙がセットされているトレイから、給紙されます。

補足

- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.56「紙サイズ切替」を参照してください。

給紙トレイを自動選択する - 用紙サイズを指定して縮小印刷する

印刷する用紙サイズよりも送信するデータのサイズのほうが大きいときに、指定した用紙サイズに収まるように縮小して印刷するための設定です。

A2 サイズのデータを A3 サイズの用紙に縮小して印刷する例で説明します。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。

2.［エミュレーション/プログラム］を押します。

3. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。

4.［印刷条件］を押します。

5.［▼次へ］を押します。

6.［紙サイズ切替］を押します。

7.［全自動+変倍］を押します。

8.［A3］が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

9.［終了］を押します。

10.［OK］を押します。

11. パソコンから印刷を指示します。

印刷条件「46.原稿サイズ判定」の設定によって判定されたサイズが、A3 の用紙に収まるように縮小されて印刷されます。

補足

- RP-GL のとき、印刷条件「23.ハードクリップ」で指定した位置から上下左右 10mm 余白をとったサイズに縮小されるため、自動的に縮小されて用紙よりも小さく印刷されます。
- RP-GL/2 のとき、指定した用紙サイズから上下左右 7mm 余白をとったサイズに縮小されるため、自動的に縮小されて用紙よりも小さく印刷されます。
- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.56「紙サイズ切替」を参照してください。

給紙トレイを自動選択する - 変倍率を指定して印刷する

指定した変倍率に合わせて給紙トレイを自動選択し、拡大・縮小印刷を行うための設定です。

データを 70% に縮小して印刷する例で説明します。

2

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。**
2. **［エミュレーション/プログラム］を押します。**
3. **エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。**
4. **［印刷条件］を押します。**
5. **［▼次へ］を押します。**
6. **［紙サイズ切替］を押します。**
7. **［全自動］を押します。**
8. **［▲前へ］を押します。**
9. **［変倍率］を押します。**
10. **テンキーで「70」と入力し、［OK］を押します。**
11. **［終了］を押します。**
12. **［OK］を押します。**
13. **パソコンから印刷を指示します。**

    印刷条件「46.原稿サイズ判定」の設定によって判定されたデータサイズと方向を判断し、印刷条件の「20. 変倍率」の設定に合わせて変倍します。データサイズ、方向、および「20. 変倍率」によって、用紙サイズを自動的に判断し、給紙するトレイを選択します。

補足

- 設定する変倍率によっては、目的の用紙が選択されない場合があります。その場合は、変倍率を小さめに設定してください。
- データサイズ、印刷する用紙サイズごとの変倍率の目安について詳しくは、「変倍率」を参照してください。
- 「43.紙サイズ切替」の設定値については、P.56「紙サイズ切替」を参照してください。

横給紙の用紙に印刷する

縦給紙方向に印刷されるように作成したデータを横給紙方向にしか用紙をセットできないトレイで印刷するとき、印刷条件「93.横給紙処理」でデータを回転させることができます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション/プログラム］を押します。
3. エミュレーションを RP-GL/2 に切り替えます。
4. ［印刷条件］を押します。
5. ［▼次へ］を 2 回押します。
6. ［横給紙処理］を押します。
7. ［する］を押して、［OK］を押します。
8. ［終了］を押します。
9. ［OK］を押します。
10. パソコンから印刷を指示します。

スタンプを設定する

スタンプ機能の設定について説明します。

1. ［初期設定/ カウンター］キーを押します。
2. ［プリンター初期設定］を押します。
3. ［印字設定］タブを押します。
4. ［On/Off 設定］を押します。
5. 各項目ごとに印字設定を行います。

   ［ON］に設定すると印字が有効になります。

   ［OFF］に設定すると印字が無効になります。
6. ［設定］を押します。
7. ［終了］を 2 回押します。

印刷オプションを指定する

印刷オプションとは

印刷オプションとは、UNIX ワークステーションやパソコンからネットワークプリンターに印刷するときに、印刷コマンドとともに入力する文字列のことです。

印刷オプションを使用すると、本機に登録したプログラムを呼び出したり、ステープルやパンチなどの機能を使用したりできます。

補足

- 印刷コマンドで印刷オプションを指定できるのは、ネットワークプロトコルが TCP/IP のときだけです。

印刷オプションの指定方法

印刷オプションの指定方法は、印刷コマンドにより異なります。たとえば UNIX ワークステーションからの印刷に rsh コマンドを使用するとき、印刷コマンドのあとに半角スペースを入力し、続けて印刷オプションを入力します。

- 例 1：左にパンチ、印刷部数を 3 部に指定して、排紙トレイをフィニッシャーシフトトレイとする

- 例 2：登録したプログラム 1 を呼び出して印刷する

複数の印刷オプションを指定するときは、それぞれを「,」で区切ります。

印刷オプションには、指定値が必要なものとそうでないものがあります。指定値は、印刷オプション名のうしろに「=」を入力し、続けて指定値を入力します。

「=」を含まない印刷オプションを単独で指定するときは、印刷オプションの先頭に「,」を追加します。

補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 「=」が使用できない OS では、代わりに「_」（アンダースコア）を使用してください。

- 印刷オプションとして指定できる文字数には、OS やネットワーク環境、本機の機能によって制限があります。
- 範囲外の値や誤った印刷オプションを指定すると、正常に印刷できないことがあります。

印刷オプション一覧表

印刷オプション名	指定値	機能概要
filetype	RGL、GL2 P1～P16	印刷に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定する。
pjl	on	後処理関係の印刷オプション(staple、punch、qty、outbin)を有効にする。
staple	ステープル位置 (lefttop、top2port など)	ステープルする。
punch	パンチ位置 (leftport、topland など)	パンチする。
qty	ソート部数(1～999)	電子ソートする。
outbin	排紙トレイ (upper、finishershift など)	排紙トレイを選択する。
imagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転する。
printerstamp	on、off	ソフトスタンプ機能を使用する。
usercode	数字 8 桁	ユーザーコードを指定する。

補足

- 装着されているオプションによって、以下の印刷オプションは指定できないことがあります。また、指定できるときでも指定値が異なる場合があります。
    - staple、punch、outbin

印刷オプションの指定項目

印刷オプションのそれぞれの指定項目について説明します。

補足

- 装着されているオプションによって、以下の印刷オプションは指定できないことがあります。また、指定できるときでも指定値が異なる場合があります。
    - staple、punch、outbin

2

filetype

本機が RP-GL/2 以外のエミュレーションになっているときに、印刷に使用するエミュレーションを指定します。また、エミュレーションの代わりに登録されているプログラムも指定できます。

書式

filetype=エミュレーション名

filetype=プログラム番号

または

fil=エミュレーション名

fil=プログラム番号

指定値と動作

- 「エミュレーション名」は 3 文字の省略名です。RP-GL エミュレーションに切り替えるときは「RGL」を、RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときは「GL2」を指定します。印刷条件は RP-GL/2 エミュレーションの初期値が呼び出されます。
- 「プログラム番号」は、「P1」から「P16」のプログラム番号を指定します。RP-GL/2 エミュレーションが登録されているプログラムを指定してください。印刷条件はプログラムに登録されている設定値が呼び出されます。

説明

- この印刷オプションを指定しなかったときは、操作部で呼び出されているエミュレーションで印刷されます。RP-GL/2 エミュレーションが呼び出されていないと、正常に印刷されないことがあります。[プリンター初期設定] の [システム設定] タブにある [エミュレーション検知] を [する] に設定している場合は、RP-GL/2 に対応したファイルを送信すると自動的に RP-GL/2 に切り替わります。

pjl

pjl を指定すると、staple、punch、qty、outbin の指定ができます。

書式

pjl = on

説明

- staple、punch、qty、outbin を使用するときは、必ず pjl = on と指定します。指定がないとき、これらの印刷オプションは無効です。

staple

印刷された用紙をステープルでとじるための指定をします。

書式

staple=ステープル位置

指定値と動作

指定値	ステープル位置
lefttop	左上 1 箇所（水平/垂直）
lefttopslantland	左上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
lefttopslantport	右上 1 箇所（水平/垂直）
righttopslantland	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
lefttopslantport	右上 1 箇所（水平/垂直）
righttopslantland	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
left2port	左 2 箇所
right2port	右 2 箇所
left2port	左 2 箇所
right2port	右 2 箇所
top2port	上 2 箇所
top2land	上 2 箇所
booklet	中央 2 箇所

説明

- フィニッシャー（ステープルユニット）が装着されていないときは、「staple」の指定は無効です。
- 「staple」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「staple」の指定は無効です。
- ジョブごとに「staple」を指定してください。複数のジョブをまとめての指定はできません。
- lefttop、righttop を指定したとき、トレイの用紙方向により水平・垂直のうち可能な方でステープルします。

- lefttopslantland、lefttopslantport、righttopslantland、righttopslantport を指定したとき、斜めでステープルします。斜めでステープルできないときは、水平または垂直でステープルします。

punch

印刷された用紙にパンチ穴をあけるための指定をします。

書式

punch=パンチ位置

指定値と動作

指定値	パンチ位置
leftport	左
rightport	右
topport	上
leftport	左
rightport	右
topport	上

説明

- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないときは、「punch」の指定は無効です。
- 「punch」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「punch」の指定は無効です。

qty

電子ソートの指定をします。

書式

qty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1〜999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「電子ソート部数」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「qty」の指定は無効です。
- 「qty」を指定したとき、操作部や印刷データ内のコマンドで設定された印刷部数は無効です。

outbin

排紙先を選択できます。排紙先は、排紙トレイの名称を指定します。

書式

outbin=排紙トレイ名

指定値と動作

指定値	排紙トレイ
upper	本体トレイ
inner	本体上トレイ
lower	左トレイ
finisherproof	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）のフィニッシャー・上トレイです。
finishershift	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）のフィニッシャー・シフトトレイです。
finisherbooklet	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）のフィニッシャー・中とじトレイです。
manual	システムデフォルト

説明

- 指定値の種類は、排紙オプションの設置状況により異なります。
- 「排紙トレイ」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「排紙トレイ」の指定は無効です。

imagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

imagedirection=reverse

imagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

説明

- pjl = on を指定しなくても使用できます。

usercode

ユーザーコードを指定できます。

書式

usercode ="ユーザーコード"

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- ユーザーコードの前後に"¥"の指定が必要です。
- Windows の FTP クライアントのとき、usercode は指定できません。

補足

- OS によってはダブルクォーテーションが送信されないため、バックスラッシュ"¥"（0x5c）などのエスケープ記号が必要となることがあります。たとえば rsh の場合、次のような書式です。
    - rsh hostname print usercode=¥"12345¥" < 印刷ファイル
- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
    - ftp> put filename USERCODE=¥"12345¥"

コマンドを指定する

エミュレーション切り替えコマンド

エミュレーション切り替えコマンドを使用すると、エミュレーションを切り替えたり、プログラムを呼び出したりできます。RP-GL/2 エミュレーションでは、RP-GL/2 ファイルまたは CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 ! {p} @ CODE-ID ESC SP

＜例：プログラム No1 呼び出し＞

ESC DC2 ! 0 @ P1 ESC SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 21 {p} 40 CODE-ID 1B 20

＜例：プログラム No1 呼び出し＞

1B 12 21 30 40 50 31 1B 20

パラメーター	指定値	説明
p	-1	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は初期値。
	0	CODE-ID で指定されているプログラム番号のエミュレーションに切り替える。 印刷条件はプログラムに登録されている設定値。
	1〜16	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は、この指定値に対応するユーザーメモリースイッチ番号の設定値。（ユーザーメモリースイッチ番号は、プログラム登録時、エミュレーションごとに自動的に付加される番号。印刷条件リストに印刷される。）
	省略時	「1」が指定される。

パラメーター	指定値	説明
CODE-ID	3 文字のエミュレーション名	指定したエミュレーション名のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」以外を指定する必要がある。
	P1～P16	指定したプログラム番号のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」を指定する必要がある。

指定したエミュレーションが存在しないときやプログラムが登録されていないとき、このコマンドは無視されます。

3 文字のエミュレーション名で指定できる値は以下のとおりです。

- RGL ：RP-GL エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- GL2 ：RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RTF：RTIFF エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RPS：PS3 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RCS：RPCS エミュレーションに切り替えるときに指定します。

印刷オプション指定コマンド

印刷オプション指定コマンドを使用すると、印刷オプションを指定できます。HP-GL ファイルまたは HP-GL/2 ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

コマンドを指定する前に、本機のエミュレーションを RP-GL/2 に切り替えてください。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 ? z {, option { = value}} {, option { = value}} ... {, option { = value}} ESC SP

＜例：左上にステープル、ソート部数を 10 部にする＞

ESC DC2 ? z, emlstaple=lefttop, emlqty=10 ESC SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 3F 7A {2C option {3D value}} {2C option {3D value}} ... {2C option {3D value}} 1B 20

＜例：左上にステープル、ソート部数を 10 部にする＞

1B 12 3F 7A 2C 65 6D 6C 73 74 61 70 6C 65 3D 6C 65 66 74 74 6F 70 2C 65 6D 6C 71 74 79 3D 31 30 1B 20

パラメーター	指定値	説明
option	印刷オプション名の文字列	印刷オプションを指定する。
option	省略時	このパラメーターと対になる value が無視される。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる value は無視されます。

このパラメーターと value の対は、連続して複数指定できます。ただし、このパラメーターと同じ値を指定された対が複数あるときは、最後に指定されている対が有効です。

パラメーター	指定値	説明
value	印刷オプションの指定値の文字列	印刷オプションを指定する。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる option は無視されます。

補足

- 文字列の合計は 1,023 バイト以内で入力してください。
- 印刷オプション指定コマンドは、一度コマンドを指定するとそれ以降に受信したデータの印刷に有効です。ただし、次のときはリセットされます。
  - エミュレーションが切り替わったとき
  - 新しい印刷オプション指定コマンドが指定されたとき

印刷オプション指定コマンド一覧表

印刷オプション指定コマンドを使用すると、オプションのフィニッシャーなどの機能を使用できます。使用できる印刷オプション指定コマンドは次のとおりです。

印刷オプション名	指定値	機能概要
emlstaple	ステープル位置（off、lefttophoriz など）	ステープルを指定する
emlpunch	パンチ位置（off、left など）	パンチ位置を指定する
emlpunchhole	jp2	パンチ種別を指定する
emlqty	ソート部数(1～999)	ソート部数を指定する
emlimagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180°回転する
emlusercode	ユーザーコード	ユーザーコードを指定する
emlprinterstamp	on、off	ソフトスタンプ機能を使用する

「emlstaple」、「emlpunch」、「emlpunchhole」は、装着しているオプションによって指定できないことがあります。

印刷オプション指定コマンドの指定項目

emlstaple

印刷された用紙をステープルでとじるための指定をします。

書式

emlstaple=ステープル位置

指定値と動作

- 印刷条件「101.画像の向き」に対する位置で指定します。給紙トレイを自動選択する機能と同時に使用すると、印刷する画像が回転することがあるため、指定と異なる位置にステープルされる場合があります。

指定値	ステープル位置
lefttop	左上 1 箇所（水平）
lefttopvert	左上 1 箇所（斜め）
lefttop	左上 1 箇所（水平）
lefttopvert	左上 1 箇所（斜め）
righttop	右上 1 箇所（水平）
righttopvert	右上 1 箇所（斜め）
righttop	右上 1 箇所（水平）
righttopvert	右上 1 箇所（斜め）
doubleleft	上 2 箇所
doubleright	中央 2 箇所
doubleleft	上 2 箇所
doubleright	中央 2 箇所

説明

- フィニッシャー（ステープルユニット）が装着されていないときは、「emlstaple」の指定は無効です。
- ジョブごとに「emlstaple」を指定してください。複数のジョブをまとめての指定はできません。

emlpunch

印刷された用紙にパンチ穴を開けるための指定をします。

書式

emlpunch=パンチ位置

指定値と動作

- 印刷条件「101.画像の向き」に対する位置で指定します。給紙トレイを自動選択する機能と同時に使用すると、印刷する画像が回転することがあるため、指定と異なる位置にパンチされる場合があります。

指定値	パンチ位置
left	左
top	上
right	右

説明

- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないときは、「emlpunch」の指定は無効です。
- ジョブごとに「emlpunch」を指定してください。複数のジョブをまとめての指定はできません。

emlpunchhole

パンチ穴のパンチ種別を指定します。

書式

emlpunchhole=jp2

指定値と動作

指定値	動作
jp2	日本 2 穴を指定します。

emlqty

ソート部数を指定します。

書式

emlqty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「emlqty」を指定したとき、操作部や印刷データ内のコマンドで設定された印刷部数は無効です。

emlimagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

emlimagedirection=reverse

emlimagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

emlusercode

ユーザーコードを指定します。

書式

emlusercode =ユーザーコード

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。

emlprinterstamp

ソフトスタンプ機能を使用するための指定をします。

書式

emlprinterstamp=on

emlprinterstamp=off

指定値と動作

指定値	動作
on	ソフトスタンプ機能を使用します。
off	ソフトスタンプ機能を使用しません。

説明

- スタンプ位置は印刷条件の「Z. 画像の向き」（または印刷オプションの orientation）により指定された画像方向を基準にした位置となります。

2 色印刷する

RP-GL/2 モードでは、黒と赤を使った 2 色印刷ができます。

特定のペンを赤で印刷するには、プリンタードライバーで指定する方法と操作部で指定する方法があります。

プリンタードライバーで指定する

Windows から印刷するときは、RP-GL/2 プリンタードライバーでペン色を指定できます。アプリケーションの画面表示色に対するペン色を、赤か黒で指定します。

設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

操作部で指定する

DOS/UNIX 環境から印刷するときや、RP-GL/2 ドライバーを使用しないで印刷するときは、赤で印刷するペンの色を印刷条件「ペン 0 - 15 設定」の「赤指定」で指定します。

「72.2 色印刷」で「赤ペン設定選択」を「機器側設定優先」に設定すると、「ペン 0 - 15 設定」で指定したペン番号が赤で印刷されます。「PC コマンド優先」を選択すると、操作部の設定にかかわらず、データ内の PC コマンドで赤指定された番号のペンを赤で印刷します。

補足

- 2 色印刷するには、使用しているモデルによってはオプションの赤現像ユニットが必要です。
- データ内の PC コマンドの値によっては、赤で印刷されません。逆に、意図していない箇所も赤で印刷される場合もあります。
- PC コマンドとは、ペン番号に対して、ペン色を指定するコマンドです。

2 色印刷に関する注意事項

- 赤の線幅を指定したとき、印刷される線幅が指定した線幅と異なることがあります。
- 2 色印刷では、赤と黒の線が多少ずれます。また、プリンターを移動した場合、色ずれが大きくなることがあります。色ずれがひどい場合は、サービス実施店に調整をご依頼ください。
- 赤トナーがないとき、またはオプションの赤現像ユニットが装着されていないときは、赤で指定したデータは黒で印刷されます。
- 複数ページを印刷している途中で赤トナーがなくなった場合、赤を指定したデータはその時点から黒で印刷されます。
- 2 色印刷時は、通常の印刷よりも印刷速度が遅くなることがあります。
- 赤と黒の画像が重なっている場合、透過することがあります。

図面サイズと用紙サイズによる縮尺率

Windows ドライバーで図面サイズと印刷する用紙サイズを指定すると自動的に拡大率、または縮小率が設定されます。

拡大率、または縮小率は以下のとおりです。最小単位は、0.1%です。

2

	用紙サイズ								
図面サイズ	A2	A3	A4	A5	A6	B3	B4	B5	B6
A0	50.0	35.0	25.0	25.0	25.0	43.0	31.0	25.0	25.0
A1	71.0	50.0	35.0	25.0	25.0	61.0	43.0	31.0	25.0
A2	100.0	71.0	50.0	35.0	25.0	87.0	61.0	43.0	31.0
A3	141.0	100.0	71.0	50.0	35.0	123.0	87.0	61.0	43.0
A4	200.0	141.0	100.0	71.0	50.0	173.0	123.0	87.0	61.0
A5	283.0	200.0	141.0	100.0	71.0	245.0	173.0	123.0	87.0
A6	400.0	283.0	200.0	141.0	100.0	345.0	245.0	173.0	123.0
B1	58.0	41.0	29.0	25.0	25.0	50.0	35.0	25.0	25.0
B2	82.0	58.0	41.0	29.0	25.0	71.0	50.0	35.0	25.0
B3	115.0	82.0	58.0	41.0	29.0	100.0	71.0	50.0	35.0
B4	163.0	115.0	82.0	58.0	41.0	141.0	100.0	71.0	50.0
B5	230.0	163.0	115.0	82.0	58.0	200.0	141.0	100.0	71.0
B6	325.0	230.0	163.0	115.0	82.0	283.0	200.0	141.0	100.0

RP-GL/2 エミュレーションのトラブルシューティング

思いどおりに印刷できないとき

DOS/UNIX で思いどおりに印刷できないときの対処方法です。Windows で思いどおりに印刷できないときの対処方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプの表示方法は『プリンター』「プリンタードライバーのヘルプを表示する」を参照してください。

図面の端が切れてしまう

出力する図面の大きさが用紙の端まで指定されているか、データの座標位置がずれています。

印刷条件の「23.ハードクリップ」を「用紙サイズ」にすると、本機の印刷可能範囲を無視して用紙の端までが印刷領域になります。ただし、用紙の上下左右の端から 5mm の印刷は印刷保証範囲外です。

1 枚の用紙に収まる図面が数枚に分かれて印刷される

[プリンター初期設定] の [システム設定（EM)] タブにある [自動排紙時間] の設定を確認してください。

「自動排紙時間」の設定が短いと、このような現象が生じることがあります。ソフトウェアやシステム環境によってデータ転送中にデータが途切れる時間が異なるため、使用している環境に合わせて設定してください。

図面がずれて印刷される

パソコンから送られたデータの座標位置がずれています。印刷条件の「7.X 原点補正」「8.Y 原点補正」の設定で図面を適切な位置に移動させてください。

イメージデータがかすれる

「6.プロッタ ID」で「RP-GL/2（Type1)」に設定しているときは、印刷条件の「44.イメージ濃度」を「こく」にしてください。

線がかすれる

以下の設定を変更してください。

- 「82. ディザリング」を「自動（線画)」、「線画優先」または「互換優先」に設定
- 線幅を太くする。
- 濃い色を選択する

また、印刷条件で「ペン 0 - 15 設定」を設定しているとき、ペン濃度の設定を変更してください。

線が描画されない

アプリケーションによっては 0 番ペンを使用して描画していることがあります。印刷条件の［40.ペン設定選択］が「印刷条件」に設定されているとき、0 番ペンの濃度を初期値（0%）のまま印刷するとなにも印刷されません。0 番ペンの濃度を濃く設定してください。細線をハーフトーンで印刷すると、描画位置によっては実線が点線や破線になったり、線が印刷されなかったりする場合があります。その場合は線を太くするか、濃度を上げて印刷してください。

「40.ペン設定選択」は RP-GL/2 のときに有効な項目です。

複数の部数を指定しても 1 部しか印刷されない

アプリケーションによっては、操作部の印刷部数の設定が無効になることがあります。「102.印刷部数指定優先」の設定を「機器側設定優先」に変更してください。また、RP-GL/2 でアプリケーションから指定した印刷部数の設定が無効になるときは、印刷条件の「6.プロッタ ID」を「RP-GL/2」に設定してください。

DOS/UINX アプリケーションから［エミュレーション検知］を［する］にして印刷したとき意図した印刷結果にならない

［プリンター初期設定］の［システム設定］タブにある［エミュレーション検知］を［する］に設定しているとき、起動しているプログラムにかかわらず、RPGL/GL2 で登録したプログラムに切り替わります。このとき、データによって起動するプログラムは以下のように異なります。

- PJL コマンドがあるとき：印刷条件「6.プロッタ ID」が「RP-GL/2」に設定されたプログラムの中から、最初に登録されたプログラムが呼び出されます。「RP-GL/2」に設定されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。
- PJL コマンドがないとき：印刷条件「6.プロッタ ID」の設定にかかわらず、RPGL/GL/2 のユーザーメモリースイッチ番号「1」のプログラムが呼び出されます。RP-GL、RP-GL/2 で登録されているプログラムがひとつもないときは、RP-GL、RP-GL/2 の初期値が呼び出されます。

意図した印刷結果にならない場合は、［エミュレーション検知］を［しない］に設定し、印刷するときに操作部でプログラムを呼び出してから印刷してください。

［エミュレーション検知］については『プリンター』「システム設定」を参照してください。

ユーザーメモリースイッチ番号は印刷条件リストで確認できます。印刷条件リストの印刷方法は、P.7「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

アウトラインフォントで文字が描画できない

アウトラインフォントで印刷できるのは、文字描画のコマンド（LB コマンド）で送信したときに限られます。アプリケーションから文字コードで出力する設定にしてください。

漢字が印刷されない

アプリケーション側で漢字 ROM の使用が選択できるときは、使用する設定にしてください。

図面が全体的に右上にずれる

原点位置が合っていません。印刷条件の「6.プロッタ ID」の設定を確認してください。7475A、7550A、RP-GL/2 は左下原点です。そのほかは中央原点です。

印刷条件でペン幅、ペン濃度、ペン色を設定したのに、設定どおりに印刷されない

印刷条件の「40.ペン設定選択」が「ソフトウェア」に設定されていると印刷条件で設定したペン幅、ペン濃度、ペン色は無効になり、アプリケーション側の設定が有効になります。

印刷条件でペン幅、ペン濃度、ペン色を設定するときは「40.ペン設定選択」を「印刷条件」に設定してください。

「40.ペン設定選択」は RP-GL/2 のときに有効な項目です。

線や塗りつぶしの輪郭がギザギザに印刷される、塗りつぶし部分が細かい網点で印刷される

操作部で印刷条件を以下のように設定してください。

- 「82. ディザリング」を「自動（線画）」、「線画優先」または「互換優先」に設定

印刷データが 90 度回転されず、正常に印刷されない

横給紙方向にセットされている用紙に印刷するとき、印刷条件の「93.横給紙処理」を「する」に設定します。「する」に設定していてもこの現象が発生する場合は、「しない」に設定するか、印刷条件の「5.座標軸回転」で「90°」または「270°」に設定します。

縦給紙方向にセットされている用紙に印刷するときは、印刷条件の「5.座標軸回転」で「90°」または「270°」に設定します。

RP-GL データで自動トレイ選択ができない

印刷条件の「43.紙サイズ切替」を「全自動」または「全自動+変倍」に設定してください。それでも給紙トレイが自動選択されないときは、印刷条件の「47.原稿サイズ判定」の設定を「作画」または「Auto」に設定しください。

RP-GL/2 データで自動トレイ選択ができない

印刷条件の「47.原稿サイズ判定」で「作画」または「Auto」を選択してください。

ハーフトーンの階調性を高めて印刷したい

印刷条件の「82.ディザリング」で送信データに適した項目を選択してください。

「互換優先」を選択したとき、従来の RP-GL/2 の印刷結果と同等の結果です。

「49.センタリング」を「する」にしても、正しくセンタリングされない

- RP-GL で印刷条件の「47.原稿サイズ判定」が「PS/IP コマンド」のとき、正しくセンタリングされないことがあります。その場合は「作画」に設定してください。
- RP-GL/2 で印刷条件の「47.原稿サイズ判定」が「PS/IP コマンド」のとき、余白が含まれるため、正しくセンタリングされないことがあります。その場合は「作画」に設定してください。

定形サイズの印刷で、意図した用紙サイズが選択されない

- 「47. 原稿サイズ判定」を「作画」に設定するか、「48. 原稿サイズマージン」を設定してください。

本体のスタンプ機能で、スタンプの向きが画像の向きと合わない

- 印刷条件の「101. 画像の向き」を設定してください。

印刷条件の「72.2 色印刷」で「赤ペン設定選択」を「PC コマンド優先」に指定しても、赤で印字できない

- アプリケーション側でペン色を赤で印刷するペンの色に変更するか、「機器側設定優先」に変更し、「ペン 0 - 15 設定」の「赤指定」で指定してください。

補足

- 印刷条件の動作や設定方法は、P.27「DOS/UNIX から使用する - プリンターの設定」を参照してください。

3. RTIFF エミュレーション

RTIFF エミュレーションとは

RTIFF エミュレーションとは、UNIX ワークステーションやパソコンから TIFF（Tagged Image File Format）形式のビットマップイメージデータを印刷することができる拡張エミュレーションです。

RTIFF エミュレーションでは、本機の内部で TIFF ファイルまたは CALS ファイルがラスタライズされます。ラスタライズとは、ビットマップイメージデータに基づいて 1 ドットずつ描画することをいいます。このため、プリンタードライバーは必要なく、印刷条件は本機の操作部で設定します。

また、本機が TCP/IP ネットワークに接続されているとき、UNIX ワークステーションやパソコンから印刷するときに、印刷のコマンドに印刷オプションを付けて印刷条件を一時的に変更できます。印刷オプションで指定しない条件は、本機の操作部で設定した印刷条件にしたがいます。

PJL（Ricoh Specific）について

PJL（Ricoh Specific）は、Hewlett-Packard 社のプリンタージョブコントロール言語（Printer Job Language）に準拠し、コマンドの一部はリコー独自の拡張仕様により、プリンター機能を十分に活用できます。

RTIFF では、PJL（Ricoh Specific）をサポートし、印刷オプションの指定によって使用できます。

- PJL は、HP 社の Printer Job Language のエミュレーションです。
- PJL（Ricoh Specific)を PJL と記載します。

補足

- ファイルの形式によっては、印刷できないこともあります。ファイルの形式については、P.175「入力データの仕様」を参照してください。

印刷するための準備

1. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認します。
2. 印刷する TIFF ファイルを用意します。
3. 本機の操作部でエミュレーションを RTIFF モードに切り替え、給紙トレイの選択など必要な印刷条件を設定します。

補足

- エミュレーションの切り替えについては、P.5「エミュレーションを切り替える」を参照してください。

使用上の注意事項

- ビットマップ画像データを、印刷条件や印刷オプションを指定して変倍印刷すると、何も指定しないで印刷するときに比べて、印刷に時間がかかることがあります。
- ビットマップ画像データを回転して印刷するとき、印刷に時間がかかることがあります。回転は、印刷条件や印刷オプションで指定したときのほか、状況によっては意図しないときにも起こります。
- TIFF ファイルまたは CALS ファイルの形式によっては、印刷できないこともあります。
- TIFF 形式のビットマップイメージデータには、EOF（ファイルの終端）または EOD（データの終端）を明示するデータや構造が存在しません。このため、RTIFF エミュレーションでは、タグ情報で与えられた幅と高さ分のビットマップデータを受信した時点を EOD とし、印刷指示があったものとして処理します。
- 印刷できるビットマップイメージの幅とデータサイズには、制限があります。
- 両面印刷を設定したのに片面で印刷されたときは、以下のような原因が考えられます。
    - 両面印刷できない紙種のトレイを選択している
    - 両面印刷できない用紙サイズのトレイを選択している
    - 両面印刷できない給紙トレイや排紙トレイを選択している
    - ページメモリーが不足している
    - 表面と裏面で用紙サイズが異なる

      たとえば、1 ページ目が A3 で、2 ページ目以降が A4 のとき、1 ページ目は片面印刷、2 ページ目以降は両面印刷になります。
- 印刷中や印刷データの受信中は、以下の操作は行わないでください。
    - 印刷条件の設定
    - システム条件の設定
    - テスト印刷の操作
    - エミュレーションプログラムの呼び出し
    - プログラムの登録

補足

- ファイルの形式や印刷できるビットマップイメージについては、P.175「入力データの仕様」を参照してください。

3

印刷する

UNIX ワークステーションから使用する

UNIX ワークステーションでは、コマンドシェルで印刷する TIFF ファイルを指定して印刷を実行します。印刷する前に、本機の操作部で印刷条件を設定してください。

コマンド例（rsh コマンドを使用するとき）

```
% rsh hostname print < tiff-filename
```

コマンド例（rsh コマンドを使用し、印刷オプションを指定したとき）

```
% rsh hostname print filetype=RTF,copies=3,center < tiff-filename
```

「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイル名を指定してください。

補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。
- 印刷オプションの指定は、ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用しているときに有効です。
- 印刷オプションをコマンドに指定すると、本機に設定されている印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

DOS/V パソコンから使用する

DOS/V パソコンでは、コマンドプロンプトから印刷を実行します。印刷する前に、本機の操作部で印刷条件を設定してください。

パラレル接続したプリンターのとき

1. **コマンドプロンプトに移ります。**

   Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 のとき、[スタート] メニューの［すべてのプログラム］から［アクセサリ］をクリックし、[コマンドプロンプト］をクリックします。

2. **印刷のコマンドを実行します。**

   コマンド例

   ```
   C:¥WINDOWS>copy /b tiff-filename lpt1
   ```

補足

- オプションスイッチ「/b」を必ず付けてください。「/b」スイッチを付けないと、TIFF ファイルまたは CALS ファイルが正常に印刷されません。(/b は、バイナリーでデータを送信するという指定です。)
- 「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイルまたは CALS ファイル名を指定してください。

ネットワーク接続したプリンターのとき

1. **コマンドプロンプトに移ります。**

   Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 のとき、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] から [アクセサリ] をクリックし、[コマンドプロンプト] をクリックします。

2. **NetBEUI でのネットワークパス名を、パソコンの空いているプリンターポートに割り当てます。**

   コマンド例

   C:¥WINDOWS>net use lpt3: pathname

   「pathname」のところは、本機のネットワークパス名を指定します。

3. **割り当てたプリンターポートで、印刷のコマンドを実行します。**

   コマンド例

   C:¥WINDOWS>copy /b tiff-filename lpt3

   「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイル名を指定します。

4. **手順 2 で割り当てたプリンターポートを開放するときは、以下のコマンドを実行します。**

   コマンド例

   C:¥WINDOWS>net use lpt3: /d

補足

- 本機のネットワークパス名は、システム設定リストを印刷すると確認できます。システム設定リストの印刷方法は、『プリンター』「テスト印刷する」を参照してください。

ftp コマンドで印刷する

ネットワークプロトコルに TCP/IP を使用しているとき、ftp コマンドを使用しても印刷できます。

3

1. **コマンドプロンプトに移ります。**

   Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 のとき、[スタート] メニューの［すべてのプログラム］から［アクセサリ］をクリックし、[コマンドプロンプト］をクリックします。

2. **ftp コマンドを入力します。**

   ftp IPaddress

   「IPaddress」には、TIFF ファイルまたは CALS ファイルを送信するプリンターの IP アドレスを指定します。

   ftp が起動し、ユーザー名を入力するプロンプトが表示されます。

   User:

3. **ユーザー名に任意の文字列を入力し、[Enter]キーを押します。**

   パスワードを入力するプロンプトが表示されます。

   Password:

4. **[Enter］キーを押します。**

   パスワードの入力は必要ありません。

   ftp プロンプトが表示されます。

   ftp>

5. **「bin」と入力し、バイナリモードで TIFF ファイルを送信する設定にします。**

   バイナリモードに変更しないと、TIFF ファイルまたは CALS ファイルが正常に印刷されません。

   ftp> bin

6. **ftp プロンプトで印刷するファイルを転送します。**

   ftp> put tiff-filename

   「tiff-filename」のところは、印刷する TIFF ファイルまたは CALS ファイル名を指定します。

   put サブコマンドに印刷オプションを指定すると、本機に設定されている印刷条件を一時的に変更して印刷できます。

   コマンド例

   ftp> put tiff-filename filetype=RTF,copies=3,center

7. **ftp を終了するときは、ftp プロンプトで「bye」と入力します。**

補足

- lpr コマンドや rcp コマンドを使用しても印刷できます。
- 印刷コマンドの使用方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。

- 印刷オプションについては、P.125「印刷オプションを指定する」を参照してください。

印刷条件の設定

印刷条件設定項目一覧表

「✱」マークが付いた設定値は、各項目の初期値です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
1.給紙トレイ	✱システムデフォルト	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3	トレイ 4	トレイ 5
					手差し	
2.用紙サイズ	✱指定しない	A2R	A3	A3R	A4	A4R
	A5	B3R	B4	B4R	B5	B5R
	ACR	DL	DLR	LGR	LT	LTR
	HL	LG				
4.リミットレス給紙	✱自動	する	しない			
5.印刷方向	✱ポートレイト	ランドスケープ				
6.両面印刷	✱片面	両面横とじ	両面上とじ			
7.エンジン解像度	400dpi	✱600dpi	200dpi	300dpi		
8.変倍率	100%	(範囲 25～1000%、1%単位で設定できます)				
9.左余白	0mm	(範囲 0～100mm、1mm 単位で設定できます)				
A.右余白	0mm	(範囲 0～100mm、1mm 単位で設定できます)				
B.上余白	0mm	(範囲 0～100mm、1mm 単位で設定できます)				
C.下余白	0mm	(範囲 0～100mm、1mm 単位で設定できます)				
D.X オフセット	0mm	(範囲-100～100mm、1mm 単位で設定できます)				
E.Y オフセット	0mm	(範囲-100～100mm、1mm 単位で設定できます)				

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
F.X マージン	0mm	(範囲-100〜100mm、1mm 単位で設定できます)				
G.Y マージン	0mm	(範囲-100〜100mm、1mm 単位で設定できます)				
H.マルチカラム	1	(範囲 1〜10、1 単位で設定できます)				
I.マルチロー	1	(範囲 1〜10、1 単位で設定できます)				
J.横変倍率	100%	(範囲 25〜1000%、1%単位で設定できます)				
K.縦変倍率	100%	(範囲 25〜1000%、1%単位で設定できます)				
L.白黒反転	*しない	する				
M.明るさ	100%	(範囲 1〜1000%、1%単位で設定できます)				
N.コントラスト	100%	(範囲 1〜1000%、1%単位で設定できます)				
O.中央配置	しない	*する				
P.自動変倍	*しない	する				
Q.エラー印刷	*しない	する				
R.印字モード	*スムージングオフ	スムージングオン	トナーセーブモード 1	トナーセーブモード 2		
S.印刷領域	標準	*最大				
T.実サイズ変倍	しない	*する				
U.自動用紙選択	しない	*する				
V.用紙超過率	5%	(範囲-50〜50%、1%単位で設定できます)				
W.データバッファ	*メモリー	ハードディスク				
Z.画像の向き	*0 度回転画像	右 90 度回転画像	180 度回転画像	左 90 度回転画像		

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24
b. 自動縮小	*縮小しない	A3 に縮小	A4 に縮小	A5 に縮小	A6 に縮小	B4 に縮小
	B5 に縮小	B6 に縮小	ハガキに縮小	LT に縮小	HL に縮小	DL に縮小
	LG に縮小	AC に縮小	A0 に縮小	A1 に縮小	A2 に縮小	B1 に縮小
	B2 に縮小	B3 に縮小				
c. 自動縮小余白補正	0mm	(範囲-100～100mm、1mm 単位で設定できます)				
d.自動縮小無効倍率	5%	(範囲-50～50%、1%単位で設定できます)				
e.縮小変倍時細線補正	画素間引き	横線補正	縦線補正	*縦線・横線補正		

補足

- 印刷条件の「両面印刷」「X マージン」「Y マージン」は、使用しているモデルによってはオプションの両面ユニットを装着しているときだけ設定できます。

印刷条件の設定項目

給紙トレイ

使用する給紙トレイを選択します。

設定値

- システムデフォルト
- トレイ 1
- トレイ 2
- トレイ 3
- トレイ 4
- トレイ 5
- 手差し

工場出荷時の設定：**システムデフォルト**

動作

- 給紙トレイが「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わったとき、［システム初期設定］の［用紙設定］タブにある［給紙トレイ優先設定：プリンター］で設定した給紙トレイが選択されます。
- 印刷条件で指定する給紙トレイの設定値と選択されるトレイです。

設定値	選択されるトレイ
システムデフォルト	操作部に表示されている給紙トレイ
トレイ 1	給紙トレイ 1
トレイ 2	給紙トレイ 2
トレイ 3	給紙トレイ 3
トレイ 4	給紙トレイ 4
トレイ 5	給紙トレイ 5
手差し	手差しトレイ

条件

- 印刷条件の「用紙サイズ」で用紙サイズを指定するとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するとき、この項目の設定は無効です。
- 本機のプリンター機能の制限によってここで設定する給紙トレイから給紙できなかったとき、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定するとき、この項目の設定は無効です。
- PJL、または関連の印刷オプションで回転ソート、ステープル、パンチを指定しているとき、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。

補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定したトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。給紙トレイを特定するときは、印刷条件の「リミットレス給紙」を「自動」または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズと向きを設定します。

設定値

- 指定しない
- A2R
- A3
- A3R
- A4
- A4R
- A5
- B3R
- B4
- B4R
- B5
- B5R
- ACR
- DL
- DLR
- LGR
- LT
- LTR
- HL
- LG

工場出荷時の設定：**指定しない**

動作

- ここで設定したサイズと向きの用紙がいずれのトレイにもセットされていないとき、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- 「指定しない」を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」で設定されたトレイから給紙されます。

条件

- 「指定しない」以外を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」の設定は無効になります。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のどれかを指定するとき、この項目の設定は無効です。

- 以下のトレイは選択の対象となりません。すべての給紙トレイが選択対象外のときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
    - 手差しトレイ
    - 自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ
    - 「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイ
    - 給紙できない用紙サイズに設定されているトレイ
    - 表紙トレイ、合紙トレイ、または章区切り紙トレイに指定し、表示のタイミングを「常時表示」に設定したトレイ
    - 両面印刷しようとしているときに、「片面コピー」に設定したトレイ

補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定したトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。給紙トレイを特定するときは、印刷条件の「4.リミットレス給紙」を「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

リミットレス給紙

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、ほかの給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを設定します。

切り替え対象の給紙トレイは、同サイズ、同紙種の用紙がセットされているトレイです。

設定値

- 自動
- する
- しない

工場出荷時の設定：**自動**

動作

- 「自動」または「する」に設定すると、自動的にトレイを切り替えます。
- 「しない」に設定すると、トレイの切り替えはしません。用紙を補給してください。

条件

- 印刷オプションで autotray または noautotray を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 「自動」に設定したときでも、印刷条件の「給紙トレイ」でトレイを指定したときや、印刷オプションの tray でトレイを指定したときは、給紙トレイの自動切り替えはしません。

印刷方向

画像が印刷される向きを設定します。

設定値

- ポートレイト
- ランドスケープ

工場出荷時の設定：**ポートレイト**

ポートレイトのときの仕上がり

CLW028

ランドスケープのときの仕上がり

CLW029

条件

- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定し、かつ印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで portrait、landscape、autopaper のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。
- PJL、または関連の印刷オプションで、ステープル、パンチを指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

両面印刷

両面印刷するかどうかを設定します。

設定値

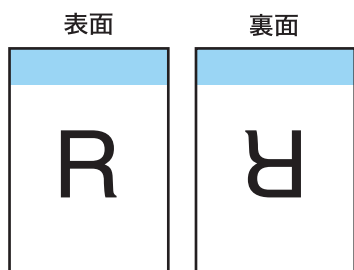
- 片面

3

- 両面横とじ
- 両面上とじ

工場出荷時の設定：**片面**

両面横とじのときの仕上がり

両面上とじのときの仕上がり

動作

- 「両面横とじ」に設定すると、表と裏とで画像の上下が一致する方向に印刷されます。
- 「両面上とじ」に設定すると、表と裏で画像の上下が反対になる方向に印刷されます。
- 両面印刷を設定しても、裏面のデータがないときは印刷されません。ただし、以下のときは表面のデータだけが印刷されます。
    - RTIFF エミュレーションが終了したとき
    - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
    - 本機がパラレルインターフェースで接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合
    - 印刷オプション指定コマンドを受信したとき
    - サマリー印刷指定コマンドを受信したとき

- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation によって指定された画像方向を基準にした方向です。

条件

- 印刷オプションで singleside、bothside、flip のどれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷条件の「両面印刷」は、使用しているモデルによってはオプションの両面ユニットを装着しているときだけ指定できます。
- 両面印刷を指定したのに片面で印刷されたとき、以下のことを確認してください。
    - 両面印刷できない用紙サイズ、用紙種類のトレイを選択している
    - 両面印刷できない給紙トレイや排紙トレイを選択している
    - ページメモリーが不足している
    - 表面と裏面で用紙サイズが異なる

      たとえば、1 ページ目が A3、2 ページ目以降が A4 のとき、1 ページ目は片面印刷、2 ページ目以降は両面印刷になります。

エンジン解像度

印刷に使用する解像度を設定します。

設定値

- 200dpi
- 300dpi
- 400dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

条件

- 印刷オプションで 200dpi、300dpi、400dpi、600dpi のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。

変倍率

画像を拡大または縮小して印刷するときの変倍率を設定します。25～1000%（1%単位）で設定できます。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

条件

- 印刷オプションの xmag、ymag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「実サ

イズ変倍」、「自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

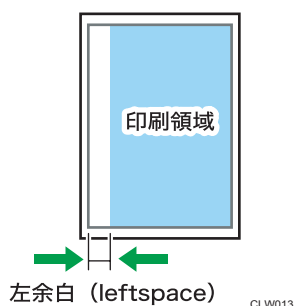
- 印刷オプションで mag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

左余白

印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法（mm）を設定します。0〜100mm（1mm 単位）で設定できます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

動作

- 両面横とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この項目の設定値は右余白の値です。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

補足

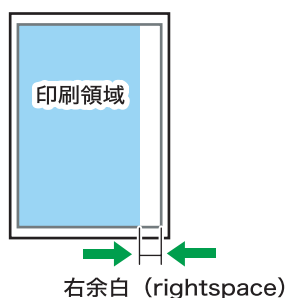
- 印刷オプションで leftspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と leftspace の指定値を加えた値です。

右余白

印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法（mm）を設定します。0〜100mm（1mm 単位）で設定できます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

3

動作

- 両面横とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この項目の設定値は左余白の値です。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

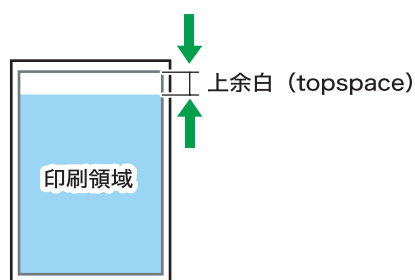
補足

- 印刷オプションで rightspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と rightspace の指定値を加えた値です。
- 中央配置が有効になっている状態で右余白を指定すると、指定した寸法を用紙幅から除いた領域を元にして、画像の中央位置が定められます。そのため、画像によっては、印刷範囲が用紙に収まりきらずに画像の左側が削られてしまうことがあります。

上余白

印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法（mm）を設定します。0〜100mm（1mm 単位）で設定できます。

ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

動作

- 両面上とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この項目の設定値は下余白の値です。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

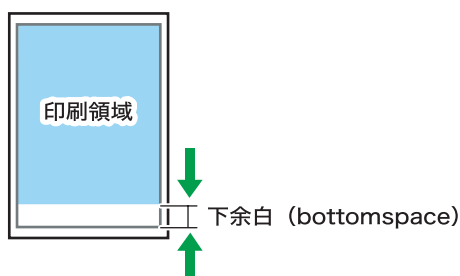
補足

- 印刷オプションで topspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と topspace の指定値を加えた値です。

下余白

印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法（mm）を設定します。0～100mm（1mm 単位）で設定できます。

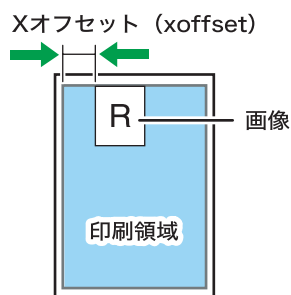
ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

動作

- 両面上とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この項目の設定値は上余白の値です。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

補足

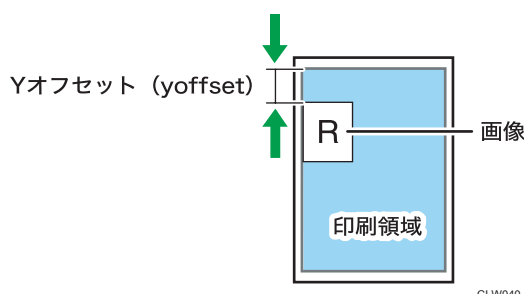
- 印刷オプションで bottomspace を指定したとき、余白は、この項目の設定値と bottomspace の指定値を加えた値です。

X オフセット

印刷位置の横方向の移動量を設定します。-100～100mm（1mm 単位）で設定できます。マイナスの値を設定すると左に、プラスの値を設定すると右に移動します。

補足

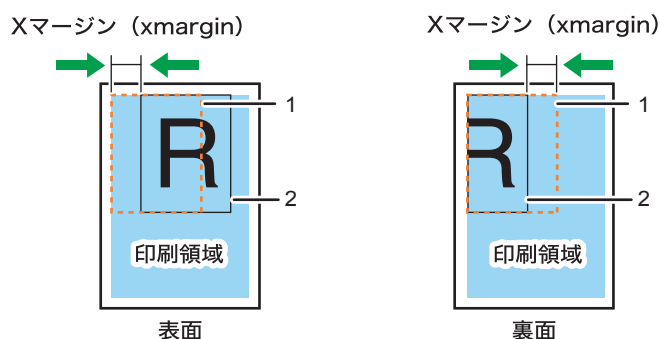
- 印刷オプションで xoffset を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に xoffset の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「X マージン」、「中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで xmargin、center、nocenter のいずれかが指定されているとき、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって横方向に移動します。

Y オフセット

印刷位置の縦方向の移動量を設定します。-100～100mm（1mm 単位）で設定できます。マイナスの値を設定すると上に、プラスの値を設定すると下に移動します。

補足

- 印刷オプションで yoffset を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に yoffset の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「Y マージン」、「中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで ymargin、center、nocenter のいずれが指定されているとき、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって縦方向に移動します。

X マージン

両面横とじ印刷の印刷位置の横方向の移動量を設定します。-100～100mm（1mm 単位）で設定できます。マイナスの値を設定すると表面は左に裏面は右に、プラスの値を設定すると表面は右に裏面は左に移動します。

CLW043

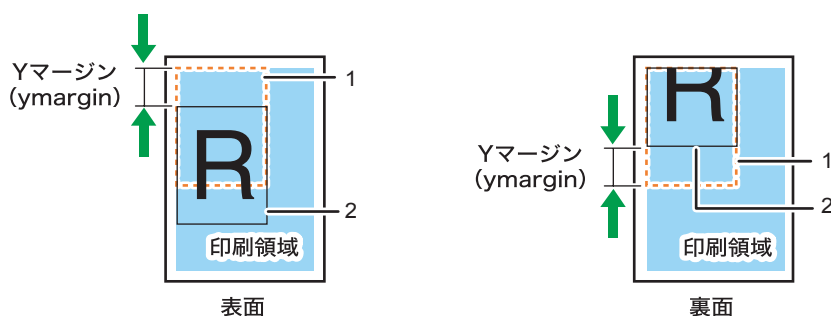
1. 本来の印刷位置
2. 実際の印刷位置

両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation によって指定された画像方向を基準にした方向です。

補足

- 印刷条件の「X マージン」は、使用しているモデルによってはオプションの両面ユニットを装着しているときだけ指定できます。
- 印刷位置ではなく印刷領域を基準に画像を移動するときは、印刷条件の「左余白」や「右余白」で設定してください。
- 印刷オプションで xmargin を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に xmargin の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「X オフセット」、「中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで xoffset、center、nocenter のいずれかが指定されているとき、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって横方向に移動します。

Y マージン

両面上とじ印刷の印刷位置の縦方向の移動量を設定します。-100～100mm（1mm 単位）で設定できます。マイナスの値を設定すると表面は上に裏面は下に、プラスの値を設定すると表面は下に裏面は上に移動します。

3

CLW041

3

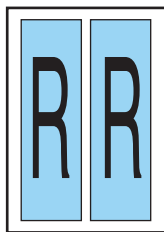
1. 本来の印刷位置
2. 実際の印刷位置

両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

補足

- 印刷条件の「Y マージン」は、使用しているモデルによってはオプションの両面ユニットを装着しているときだけ指定できます。
- 印刷位置ではなく印刷領域を基準に画像を移動するときは、印刷条件の「上余白」や「下余白」で設定してください。
- 印刷オプションで ymargin を指定したとき、移動量は、この項目の設定値に ymargin の指定値を加えた値です。
- 印刷条件で「Y オフセット」、「中央配置」が設定されているとき、または印刷オプションで yoffset、center、nocenter のいずれかが指定されている場合、その設定値とこの項目で設定した設定値にしたがって縦方向に移動します。

マルチカラム

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷されるように設定します。横方向に並べる画像数（列数）を 1〜10 の間で設定します。

CLW016

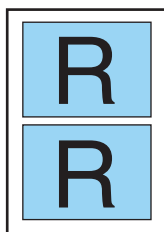
条件

- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するとき、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していない場合は、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで multicols または autopaper を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 縦方向に並べる画像数（行数）は、「マルチロー」または印刷オプションの multirows で設定します。
- 各画像のサイズは、指定した画像数と印刷領域の設定によって変わります。
- 複数の画像の印刷を設定したとき、設定した画像の数に満たなくても以下のときは印刷されます。
  - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
  - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
  - 本機がパラレル接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合

マルチロー

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように設定します。縦方向に並べる画像数（行数）を 1～10 の間で設定します。

CLW017

条件

- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するときで、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定していない場合は、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで multirows または autopaper を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 横方向に並べる画像数（列数）は、「マルチカラム」または印刷オプションの multicols で設定します。
- 各画像のサイズは、指定した画像の数と印刷領域の設定によって変わります。

- 複数の画像の印刷を設定したとき、設定した画像の数に満たなくても以下のときは印刷されます。
    - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
    - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
    - 本機がパラレル接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合

横変倍率

横方向の変倍率を設定します。25～1000%（1%単位）で設定できます。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

条件

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷条件で指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷オプションで xmag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

縦変倍率

縦方向の変倍率を設定します。25～1000%（1%単位）で設定できます。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

条件

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷条件で指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 印刷オプションで ymag を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

白黒反転

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**しない**

条件

- 印刷オプションで positive または negative を指定したとき、この項目の設定は無効です。

明るさ

多値画像（グレースケール）の明るさを設定します。1〜1000%（1%単位）で設定できます。「100%」よりも大きい値を設定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を設定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

条件

- 2 値画像（黒と白だけ）のとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで brightness を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷条件が無効となることがあります。

コントラスト

多値画像（グレースケール）のコントラストを設定します。1〜1000%（1%単位）で設定できます。「100%」よりも大きい値を設定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を設定すると明暗の差が小さく印刷されます。

条件

- 2 値画像（黒と白だけ）のとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで contrast を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷条件が無効となることがあります。

中央配置

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**する**

動作

- 「しない」に設定すると、印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になります。
- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「X オフセット」、「Y オフセット」、「X マージン」、「Y マージン」を設定するか、印刷オプションの xoffset、yoffset、xmargin、ymargin を指定すると、その設定値の分だけ中央から移動して印刷されます。

条件

- 印刷オプションで center または nocenter を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷領域は、印刷条件の「印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea、および normalarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「各（左、右、上、下）余白」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値、および印刷オプションの leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値にしたがって印刷される領域です。

自動変倍

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを設定します。画像の縦横比は保持されます。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**しない**

動作

- 「しない」に設定すると、画像が等倍で印刷されます。
- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」を設定するか、または印刷オプションの mag、xmag、ymag、tifffit、notifffit のいずれかを指定すると、その変倍率とこの項目で設定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

条件

- 印刷オプションで fit または nofit を指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「自動縮小」で縮小サイズを設定したとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで autoreduce を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷領域は、印刷条件の「印刷領域」の設定値、または印刷オプションの maxarea、および normalarea の指定値で決まる印刷領域から、印刷条件の「各（左、右、上、下）余白」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値、および印刷オプションの leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、multicols、multirows の設定値にしたがって印刷される領域です。

エラー印刷

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**しない**

動作

- 「する」に設定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについてエラーメッセージが印刷されます。

条件

- 印刷オプションで errorprint または noerrorprint を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 「する」に設定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされたときは、エラーメッセージは印刷されません。
- 「しない」に設定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- エラーメッセージについては、P.187「エラーメッセージ」を参照してください。

印字モード

スムージング機能を使用するかどうか、また、トナーの消費を抑えて印刷するかどうかを設定します。

スムージングを有効にすると、文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷できます。

設定値

- スムージングオフ
- スムージングオン

3

- トナーセーブモード 1
- トナーセーブモード 2

工場出荷時の設定：**スムージングオフ**

動作

- 「スムージングオフ」に設定すると、スムージングを無効にして印刷されます。写真やハーフトーンのデータを印刷するときは、このモードを選択してください。
- 「スムージングオン」に設定すると、スムージングを有効にして印刷されます。
- 「トナーセーブモード 1」に設定すると、トナーを節約して印刷されます。やや薄めに印刷されます。
- 「トナーセーブモード 2」に設定すると、トナーセーブモード 1 よりさらにトナーを節約して印刷されます。薄めに印刷されます。

条件

- 印刷オプションで smoothingon、smoothingoff、tonersavemode1、tonersavemode2 のどれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。
- 解像度の設定によっては、スムージング機能は無効です。

印刷領域

用紙に余白をとって印刷するか、用紙の端まで印刷するかを設定します。ただし、印刷領域を設定しても、実際の用紙上の印刷位置が想定どおりにならないことがあります。

設定値

- 標準
- 最大

工場出荷時の設定：**最大**

動作

- 「標準」に設定すると、印刷領域の上下左右に約 5mm ずつの余白ができます。
- 「最大」に設定すると、ほぼ用紙の端までが印刷領域になります。

条件

- 印刷オプションで maxarea または normalarea を指定したとき、この項目の設定は無効です。

実サイズ変倍

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するかどうかを設定します。

設定値

- しない

- する

工場出荷時の設定：**する**

動作

- 「しない」に設定すると、受信した画像が実物大で印刷されません。等倍の大きさで印刷されます。
- 「する」に設定しているときでも、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」を設定するか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定すると、その変倍率とこの印刷条件による画像を実物大にするための変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- TIFF 形式と CALS 形式以外のイメージデータのときは、設定は無効です。
- 拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグに記述されている横および縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算できます。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データを 600dpi のエンジン解像度で印刷したとき、横方向は 3.0 倍（600/200）、縦方向は 1.5 倍（600/400）で印刷されます。
- マルチページの TIFF データのとき、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。

条件

- 「する」に設定しているときでも、解像度情報のタグがない TIFF データやページ、またはヘッダーレコードがない CALS データの場合、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションで tifffit、または notifffit を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 印刷オプションの autoreduce と、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit を同時に指定したとき、autoreduce の指定、または印刷条件「自動縮小」の設定が優先されます。

自動用紙選択

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイが自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように設定できます。

設定値

- しない
- する

工場出荷時の設定：**する**

動作

- 「しない」に設定すると、自動的に選択されません。

- 「する」に設定すると、自動的に選択されます。
- 「する」を設定すると、印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「印刷方向」、「マルチカラム」、「マルチロー」の設定と、印刷オプションの portrait、landscape、multicols、multirows の指定は無効になります。
- 以下のトレイは選択の対象となりません。すべての給紙トレイが選択対象外のときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
    - 手差しトレイ
    - 自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ
    - 「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイ
    - 給紙できない用紙サイズに設定されているトレイ
    - 表紙トレイ、合紙トレイ、または章区切り紙トレイに指定し、表示のタイミングを「常時表示」に設定したトレイ
    - 両面印刷しようとしているときに、「片面コピー」に設定したトレイ
- 印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」、「左余白」、「右余白」、「上余白」、「下余白」、「X オフセット」、「Y オフセット」のいずれかを設定しているか、印刷オプションの mag、xmag、ymag、tifffit、notifffit、autoreduce、leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、xoffset、yoffset のいずれかを指定しているときは、これらの設定や指定が反映された画像の大きさを基準に給紙トレイが選択されます。
- 適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を、印刷条件の「用紙超過率」で設定できます。
- 選択の対象となっている給紙トレイの最大の用紙サイズよりも画像が大きいとき、給紙トレイの中で最大の用紙サイズの給紙トレイが選択されます。

条件

- 印刷オプションで tray、paper、autopaper のいずれかを指定したとき、この項目の設定は無効です。
- PJL、または関連の印刷オプションで、ステープル、パンチを指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

用紙超過率

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイを自動的に選択するとき、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を設定します。-50～50%（1%単位）で設定できます。

工場出荷時の設定は 5%です。

動作

- 超過率を「10%」と指定すると、用紙が 10%分大きいサイズ（110%の大きさ）まで印刷できるものとして給紙トレイが選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10%分小さいサイズ（90%の大きさ）しか印刷できないものとして給紙トレイが選択されます。

条件

- 印刷条件の「自動用紙選択」の設定が「しない」になっているとき、または印刷オプションの tray、paper を指定して autopaper を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autopaper で超過率を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- 画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイを自動的に選択するには、印刷条件の「自動用紙選択」または印刷オプションの autopaper で設定します。

データバッファ

本機で TIFF データをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を設定します。

重要

- **「ハードディスク」に設定しているとき、入力データの処理中にプリンターの電源を切らないでください。入力データの処理中にプリンターの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。**

設定値

- メモリー
- ハードディスク

工場出荷時の設定：**メモリー**

動作

- 「メモリー」に設定すると、データバッファにメモリーが使用されます。
- 「ハードディスク」に設定すると、データバッファにハードディスクが使用されます。データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できない TIFF ファイル、または CALS ファイルが印刷できることがあります。ただし、入力データによっては設定しないときに比べて印刷に時間がかかることがあります。

条件

- 印刷オプションで diskbuffer または memorybuffer を指定したとき、この項目の設定は無効です。

補足

- TIFF データの格納順序の制約やデータサイズの制限については、P.175「入力データの仕様」を参照してください。

画像の向き

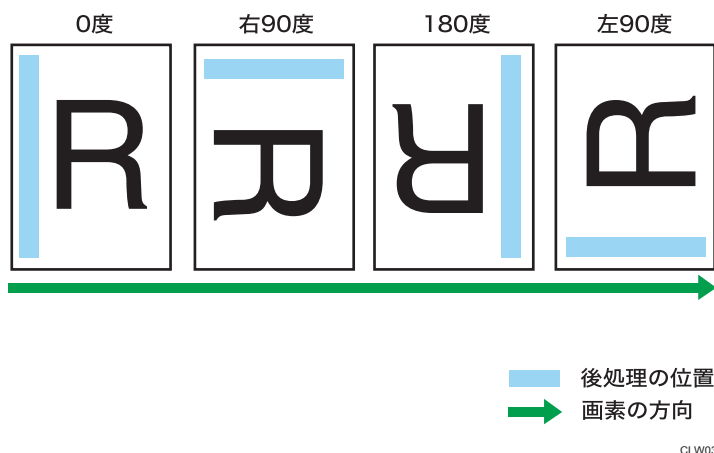
ステープルやパンチなどの後処理が含まれる印刷データにおいて、画素の方向に画像の向きを変更できます。指定した後処理の位置は、変更した画像の向きを考慮して処理されます。

3

設定値

- 0 度回転画像
- 右 90 度回転画像
- 180 度回転画像
- 左 90 度回転画像

工場出荷時の設定：**0 度回転画像**

後処理を「左」に指定したとき

動作

- 「0 度回転画像」に設定すると、画像の向きと画素方向が同一の画像データとして後処理をします。
- 「右 90 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 90°回転している画像データとして後処理をします。
- 「180 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 180°回転している画像データとして後処理をします。
- 「左 90 度回転画像」に設定すると、画像の向きが画素方向に対し 270°回転している画像データとして後処理をします。

- 印刷オプションの orientation を指定したとき、「画像の向き」の設定は無効です。

自動縮小

用紙より大きい画像を用紙に収まるように縮小できます。

設定値

- 縮小しない
- A3 に縮小
- A4 に縮小
- A5 に縮小
- A6 に縮小
- B4 に縮小
- B5 に縮小
- B6 に縮小
- ハガキに縮小
- LT に縮小
- HL に縮小
- DL に縮小
- LG に縮小
- AC に縮小
- A0 に縮小
- A1 に縮小
- A2 に縮小
- B1 に縮小
- B2 に縮小
- B3 に縮小

工場出荷時の設定：**縮小しない**

動作

- 画像サイズが用紙サイズより大きいとき、用紙に収まるように縮小して印刷します。
- 画像サイズが用紙サイズより小さいとき、等倍で印刷します。
- 画像サイズは印刷条件「自動縮小無効倍率」の設定値で判断します。
- 「縮小しない」に設定すると自動縮小しません。

- 画像サイズは、印刷条件の「実サイズ変倍」、「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの tifffit、mag、xmag、ymag の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に自動縮小するかどうか判断します。
- この印刷条件を設定すると、印刷条件の「自動変倍」の「する」、または印刷オプションの fit の指定は無効になります。

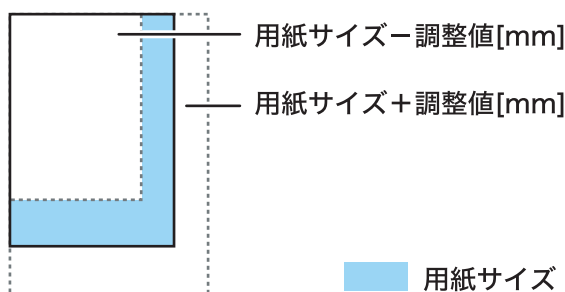
補足

- 印刷オプションの autoreduce を指定したとき、「自動縮小」の設定は無効です。

自動縮小余白補正

印刷条件の「自動縮小」、または印刷オプションの autoreduce で設定した用紙サイズを調整できます。-100～100mm（1mm 単位）

動作

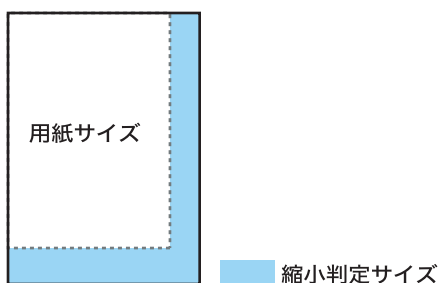
- 印刷条件の「自動縮小」で設定した用紙サイズの大きさを調整して印刷します。
- 調整した値は、縮小するときの縮小率算出だけに影響し、縮小判定サイズには影響しません。
- 設定値と用紙サイズが画像サイズより大きいとき、画像が拡大されることがあります。

補足

- 工場出荷時の設定は 0mm です。
- 印刷条件の「自動縮小」項目で設定した「用紙」の短辺より設定値が大きいとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷条件の「自動縮小」の項目を「縮小しない」に設定して、印刷オプションの autoreduce を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autoreduce に余白補正値を指定したとき、この印刷条件は無効です。

自動縮小無効倍率

印刷条件の「自動縮小」、または印刷オプションの autoreduce で設定した縮小判定サイズを調整できます。-50%～50%（1%単位）

動作

- 調整した用紙サイズの大きさは、縮小判定サイズだけに影響し、縮小するときの縮小率算出には影響しません。
- 設定値には、縮小判定サイズを調整する値を設定します。
- 「縮小判定サイズ」は、用紙サイズに自動縮小無効倍率の設定値を乗じたサイズです。このサイズに収まらないときだけ画像を縮小します。

補足

- 工場出荷時の設定は 5%です。
- 印刷条件の「自動縮小」の項目を「縮小しない」に設定して、印刷オプションの autoreduce を指定しないとき、この項目の設定は無効です。
- 印刷オプションの autoreduce に無効倍率が指定されたとき、この項目の設定は無効です。

縮小変倍時細線補正

ドットの間引き、または、画素補正を考慮して変倍できます。縮小印刷したときに細線が消えてしまうことを回避できます。

設定値

- 画素間引き
- 横線補正
- 縦線補正
- 縦線・横線補正

工場出荷時の設定：**縦線・横線補正**

動作

- 「画素間引き」を設定すると、ドットを間引いて変倍されます。
- 「横線補正」を設定すると、画像の横方向の細線を画素補正して変倍されます。
- 「縦線補正」を設定すると、画像の縦方向の細線を画素補正して変倍されます。
- 「縦線・横線補正」を設定すると、画像の縦方向と横方向の細線を画素補正して変倍されます。

条件

- 「画素間引き」を設定すると、画像縮小したときに細線が消えてしまうことがあります。
- 画素補正の変倍を指定すると変倍処理が変わるため、設定によって印刷結果が異なることがあります。
- 等倍または拡大印刷時は、この印刷条件の指定による効果はありません。
- この印刷条件は、画像系の TIFF データには適しません。
- 印刷オプションの magprocess、magprocessx、magprocessy、magprocessxy が指定されたとき、この印刷条件の設定は無効です。
- 「横線補正」、「縦線補正」、または「縦線・横線補正」を設定したとき、メモリーに十分な余裕がないと縮小できない場合があります。

印刷オプションを指定する

印刷オプションとは

印刷オプションとは、UNIX ワークステーションやパソコンからネットワークプリンターに印刷するときに、印刷のコマンドとともに入力する文字列のことです。

印刷オプションによって印刷条件を指定できます。印刷オプションによる指定は、本機の操作部で設定した印刷条件よりも優先されます。ただし、印刷オプションは本機の操作部で設定した内容の一部を一時的に変更して印刷するためのものであり、その印刷のコマンドが終了した時点で無効です。

補足

- 印刷のコマンドで印刷オプションを指定できるのは、ネットワークプロトコルがTCP/IP のときだけです。ただし、パラレル接続のときでも、入力データに印刷オプション指定コマンドを含めることで、印刷オプションを指定できます。印刷オプション指定コマンドについては、P.185「印刷オプション指定コマンド」を参照してください。
- 印刷オプションによっては、指定したオプションの値と本機の操作部で設定した印刷条件の値が組み合わされるものがあります。

印刷オプションの指定方法

印刷オプションの指定方法は、印刷に使用するコマンドによって異なります。たとえばUNIX ワークステーションからの印刷に rsh コマンドを使用するとき、印刷コマンドの後ろに半角スペースを入力し、続けて印刷オプションを入力します。

RTIFF エミュレーションに切り替え、給紙トレイ 1 から給紙し、印刷部数を 3 部、印刷領域の中央に画像を印刷するには、以下のように指定します。

```
% rsh hostname print filetype=RTF,tray=1,copies=3,center < tiff-filename
```

印刷のコマンド　印刷オプション　TIFFファイル名

- 複数の印刷オプションを指定するときは、それぞれを「,」で区切ります。
- 印刷オプションには、指定値が必要なものとそうでないものがあります。指定値は、印刷オプション名の後ろに「=」を入力し、続けて指定値を入力します。
- 「=」を含まない印刷オプションを単独で指定するときは、印刷オプションの先頭に「,」を追加します。

補足

- 印刷コマンドの使用方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。

- 「＝」が使用できない OS では、代わりに「_」（アンダースコア）を使用してください。
- 印刷オプションとして指定できる文字数は 1023 バイト以内です。ただし、OS やネットワークインターフェース、アプリケーションなどの環境によって、これよりも少なくなることがあります。
- 範囲外の値や誤った印刷オプションを指定すると、正常に印刷できないことがあります。

印刷オプション一覧表

印刷オプション名	指定値	機能概要
filetype	RTF	印刷に使用するエミュレーションを指定する。
	P1〜P16	印刷に使用するプログラムを指定する。
tray	1、2、3、4、5、T	給紙トレイを指定する。
paper	用紙	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙トレイを指定する。
	用紙/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n	指定した条件に合う用紙がセットされている給紙トレイを指定する。
bin	0、1、2、3、4	排紙先を指定する。
autotray	指定値なし	用紙切れのときにほかの給紙トレイに切り替える。
noautotray		
portrait	指定値なし	用紙内の画像の向きを指定する。
landscape		
singleside	指定値なし	両面で印刷する。
bothside		
flip		
200dpi	指定値なし	エンジン解像度を選択する。
300dpi		
400dpi		
600dpi		
copies	1〜999	印刷部数を指定する。
mag	0.002〜500	画像を縦横同率で拡大、縮小する。
	用紙 1.用紙 2	画像を縦横同率で拡大、縮小する。

印刷オプション名	指定値	機能概要
leftspace	-30～30cm	用紙の左側の余白を指定する。
rightspace	-30～30cm	用紙の右側の余白を指定する。
topspace	-30～30cm	用紙の上側の余白を指定する。
bottomspace	-30～30cm	用紙の下側の余白を指定する。
xoffset	-100～100cm	画像を横方向に移動する。
yoffset	-100～100cm	画像を縦方向に移動する。
xmargin	-100～100cm	両面横とじ印刷に適するように画像を横方向に移動する。
ymargin	-100～100cm	両面上とじ印刷に適するように画像を縦方向に移動する。
multicols	1～10	複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するときの列数を指定する。
multirows	1～10	複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するときの行数を指定する。
xmag	0.002～500	画像を横方向に拡大、縮小する。
ymag	0.002～500	画像を縦方向に拡大、縮小する。
negative	指定値なし	画像を白黒反転する。
positive		
brightness	0.01～999	多値画像（グレースケール）の明るさを変更する。
contrast	0.01～999	多値画像（グレースケール）のコントラストを変更する。
center	指定値なし	画像を印刷領域の中央に配置する。
nocenter		
fit	指定値なし	画像を印刷領域に合わせて拡大、縮小する。
nofit		
tifffit	指定値なし	画像が実物大になるように拡大、縮小する。
notifffit		

印刷オプション名	指定値	機能概要
autopaper	指定値なし	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
	用紙 1/用紙 2/.../用紙 n	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
	紙種 1/紙種 2/.../紙種 n	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
	超過率	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
	用紙 1/用紙 2/.../用紙 n/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n/超過率	画像の大きさに適した給紙トレイと用紙内の画像の向きを自動的に選択する。
errorprint	指定値なし	エラーメッセージを印刷する。
noerrorprint		
smoothingon	指定値なし	印字モードを選択する。
smoothingoff		
tonersavemode1		
tonersavemode2		
maxarea	指定値なし	印刷領域を選択する。
normalarea		
diskbuffer	指定値なし	データバッファを選択する。
memorybuffer		
orientation	画像方向 (0、90、180、270)	画像方向を選択する。
autoreduce	用紙サイズ (a0、a1、a2、a3、a4、a5、a6、b1、b2、b3、b4、b5、b6、ac、pc、lt、hl、dl、lg)	画像の大きさが指定用紙サイズよりも大きいときは、指定用紙サイズに縮小する。
	余白補正値 (-30cm～30cm)	自動縮小機能で用紙サイズの大きさを指定する。
	無効倍率 (-99%～)	自動縮小判定サイズの無効倍率を指定する。
freesize	幅×高さ	不定形トレイまたは手差しトレイの不定形サイズを指定する。

印刷オプション名	指定値	機能概要
magprocess	指定値なし	間引き、または、画像補正を考慮した変倍をするか指定する。
magprocessx		
magprocessy		
magprocessxy		
imagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転する。
emlimagedirection	reverse、normal	用紙内の画像の向きを 180 度回転する。
emlusercode	ユーザーコード（半角数字 8 桁以内）	usercode を指定する。
emlstaple	ステープル位置（lefttop、top2port、など）	ステープルする。
emlpunch	パンチ位置（leftport、topland、など）	パンチする。
emlqty	ソート部数（1～999）	電子ソートする。
emlpunchhole	パンチの穴の数（jp2）	パンチの穴の数を指定する。
emlprinterstamp	on、off	ソフトスタンプ機能を使用する。
usercode	ユーザーコード（半角数字 8 桁以内）	ユーザーコードを指定する。
pjl	on	後処理関係の印刷オプション（staple、punch、qty、outbin）を有効にする。
staple	ステープル位置（lefttop、top2port など）	ステープルする。
punch	パンチ位置（leftport、topland など）	パンチする。
punchhole	パンチの穴の数（jp2）	パンチの穴の数を指定する。
qty	ソート部数(1～999)	電子ソートする。
outbin	排紙トレイ（upper、finishershift など）	排紙トレイを選択する。
printerstamp	on、off	ソフトスタンプ機能を使用する。

補足

- 装着されているオプションによって、以下の印刷オプションは指定できないことがあります。また、指定できるときでも指定値が異なる場合があります。

- bin、singleside、bothside、flip、staple、punch、outbin、emlstaple、emlpunch、emlpunchhole、punchhole

印刷オプションの指定項目

補足

- 装着されているオプションによって、以下の印刷オプションは指定できないことがあります。また、指定できるときでも指定値が異なる場合があります。
  - bin、singleside、bothside、flip、staple、punch、outbin、emlstaple、emlpunch、emlpunchhole、punchhole

filetype

印刷に使用するエミュレーションを指定します。また、エミュレーションの代わりに登録されているプログラムも指定できます。

書式

filetype=エミュレーション名

filetype=プログラム番号

または

fil=エミュレーション名

fil=プログラム番号

指定値と動作

- 「エミュレーション名」は 3 文字の省略名です。RTIFF エミュレーションに切り替えるときは「RTF」を指定します。印刷条件は RTIFF エミュレーションの初期値が呼び出されます。
- 「プログラム番号」は、「P1」から「P16」のプログラム番号を指定します。RTIFF エミュレーションが登録されているプログラムを指定してください。印刷条件はプログラムに登録されている設定値が呼び出されます。

説明

- この印刷オプションを指定しなかったときは、操作部で呼び出されているエミュレーションで印刷されます。RTIFF エミュレーションになっていないときは、正常に印刷されないことがあります。［プリンター初期設定］の［システム設定］タブにある［エミュレーション検知］を［する］に設定しているときは、正しい TIFF ファイルを送信すると RTIFF モードに自動的に切り替わります。

tray

印刷に使用する給紙トレイを指定します。

書式

tray=給紙トレイ番号

指定値と動作

指定値	選択されるトレイ
1	標準給紙トレイ 1
2	標準給紙トレイ 2
3	標準給紙トレイ 3
4	標準給紙トレイ 4
5	標準給紙トレイ 5
T	手差しトレイ

説明

- ここで指定した給紙トレイに、本機で給紙できない用紙や、RTIFF エミュレーションに対応していない用紙サイズ、紙種の用紙がセットされているとき、この印刷オプションの指定が無効になり、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- この印刷オプションを指定したとき、本機の操作部で設定した印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「自動用紙選択」、「用紙超過率」は無効です。
- 印刷オプションの paper または autopaper のどちらかを同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。
- PJL、または関連の印刷オプションで回転ソート、ステープル、パンチを指定しているとき、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。

補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定したトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。給紙トレイを特定するときは、印刷条件の「リミットレス給紙」を「自動」または「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

paper

指定した用紙のサイズと向きおよび紙種の条件に合った給紙トレイを指定します。

書式

paper=用紙

paper=用紙/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n

- 指定値は「/」で区切ってください。

指定値と動作

給紙トレイを、用紙サイズと向き（「用紙」）および用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」）で指定します。

指定値	動作
a2r	A2 タテ（）のトレイから給紙されます。
a3	A3 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a3r	A3 タテ（）のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a4r	A4 タテ（）のトレイから給紙されます。
a5	A5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b3r	B3 タテ（）のトレイから給紙されます。
b4	B4 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b4r	B4 タテ（）のトレイから給紙されます。
b5	B5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b5r	B5 タテ（）のトレイから給紙されます。
acr	17×22 タテ（）のトレイから給紙されます。
dl	ダブルレターヨコ（）のトレイから給紙されます。
dlr	ダブルレタータテ（）のトレイから給紙されます。
lg	リーガルヨコ（）のトレイから給紙されます。
lgr	リーガルタテ（）のトレイから給紙されます。
lt	レターヨコ（）のトレイから給紙されます。
ltr	レタータテ（）のトレイから給紙されます。
hl	ハーフレターヨコ（）のトレイから給紙されます。
free	不定形のトレイから給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙のトレイから給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
color	色紙のトレイから給紙されます。
special	特殊紙のトレイから給紙されます。

指定値	動作
letterhead	レターヘッド紙のトレイから給紙されます。
thin	薄紙のトレイから給紙されます。
translucent	トレーシングペーパーのトレイから給紙されます。

説明

- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定したとき、用紙サイズと向きの条件が一致し、さらに紙種が一致する給紙トレイから給紙されます。紙種を指定していないときは、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされているトレイから給紙されます。
- この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向きおよび紙種のすべての条件を満たす給紙トレイがセットされていないときは、操作部に表示されているトレイから給紙されます。
- 以下のトレイは選択の対象となりません。すべての給紙トレイが選択対象外のときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
    - 手差しトレイ
    - 自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ
    - 「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイ
    - 給紙できない用紙サイズに設定されているトレイ
    - 表紙トレイ、合紙トレイ、または章区切り紙トレイに指定し、表示のタイミングを「常時表示」に設定したトレイ
    - 両面印刷しようとしているときに、「片面コピー」に設定したトレイ
- この印刷オプションを指定したとき、印刷オプションの tray、本機の操作部で設定した印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「自動用紙選択」、「用紙超過率」は無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

補足

- リミットレス給紙の設定を有効にしていると、設定したトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。給紙トレイを特定するときは、印刷条件の「リミットレス給紙」を「しない」に設定するか、印刷オプションで noautotray を指定してください。

bin

印刷した用紙が排出されるトレイを指定します。

書式

bin=排紙トレイ番号

指定値と動作

排紙トレイ番号を指定します。指定した排紙トレイ番号によって排紙トレイが選択されます。

装着している排紙オプションにより、指定される排紙トレイは以下のようになります。「システムデフォルト」の排紙先は、[システム初期設定] の [基本設定] タブにある [排紙先：プリンター] で設定されている排紙先です。

本体のみ

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	本体トレイ

本体+上トレイ

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	本体トレイ
2	本体上トレイ

本体+左トレイ

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	左トレイ

本体+上トレイ+左トレイ

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	本体上トレイ
2	左トレイ

本体+2000 枚中とじフィニッシャー

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	フィニッシャー・上トレイ
2	フィニッシャー・シフトトレイ

指定値	排紙先
3	フィニッシャー・中とじトレイ

本体+上トレイ+2000 枚中とじフィニッシャー

指定値	排紙先
0	システムデフォルト
1	本体上トレイ
2	フィニッシャー・上トレイ
3	フィニッシャー・シフトトレイ
4	フィニッシャー・中とじトレイ

説明

- この印刷オプションは、pjl=on を指定していないとき、または outbin で manual を指定したときに有効です。
- この印刷オプションを指定しないとき、排紙先は［システム初期設定］の［用紙設定］タブにある［排紙先：プリンター］で設定した排紙トレイです。
- 給紙する用紙サイズが大きいなど、この印刷オプションで指定した排紙トレイに排紙できないときは、別の排紙トレイに排紙されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、ステープル、パンチを指定しているとき、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。

autotray, noautotray

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなったとき、ほかの給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを指定します。

切り替え対象の給紙トレイは、同サイズ、同紙種の用紙がセットされているトレイです。

書式

autotray

noautotray

指定値と動作

印刷オプション名	動作
autotray	給紙トレイが自動的に切り替えられます。
noautotray	給紙トレイは自動的に切り替えられません。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「リミットレス給紙」は無効です。

portrait, landscape

画像が印刷される向きを指定します。

書式

portrait

landscape

指定値と動作

portrait のときの仕上がり

CLW028

landscape のときの仕上がり

CLW029

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「印刷方向」は無効です。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するときで、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しない場合は、これらの印刷オプションは無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、これらの印刷オプションは無効です。
- PJL、または関連の印刷オプションで、ステープル、パンチを指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

singleside, bothside, flip

両面印刷するかどうかを指定します。

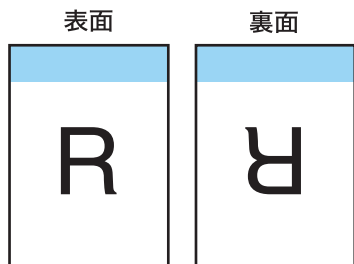
書式

singleside

bothside

flip

bothside のときの仕上がり

flip のときの仕上がり

指定値と動作

印刷オプション名	動作
singleside	片面に印刷されます。
bothside	両面横とじに印刷されます。
flip	両面上とじに印刷されます。

説明

- 使用しているモデルによっては、オプションの両面ユニットが装着されていないときは「singleside」「bothside」「flip」の指定は無効です。
- bothside を指定すると、表と裏とで画像の上下が一致する方向に印刷されます。

- flip を指定すると、表と裏で画像の上下が反対になる方向に印刷されます。
- 両面印刷を指定しても、裏面のデータがないときは印刷されません。ただし、以下のときは表面のデータだけが印刷されます。
    - RTIFF エミュレーションが終了したとき
    - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
    - 本機がパラレルインターフェースで接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合
    - 印刷オプション指定コマンドを受信したとき
    - サマリー印刷指定コマンドを受信したとき
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「両面印刷」は無効です。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

3

補足

- 両面印刷を指定しても片面で印刷されたとき、以下のことを確認してください。
    - 両面印刷できない紙種のトレイを選択している
    - 両面印刷できない用紙サイズのトレイを選択している
    - 両面印刷できない給紙トレイや排紙トレイを選択している
    - ページメモリーが不足している
    - 表面と裏面で用紙サイズが異なる

      たとえば、1 ページ目が A3、2 ページ目以降が A4 のとき、1 ページ目は片面印刷、2 ページ目以降は両面印刷になります。

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

印刷に使用する解像度を指定します。

書式

200dpi

300dpi

400dpi

600dpi

指定値と動作

印刷オプション名	動作
200dpi	200dpi で印刷されます。
300dpi	300dpi で印刷されます。

印刷オプション名	動作
400dpi	400dpi で印刷されます。
600dpi	600dpi で印刷されます。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「エンジン解像度」は無効です。
- 解像度の設定によっては、スムージング機能は無効です。

copies

印刷する部数を指定します。指定した部数で各ページが複写印刷されます。

書式

copies=印刷部数

指定値と動作

- 「印刷部数」は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、本機の操作部で設定した「印刷部数」は無効です。

mag

画像を拡大または縮小して印刷する変倍率を指定します。拡大または縮小しても、画像の縦横比は保持されます。

書式

mag=変倍率

mag=用紙 1.用紙 2

指定値は、「.」で区切ってください。

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002～500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。
- 「用紙 1」および「用紙 2」の 2 つのサイズを指定します。「用紙 1」のサイズが「用紙 2」のサイズになるような変倍率で印刷されます。指定値とその用紙サイズは、以下のとおりです。

指定値	用紙サイズ
a2	A2

指定値	用紙サイズ
a3	A3
a4	A4
a5	A5
b3	B3
b4	B4
b5	B5
ac	ANSI-C (17×22)
lt	レター
hl	ハーフレター
dl	ダブルレター
lg	リーガル

説明

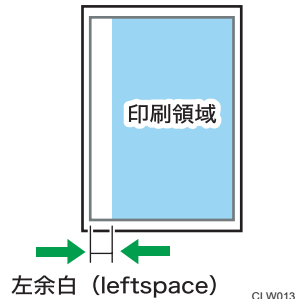
- 印刷オプションの xmag、ymag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「変倍率」は無効です。

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

leftspace

左側の余白を指定します。

書式

leftspace=寸法

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の左端から印刷開始位置までの寸法を-30～30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  leftspace=25mm

  単位を省略すると、cm で指定したことになります。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

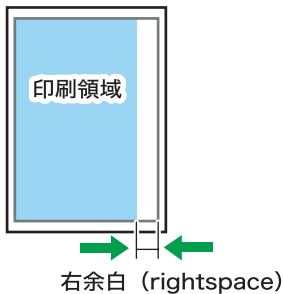
説明

- 両面横とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この印刷オプションの設定値は右余白の値です。
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「左余白」の設定値を加えた値です。

rightspace

右側の余白を指定します。

書式

rightspace=寸法

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の右端から印刷終了位置までの寸法を-30～30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

rightspace=25mm

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

説明

- 両面横とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この印刷オプションの設定値は左余白の値です。
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「右余白」の設定値を加えた値です。

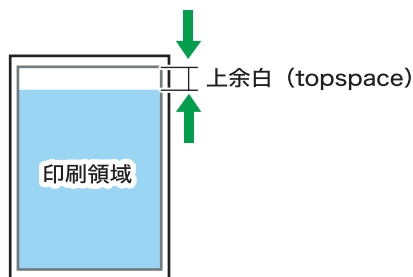
補足

- 中央配置が有効になっている状態で rightspace を指定すると、指定した寸法を用紙幅から除いた領域を元にして、画像の中央位置が定められます。そのため、画像によっては、印刷範囲が用紙に収まりきらずに画像の左側が削られてしまうことがあります。

topspace

上側の余白を指定します。

書式

topspace=寸法

CLW042

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の上端から印刷開始位置までの寸法を-30～30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

topspace=25mm

単位を省略すると、cm で指定したことになります。

- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

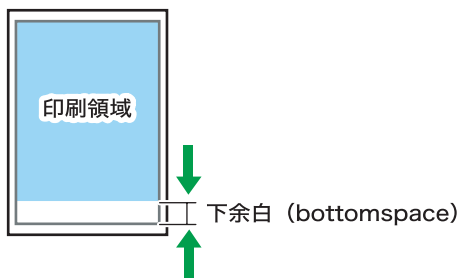
説明

- 両面上とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この印刷オプションの指定値は下余白の値です。
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「上余白」の設定値を加えた値です。

bottomspace

下側の余白を指定します。

書式

bottomspace＝寸法

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷領域の下端から印刷終了位置までの寸法を-30〜30cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  bottomspace=25mm

  単位を省略すると、cm で指定したことになります。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

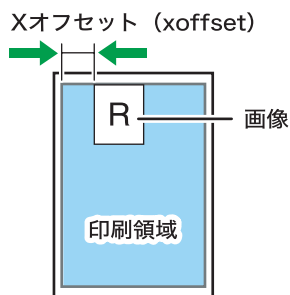
説明

- 両面上とじ印刷のとき、用紙の裏面では、この印刷オプションの指定値は上余白の値です。
- この印刷オプションを指定したとき、余白は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「下余白」の設定値を加えた値です。

xoffset

印刷位置の横方向の移動量を指定します。

書式

xoffset=寸法

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷位置の移動量を-100～100cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると左に、プラスの値を指定すると右に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  xoffset=25mm

  単位を省略すると、cm で指定したことになります。

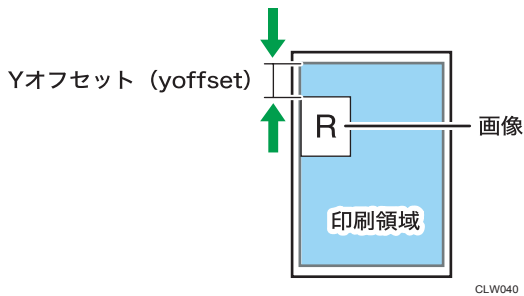
説明

- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「X オフセット」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションで xmargin、center、nocenter のどれかが指定されているとき、または印刷条件で「X マージン」、「中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって横方向に移動します。

yoffset

印刷位置の縦方向の移動量を指定します。

書式

yoffset=寸法

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷位置の移動量を-100～100cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると上に、プラスの値を指定すると下に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  yoffset=25mm

  単位を省略すると、cm で指定したことになります。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「Y オフセット」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションで ymargin、center、nocenter のどれかが指定されているとき、または印刷条件で「Y マージン」、「中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって縦方向に移動します。

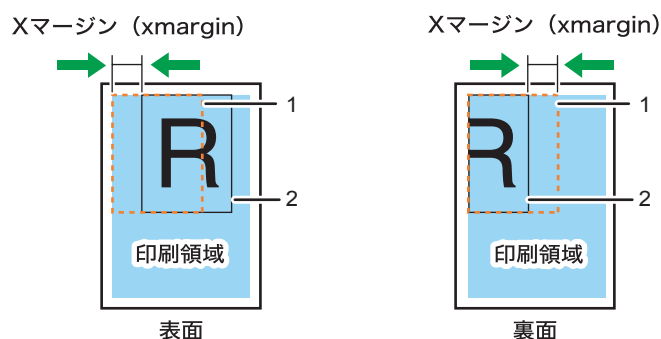
xmargin

両面横とじ印刷のとき、印刷位置の横方向の移動量を指定します。

書式

xmargin=寸法

Xマージン（xmargin）
1
2
印刷領域
表面

Xマージン（xmargin）
1
2
印刷領域
裏面

CLW043

1. 本来の印刷位置
2. 実際の印刷位置

指定値と動作

- 「寸法」は、印刷位置の移動量を-100～100cm の範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると表面は左に裏面は右に、プラスの値を指定すると表面は右に裏面は左に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mm や inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、25mm を指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  xmargin=25mm

  単位を省略すると、cm で指定したことになります。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像方向」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

説明

- 使用しているモデルによっては、オプションの両面ユニットが装着されていないときは「xmargin」の指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「X マージン」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションで xoffset、center、nocenter のどれかが指定されているとき、または印刷条件で「X オフセット」、「中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって横方向に移動します。

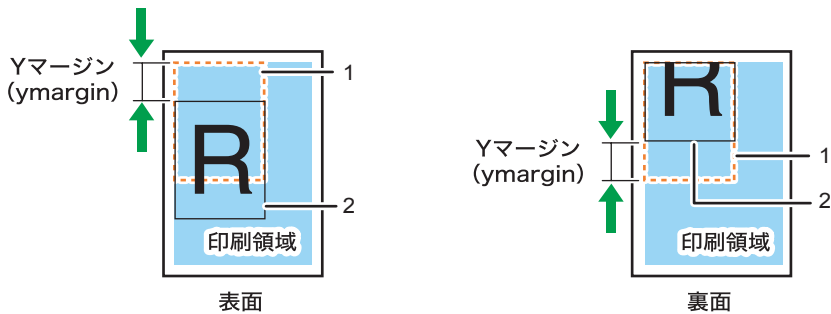
補足

- 印刷位置ではなく印刷領域を基準に画像を移動するとき、印刷オプションの leftspace や rightspace で指定してください。

ymargin

両面上とじ印刷のとき、印刷位置の縦方向の移動量を指定します。

書式

ymargin=寸法

CLW041

1. 本来の印刷位置
2. 実際の印刷位置

指定値と動作

- 使用しているモデルによっては、オプションの両面ユニットが装着されていないときは「ymargin」の指定は無効です。
- 「寸法」は、印刷位置の移動量を-100～100cmの範囲の単位付きの整数または小数で指定します。マイナスの値を指定すると表面は上に裏面は下に、プラスの値を指定すると表面は下に裏面は上に移動します。
- 上記の寸法内であれば、mmやinch（約25.4mm）、pt（ポイント）、dotでも指定できます。たとえば、25mmを指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  ymargin=25mm

  単位を省略すると、cmで指定したことになります。
- 両面のとじ方向は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションのorientationにより指定された画像方向を基準にした方向です。

説明

- この印刷オプションを指定したとき、移動量は、この印刷オプションの指定値と印刷条件の「Yマージン」の設定値を加えた値です。
- 印刷オプションでyoffset、center、nocenterのどれかが指定されているとき、または印刷条件で「Yオフセット」、「中央配置」が設定されているとき、その指定値とこの印刷オプションの指定値にしたがって縦方向に移動します。

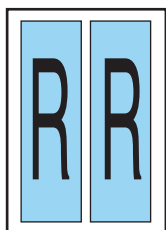
補足

- 印刷位置ではなく印刷領域を基準に画像を移動するとき、印刷オプションのtopspaceやbottomspaceで指定してください。

multicols

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように指定します。横方向に並べる画像数（列数）を指定します。

書式

multicols=画像数

CLW016

指定値と動作

- 「画像数」は、列数を 1～10 の範囲の整数で指定します。

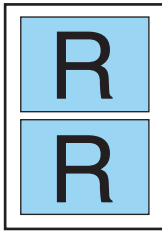
説明

- 縦方向に並べる画像数（行数）は、印刷オプションの multirows または印刷条件の「マルチロー」で指定します。
- 複数画像の印刷を指定したとき、設定した画像数に満たなくても以下の場合は印刷されます。
    - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
    - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
    - 本機がパラレル接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「マルチカラム」は無効です。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するとき、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しない場合は、この印刷オプションは無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

multirows

複数の画像を 1 枚の用紙に印刷するように指定します。縦方向に並べる画像数（行数）を指定します。

書式

multirows=画像数

CLW017

指定値と動作

- 「画像数」は、行数を 1〜10 の範囲の整数で指定します。

説明

- 横方向に並べる画像数（列数）は、印刷オプションの multicols または印刷条件の「マルチカラム」で指定します。
- 複数画像の印刷を指定したとき、設定した画像数に満たなくても以下の場合は印刷されます。
    - エミュレーション切り替えコマンドなどの ESC シーケンスコマンドを受信したとき
    - 本機がネットワークに接続されているときに、「EOF」を受信した場合
    - 本機がパラレル接続されているときに、オフライン状態で［強制排紙］を押した場合
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「マルチロー」は無効です。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するとき、印刷オプションの tray、paper のどちらも指定しない場合は、この印刷オプションは無効です。
- 印刷オプションの autopaper を同時に指定したとき、この印刷オプションは無効です。

xmag

横方向の変倍率を指定します。画像が横方向に拡大、縮小して印刷されます。

書式

xmag=変倍率

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002〜500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。

説明

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」

が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「横変倍率」は無効です。

補足

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

3

ymag

縦方向の変倍率を指定します。画像が縦方向に拡大、縮小して印刷されます。

書式

ymag=変倍率

指定値と動作

- 「変倍率」は、0.002〜500 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると拡大、小さい値を指定すると縮小されます。

説明

- 印刷オプションの mag、fit、nofit、tifffit、notifffit、autoreduce が指定されているとき、または印刷条件で「変倍率」、「自動変倍」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」が設定されているとき、その変倍率とこの印刷オプションで指定した変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「縦変倍率」は無効です。

補足

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

negative, positive

画像の白黒を反転して印刷するかどうかを指定します。

書式

negative

positive

指定値と動作

印刷オプション名	動作
negative	白黒反転して印刷されます。
positive	通常に印刷されます。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「白黒反転」は無効です。

brightness

多値画像（グレースケール）の明るさを指定します。

書式

brightness=明るさ

指定値と動作

- 「明るさ」は、0.01〜999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像が全体的に明るく（白っぽく）、小さい値を指定すると全体的に暗く（黒っぽく）印刷されます。

説明

- 「0.01」を指定すると、画像が黒 1 色になります。
- 「999」を指定すると、画像が白 1 色になります。
- 2 値画像（黒と白だけ）のとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「明るさ」は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷オプションの指定が無効となることがあります。

contrast

多値画像（グレースケール）のコントラストを指定します。

書式

contrast=コントラスト

指定値と動作

- 「コントラスト」は、0.01〜999 の範囲の整数または小数で指定します。「1.0」よりも大きい値を指定すると画像の明暗の差が大きく、小さい値を指定すると明暗の差が小さく印刷されます。

説明

- 「0.01」を指定すると、グレー 1 色になります。
- 「999」を指定すると、白と黒だけになります。
- 2 値画像（黒と白だけ）のとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「コントラスト」は無効です。
- 一部のカラーデータでは、この印刷オプションの指定が無効となることがあります。

center, nocenter

印刷領域の中央に画像を印刷するかどうかを指定します。

書式

center

nocenter

指定値と動作

印刷オプション名	動作
center	画像が中央に配置されて印刷されます。
nocenter	印刷領域の左上端が印刷開始位置（画像の左上端）になるように印刷されます。

説明

- center を指定しているときでも、印刷オプションの xoffset、yoffset、xmargin、ymargin を指定するか、印刷条件の「X オフセット」、「Y オフセット」、「X マージン」、「Y マージン」を設定すると、その指定値の分だけ中央から移動して印刷されます。
- 印刷領域は、各余白、印刷オプションの multicols、multirows、印刷条件の「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値にしたがって印刷される領域です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「中央配置」は無効です。

fit, nofit

受信した画像の大きさが、印刷領域に収まるように自動的に拡大、縮小して印刷するかどうかを指定します。このとき、画像の縦横比は保持されます。

書式

fit

nofit

指定値と動作

印刷オプション名	動作
fit	印刷領域に合わせて、拡大、縮小されて印刷されます。
nofit	等倍で印刷されます。

説明

- fit を指定しているときでも、印刷オプションの mag、xmag、ymag、tifffit、notifffit を指定するか、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変

倍」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した印刷領域に合わせた変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。

- 印刷領域は、各余白、印刷オプションの multicols、multirows、印刷条件の「マルチカラム」、「マルチロー」の設定値にしたがって印刷される領域です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「自動変倍」は無効です。

補足

- 印刷オプションの autoreduce、または印刷条件の「自動縮小」を「縮小しない」以外に設定したとき、印刷オプションの fit は無効です。

tifffit, notifffit

受信した画像を自動的に拡大、縮小して、実物大で印刷するように指定します。

書式

tifffit

notifffit

指定値と動作

印刷オプション名	動作
tifffit	実物大の大きさで印刷されます。
notifffit	実物大の大きさで印刷されません。等倍の大きさで印刷されます。

説明

- 拡大、縮小の倍率は、TIFF データのタグに記述されている横および縦方向の解像度情報と印刷時のエンジン解像度を基に計算できます。たとえば、横方向の解像度が 200dpi、縦方向の解像度が 400dpi のタグを持つ TIFF データを 600dpi のエンジン解像度で印刷したとき、横方向は 3.0 倍（600/200）、縦方向は 1.5 倍（600/400）で印刷されます。
- マルチページの TIFF データのとき、各ページの解像度情報を基に拡大、縮小されます。
- tifffit を指定しているときでも、印刷オプションの mag、xmag、ymag、fit、nofit、autoreduce を指定するか、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「自動変倍」、「自動縮小」を設定すると、その変倍率とこの印刷オプションで指定した画像を実物大にする変倍率をかけ合わせた変倍率で印刷されます。
- 解像度情報のタグがない TIFF データやページを印刷するとき、この印刷オプションの指定は無効です。
- これらの印刷オプションを指定したとき、プリンター本体で設定した印刷条件の「実サイズ変倍」は無効です。

補足

- 印刷条件の「自動変倍」や印刷オプションの fit による指定よりも、印刷条件の「自動縮小」や印刷オプションの autoreduce による指定のほうが優先されます。

autopaper

画像の大きさに適した用紙サイズの給紙トレイが自動的に選択され、画像の向きも適切な方向で印刷されるように指定します。用紙のサイズと向きや紙種を指定しておくと、指定した内容と一致する給紙トレイが自動的に選択されます。

書式

autopaper

autopaper=用紙 1/用紙 2/.../用紙 n

autopaper=紙種 1/紙種 2/.../紙種 n

autopaper=超過率

autopaper=用紙 1/用紙 2/.../用紙 n/紙種 1/紙種 2/.../紙種 n/超過率

指定値は、「/」で区切ってください。

指定値と動作

- 選択の対象にする給紙トレイを、用紙サイズと向き（「用紙 1」、「用紙 2」、…、「用紙 n」）、および用紙の種類（「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」）で指定します。指定値を指定しないときは、すべての給紙トレイが選択の対象です。
- 以下のトレイは選択の対象となりません。すべての給紙トレイが選択対象外のときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
    - 手差しトレイ
    - 自動用紙選択の対象外に設定されているトレイ
    - 「普通紙」または「再生紙」以外の紙種が設定されている給紙トレイ
    - 給紙できない用紙サイズに設定されているトレイ
    - 表紙トレイ、合紙トレイ、または章区切り紙トレイに指定し、表示のタイミングを「常時表示」に設定したトレイ
    - 両面印刷しようとしているときに、「片面コピー」に設定したトレイ
- 「超過率」は、適切な用紙サイズから画像がはみ出したり余白ができる許容範囲を%付きの整数で指定します（%は省略できます）。

  「超過率」を「10%」と指定すると、用紙が 10%分大きいサイズ（110%の大きさ）まで印刷できるものとして給紙トレイが選択されます。「-10%」と指定すると、用紙が 10%分小さいサイズ（90%の大きさ）しか印刷できないものとして給紙トレイが選択されます。指定値を指定しないときは、印刷条件の「用紙超過率」の値をもとに給紙トレイが選択されます。

用紙のサイズと向き

指定値	動作
a2r	A2 タテ（）のトレイから給紙されます。
a3	A3 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a3r	A3 タテ（）のトレイから給紙されます。
a4	A4 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
a4r	A4 タテ（）のトレイから給紙されます。
a5	A5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b3r	B3 タテ（）のトレイから給紙されます。
b4	B4 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b4r	B4 タテ（）のトレイから給紙されます。
b5	B5 ヨコ（）のトレイから給紙されます。
b5r	B5 タテ（）のトレイから給紙されます。
acr	17×22 タテ（）のトレイから給紙されます。
dl	ダブルレターヨコ（）のトレイから給紙されます。
dlr	ダブルレタータテ（）のトレイから給紙されます。
lg	リーガルヨコ（）のトレイから給紙されます。
lgr	リーガルタテ（）のトレイから給紙されます。
lt	レターヨコ（）のトレイから給紙されます。
ltr	レタータテ（）のトレイから給紙されます。
hl	ハーフレターヨコ（）のトレイから給紙されます。
free	不定形のトレイから給紙されます。

用紙の種類

指定値	動作
plain	普通紙のトレイから給紙されます。
recycled	再生紙のトレイから給紙されます。
color	色紙のトレイから給紙されます。
special	特殊紙のトレイから給紙されます。
letterhead	レターヘッド紙のトレイから給紙されます。
thin	薄紙のトレイから給紙されます。
translucent	トレーシングペーパーのトレイから給紙されます。

説明

- 印刷オプションの mag、xmag、ymag、tifffit、notifffit、autoreduce、leftspace、rightspace、topspace、bottomspace、xoffset、yoffset のいずれかを指定しているか、印刷条件の「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」、「実サイズ変倍」、「自動縮小」、「左余白」、「右余白」、「上余白」、「下余白」、「X オフセット」、「Y オフセット」のいずれかを設定しているときは、これらの指定や設定が反映された画像の大きさを基準に給紙トレイが選択されます。
- この印刷オプションで指定した用紙のサイズと向き、紙種のすべての条件を満たす給紙トレイがセットされていないとき、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- 指定値「用紙 1」、「用紙 2」、…、「用紙 n」を指定したとき、用紙サイズと向きが一致する給紙トレイだけが、選択の対象です。指定値で指定された用紙に一致する給紙トレイがないときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- 指定値「用紙 1」、「用紙 2」、...、「用紙 n」を指定しないとき、すべてのトレイが選択の対象です。
- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定したとき、紙種が一致する給紙トレイだけが、選択の対象です。指定値で指定された紙種に一致する給紙トレイがないときは、操作部に表示されている給紙トレイから給紙されます。
- 指定値「紙種 1」、「紙種 2」、...、「紙種 n」を指定しないとき、「普通紙」、「再生紙」のどちらかの用紙がセットされているトレイだけが選択の対象です。
- 選択の対象となっている給紙トレイの最大の用紙サイズよりも画像が大きいとき、給紙トレイの中で最大の用紙サイズの給紙トレイが選択されます。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷オプションの tray、paper、portrait、landscape、multicols、multirows、印刷条件の「給紙トレイ」、「用紙サイズ」、「印刷方向」、「マルチカラム」、「マルチロー」、「自動用紙選択」は無効です。
- この印刷オプションで超過率を指定したとき、印刷条件の「用紙超過率」は無効です。
- 印刷オプションのステープル、パンチを指定しているとき、選択されているトレイとは異なるトレイから給紙されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、ステープル、パンチを指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。
- PJL、または関連の印刷オプションで、逆方向印刷を指定しているとき、用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されることがあります。

errorprint, noerrorprint

エラーが発生したときに、エラーメッセージを印刷するかどうかを指定します。

書式

errorprint

noerrorprint

指定値と動作

印刷オプション名	動作
errorprint	エラーメッセージが印刷されます。
noerrorprint	エラーメッセージが印刷されません。

説明

- errorprint を指定すると、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生したエラー、または前回のエラーメッセージの印刷後に発生したエラーについて、エラーメッセージが印刷されます。
- errorprint を指定していても、RTIFF エミュレーションがリセットされたときは、エラーメッセージが印刷されません。
- noerrorprint を指定していても、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷すると、エラー欄にエラーメッセージが印刷されます。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「エラー印刷」は無効です。

- エラーメッセージの内容については、P.187「エラーメッセージ」を参照してください。

smoothingon, smoothingoff, tonersavemode1, tonersavemode2

スムージング機能またはトナーセーブ機能を使用するかどうかを指定します。

スムージング機能とは、文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷する機能です。

スムージング機能を使用すると、プリンターの解像度を超えた高品質な印刷ができます。

トナーセーブ機能は、トナーを節約して印刷する機能です。

書式

smoothingon

smoothingoff

tonersavemode1

tonersavemode2

指定値と動作

印刷オプション名	動作
smoothingon	スムージング機能を使用して印刷されます。文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷されます。
smoothingoff	スムージング機能を使用しないで印刷されます。写真やハーフトーンのデータを印刷するときに選択します。
tonersavemode1	トナーセーブ機能を使用して印刷されます。トナーを節約して、やや薄めに印刷されます。
tonersavemode2	トナーセーブ機能を使用して印刷されます。tonersavemode1 よりさらにトナーを節約して、薄めに印刷されます。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「印字モード」は無効です。
- 解像度の設定によっては、スムージング機能は無効です。

maxarea, normalarea

用紙に余白をとって印刷するか、用紙の端まで印刷するかを指定します。

書式

maxarea

normalarea

指定値と動作

印刷オプション名	動作
maxarea	ほぼ用紙の端までを印刷領域として印刷されます。
normalarea	用紙の上下左右に約 5mm ずつ余白を設定し、その内側を印刷領域として印刷されます。

説明

- 印刷領域を指定しても、諸条件によって、実際の用紙上の印刷位置は想定どおりにならないことがあります。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「印刷領域」は無効です。

diskbuffer, memorybuffer

本機でTIFFデータをラスタライズする間、入力データを一時的に記憶しておくためのデータバッファ（デバイス）を指定します。

重要

- **diskbufferを指定しているとき、入力データの処理中に本機の電源を切らないでください。入力データの処理中に本機の電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。**

書式

diskbuffer

memorybuffer

指定値と動作

印刷オプション名	動作
diskbuffer	データバッファにハードディスクが使用されます。
memorybuffer	データバッファにメモリーが使用されます。

説明

- diskbufferを指定すると、データの格納順序の制約やデータサイズの制限のためエラーが発生して印刷できないTIFFファイルまたはCALSファイルが印刷できることがあります。
- diskbufferを指定すると、入力データによっては指定しないときに比べて印刷に時間がかかることがあります。
- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「データバッファ」は無効です。

補足

- TIFFデータの格納順序の制約やデータサイズの制限については、P.175「入力データの仕様」を参照してください。

orientation

orientationの指定により、画素方向に画像の向きを変更できます。

書式

- orientation＝画像方向

指定値と動作

指定値	動作
0	画像の向きと、画素方向が同一の画像データとして後処理をします。
90	画像の向きが、画素方向に対し 90°回転している画像データとして後処理をします。
180	画像の向きが、画素方向に対し 180°回転している画像データとして後処理をします。
270	画像の向きが、画素方向に対し 270°回転している画像データとして後処理をします。

説明

- これらの印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「画像の向き」の設定は無効です。

autoreduce

用紙より大きい画像を用紙に収まるように縮小できます。画像サイズが指定した用紙サイズ以下のときは縮小しないで、等倍印刷をします。

書式

autoreduce=用紙サイズ

autoreduce=用紙サイズ/余白補正値

autoreduce=用紙サイズ/無効倍率

autoreduce=用紙サイズ/余白補正値/無効倍率

指定値と動作

指定値には、変倍・等倍を判定するための基準となる用紙サイズと用紙調整値を指定します。また、無効倍率を指定することで、指定した用紙サイズに縮小するか等倍とするかの基準を変更できます。

指定値	用紙サイズ
a0	A0
a1	A1
a2	A2
a3	A3
a4	A4
a5	A5
a6	A6

指定値	用紙サイズ
b1	B1
b2	B2
b3	B3
b4	B4
b5	B5
b6	B6
pc	ハガキ
ac	ANSI-C (17×22)
lt	レター
hl	ハーフレター
dl	ダブルレター
lg	リーガル

余白補正値は、-30cm～30cm の範囲の単位つきの整数または小数を指定できます。実効値が上記範囲内であれば、cm のほかに、mm、inch（25.4mm）、pt（ポイント）、dot（ドット数）で数値も指定できます。単位を省略したときは cm で指定します。

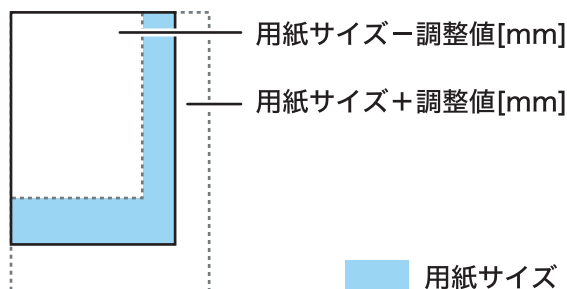
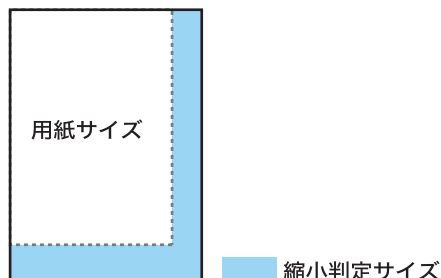
無効倍率は、-99%～の範囲の単位つきの整数を指定できます。単位は省略できません。単位の指定がないときは余白補正値（単位 cm）を指定したものとみなされます。範囲外の値が指定されたときはこの印刷オプションの指定は無効です。

- 指定値には、1 個の用紙、1 個の余白補正値、1 個の無効倍率をスラッシュ（/）で区切って指定します。1 個の用紙に複数の余白補正値と無効倍率を指定したときや、誤った指定値のときはこの印刷オプションの指定は無効です。

説明

- 用紙の指定がないときは、この印刷オプションの指定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「自動変倍」を「する」、または印刷オプションの fit の設定は無効です。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「自動縮小」の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「自動縮小」の設定にしたがいます。
- 余白補正値の指定により、画像を収める用紙サイズの大きさを調整します。
- 余白補正値を指定したとき、印刷条件の「自動縮小余白補正」項目の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「自動縮小余白補正」項目の設定にしたがいます。
- 余白補正値の指定によっては、画像が拡大されることがあります。
- 余白補正値が用紙サイズ短辺より小さいとき、この印刷オプションの指定は無効です。

- 無効倍率を指定したとき、印刷条件の「自動縮小無効倍率」項目の設定は無効です。指定しないとき、印刷条件の「自動縮小無効倍率」項目の設定にしたがいます。
- 画像サイズは、印刷条件の「実サイズ変倍」、「変倍率」、「横変倍率」、「縦変倍率」の設定値、または印刷オプションの tifffit、mag、xmag、ymag の指定値にしたがって拡大・縮小された画像に自動縮小するかどうか判断します。

余白補正値と用紙サイズについて

無効倍率と用紙サイズについて

「縮小判定サイズ」は、用紙サイズに自動縮小無効倍率の設定値を乗じたサイズです。このサイズに収まらないときだけ画像を縮小します。

freesize

不定形サイズを指定できます。

書式

freesize=幅 x 高さ

freesize=幅 x 高さ/tt

指定値と動作

指定値	動作
幅	用紙の横方向の長さを mm 単位で指定します。
高さ	用紙の縦方向の長さを mm 単位で指定します。
/tt	手差し不定形サイズを指定します。

説明

- mm や cm、inch（約 25.4mm）、pt（ポイント）、dot でも指定できます。たとえば、幅 210mm、長さ 520mm のサイズを指定するときの印刷オプションは以下のとおりです。

  freesize=210x520mm

- 単位を省略すると、mm で指定したことになります。
- 不定形サイズの設定範囲はチェックしません。
- 範囲外の数値が指定されたとき、印刷できるサイズに一番近いサイズから給紙されます。
- 手差し不定形サイズを指定したときは、手差しの用紙サイズを不定形に変更します。
- 最大値を超えたときは、最大値の範囲内で印刷されます。
- 使用しているトレイに不定形サイズが設定されていないときは、不定形サイズの設定されているトレイを指定します。
- 印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定したとき、この印刷オプションの指定が無効となる場合があります。

magprocess, magprocessx, magprocessy, magprocessxy

ドットの間引き、または、画素補正を考慮して変倍できます。縮小印刷したときに細線が消えてしまうことを回避できます。

書式

magprocess

magprocessx

magprocessy

magprocessxy

動作

指定値と動作

印刷オプション名	動作
magprocess	単純間引きを考慮した変倍をします。
magprocessx	画像の横方向に画像補正を考慮した変倍をします。
magprocessy	画像の縦方向に画像補正を考慮した変倍をします。
magprocessxy	画像の縦横方向に画像補正を考慮した変倍をします。

説明

- 画像補正の変倍を指定すると変倍処理が変わるため、単純間引きの変倍と印刷結果が異なることがあります。
- 印刷オプション名によって画像補正を考慮した変倍を指定します。
- 等倍、拡大印刷時はこの印刷オプションの指定による効果はありません。
- この印刷オプションは、画像系の TIFF データには適しません。
- この印刷オプションを指定したとき、印刷条件の「縮小変倍時細線補正」は無効です。
- この印刷オプションは指定値をとらず、印刷オプション名によって補正を考慮した変倍を指定します。

imagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

imagedirection=reverse

imagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

説明

emlimagedirection と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

emlimagedirection

用紙内の画像の向きを 180 度回転するように指定します。

書式

emlimagedirection=reverse

emlimagedirection=normal

指定値と動作

指定値	動作
reverse	用紙内の画像の向きが 180 度回転して印刷されます。
normal	通常の向きで印刷されます。

emlusercode

ユーザーコードを指定します。

書式

emlusercode=ユーザーコード

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- Windows の FTP クライアントのとき、emlusercode は指定できません。

- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
    - ftp> put filename EMLUSERCODE=12345

emlstaple

印刷された用紙をステープルでとじるための指定をします。

書式

emlstaple=ステープル位置

指定値と動作

- ステープル位置は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

指定値	ステープル位置
lefttop	左上 1 箇所（水平/垂直）
lefttopslantland	左上 1 箇所（斜め/水平/垂直）

指定値	ステープル位置
lefttopslantport	左上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
righttop	右上 1 箇所（水平/垂直）
righttopslantland	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
righttopslantport	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
left2port	左 2 箇所
left2land	左 2 箇所
right2port	右 2 箇所
right2land	右 2 箇所
top2port	上 2 箇所
top2land	上 2 箇所
booklet	中央 2 箇所

説明

- フィニッシャー（ステープルユニット）が装着されていないときは、「emlstaple」の指定は無効です。
- lefttop、righttop を指定したとき、トレイの用紙方向により水平・垂直のうち可能な方でステープルします。
- lefttopslantland、lefttopslantport、righttopslantland、righttopslantport を指定したとき、斜めでステープルします。斜めでステープルできないとき、水平または垂直でステープルします。

emlpunch

印刷された用紙にパンチ穴をあけるための指定をします。

書式

emlpunch =パンチ位置

指定値と動作

- パンチ位置は印刷条件の「Z. 画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

指定値	パンチ位置
leftport	左
leftland	左
rightport	右
rightland	右

指定値	パンチ位置
topport	上
topland	上

説明

- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないときは、「emlpunch」の指定は無効です。

emlqty

電子ソートの指定をします。

書式

emlqty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1〜999 の範囲の整数で指定します。

説明

- この印刷オプションで複数の部数を指定したとき、印刷オプションの「copies」の指定、本機の操作部からの指定、および入力データ内でのコマンドによる印刷部数の設定は無効です。

emlpunchhole

印刷された用紙にパンチ穴の数を指定します。

書式

emlpunchhole=パンチ数

指定値と動作

指定値	パンチの数
jp2	2 箇所

説明

- 「punch」または「emlpunch」を指定しないとき、「emlpunchhole」の指定は無効です。
- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないとき、「emlpunchhole」の指定は無効です

emlprinterstamp

ソフトスタンプ機能を使用するための指定をします。

書式

emlprinterstamp=on

emlprinterstamp=off

指定値と動作

指定値	動作
on	ソフトスタンプ機能を使用します。
off	ソフトスタンプ機能を使用しません。

説明

- スタンプ位置は印刷条件の「Z. 画像の向き」（または印刷オプションのorientation）により指定された画像方向を基準にした位置となります。

usercode

ユーザーコードを指定できます。

書式

usercode ="ユーザーコード"

説明

- ユーザーコードには半角数字 8 桁を指定できます。
- ユーザーコードの前後に""の指定が必要です。
- Windows の FTP クライアントのとき、usercode は指定できません。
- emlusercode と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

補足

- OS によってはダブルクォーテーションが送信されないため、バックスラッシュ"¥"（0x5c）などのエスケープ記号が必要となることがあります。たとえば rsh のときは、次のような書式です。
    - rsh hostname print usercode=¥"12345¥" ＜ 印刷ファイル
- ftp でユーザーコードを指定するときは、以下のように大文字で指定してください。
    - ftp> put filename USERCODE=¥"12345¥"

pjl

pjl を指定すると、staple、punch、qty、outbin の指定を有効にできます。

書式

pjl = on

説明

- staple、punch、qty、outbin を使用するときは、必ず pjl = on と指定します。指定がないとき、これらの印刷オプションは無効です。

staple

印刷された用紙をステープルでとじるための指定をします。

書式

staple=ステープル位置

指定値と動作

- staple は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

指定値	ステープル位置
lefttop	左上 1 箇所（水平/垂直）
lefttopslantland	左上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
lefttopslantport	左上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
righttop	右上 1 箇所（水平/垂直）
righttopslantland	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
righttopslantport	右上 1 箇所（斜め/水平/垂直）
left2port	左 2 箇所
left2land	左 2 箇所
right2port	右 2 箇所
right2land	右 2 箇所
top2port	上 2 箇所
top2land	上 2 箇所
booklet	中央 2 箇所

説明

- フィニッシャー（ステープルユニット）が装着されていないときは、「staple」の指定は無効です。
- 「staple」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「staple」の指定は無効です。
- emlstaple と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

- lefttop、righttop を指定したとき、トレイの用紙方向により水平・垂直のうち可能な方でステープルします。
- lefttopslantland、lefttopslantport、righttopslantland、righttopslantport を指定したとき、斜めでステープルします。斜めでステープルできないとき、水平または垂直でステープルします。

punch

印刷された用紙にパンチ穴をあけるための指定をします。

書式

punch=パンチ位置

指定値と動作

- punch は印刷条件の「画像の向き」、または印刷オプションの orientation により指定された画像方向を基準にした方向です。

指定値	パンチ位置
leftport	左
leftland	左
rightport	右
rightland	右
topport	上
topland	上

説明

- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないときは、「punch」の指定は無効です。
- 「punch」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「punch」の指定は無効です。
- emlpunch と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

punchhole

印刷された用紙にパンチ穴の数を指定します。

書式

punchhole=パンチ数

指定値と動作

指定値	パンチの数
jp2	2 箇所

説明

- 「punch」または「emlpunch」を指定しないとき、「punchhole」の指定は無効です。
- フィニッシャー（パンチユニット）が装着されていないとき、「punchhole」の指定は無効です。
- 「punchhole」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「punchhole」の指定は無効です。
- emlpunchhole と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

qty

電子ソートの指定をします。

書式

qty=ソート部数

指定値と動作

- ソート部数は、1～999 の範囲の整数で指定します。

説明

- 「電子ソート部数」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「電子ソート部数」の指定は無効です。
- emlqty と同時に指定したとき、この印刷オプションの指定は無効です。

outbin

印刷時の排紙先を選択できます。排紙先は、排紙トレイの名称を指定します。

書式

outbin=排紙トレイ名

指定値と動作

指定値	排紙先
upper	本体トレイ
inner	本体上トレイ

指定値	排紙先
lower	左トレイ
finisherproof	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）フィニッシャー・上トレイ
finishershift	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）のフィニッシャー・シフトトレイ
finisherbooklet	2000 枚中とじフィニッシャー（オプション）のフィニッシャー・中とじトレイ
manual	システムデフォルト

説明

- 「排紙トレイ」を指定するときは、同時に印刷オプション pjl = on も指定してください。pjl = on が指定されていないと、「排紙トレイ」の指定は無効です。
- 「排紙トレイ」を指定していないとき、または「排紙トレイ」を manual 以外の指定値で指定したとき、印刷オプション bin の指定は無効です。

printerstamp

ソフトスタンプ機能を使用するための指定をします。

書式

printerstamp=on

printerstamp=off

指定値と動作

指定値	動作
on	ソフトスタンプ機能を使用します。
off	ソフトスタンプ機能を使用しません。

説明

- スタンプ位置は印刷条件の「Z. 画像の向き」（または印刷オプションの orientation）により指定された画像方向を基準にした位置となります。

印刷オプションの省略形

印刷オプションには、以下の省略形があります。短いオプション名で指定値を含めて指定できます。

省略形	印刷オプション
fil(=指定値)	filetype(=指定値)
a2r	paper=a2r
a3	paper=a3
a3r	paper=a3r
a4	paper=a4
a4r	paper=a4r
a5	paper=a5
b3r	paper=b3r
b4	paper=b4
b4r	paper=b4r
b5	paper=b5
b5r	paper=b5r
acr	paper=acr
lt	paper=lt
ltr	paper=ltr
hl	paper=hl
dl	paper=dl
dlr	paper=dlr
lg	paper=lg
lgr	paper=lgr
free	paper=free
po	portrait
la	landscape
si	singleside
bo	bothside
fl	flip
t1	tray=1
t2	tray=2
t3	tray=3
t4	tray=4
t5	tray=5

省略形	印刷オプション
tt	tray=T
ce	center
nce	nocenter
tf	tifffit
ntf	notifffit
ap（=指定値）	autopaper（=指定値）
ep	errorprint
nep	noerrorprint
ma	maxarea
na	normalarea
ar（=指定値）	autoreduce（=指定値）
or（=指定値）	orientation（=指定値）
mp	magprocess
mpx	magprocessx
mpy	magprocessy
mpxy	magprocessxy
estple(=指定値)	emlstaple(=指定値)
epu(=指定値)	emlpunch(=指定値)
eid(=指定値)	emlimagedirection(=指定値)
eq(=指定値)	emlqty(=指定値)
euc(=指定値)	emlusercode(=指定値)
eph(=指定値)	emlpunchhole(=指定値)
eps(=指定値)	emlprinterstamp(=指定値)

補足

- 装着されているオプションによって、指定できない印刷オプションや指定値があります。

入力データの仕様

印刷できる TIFF ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる TIFF ファイルには、以下のような制約があります。

処理できる TIFF ファイルは、『TIFF Revision 6.0』(Adobe Developers Association 著、3-Jun-1992)に準拠したファイルです。

ヘッダー

ヘッダーは以下の情報が含まれている必要があります。

フィールド	設定値
バイトオーダー	0x4949 or 0x4d4d
バージョン番号	42

ディレクトリー

ディレクトリーは以下の条件を満たしている必要があります。

マルチページ TIFF データ

- ディレクトリーとデータがページごとに分離されている
- ページの順序が印刷順(希望する出力順)になっている
- 各ディレクトリーの末尾 4 バイトに、次のページのディレクトリーを参照するためのポインターが設定されている
- ポインターの値が後ろのページになるほど大きくなっている
- 最後のページのポインターの値が 0x00000000 になっている

シングルページ TIFF データ

- ポインターの値が 0x00000000 になっている

補足

- ひとつの TIFF ファイルの中に複数のビットマップイメージ(画像)を含む TIFF ファイルをマルチページ TIFF データ、ひとつのビットマップイメージ(画像)だけの TIFF ファイルをシングルページ TIFF データといいます。
- この制約のためエラーが発生して印刷できないマルチページ TIFF データのときでも、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷できることがあります。

タグ

ディレクトリーに含めることのできるタグ(種類と設定値)は、以下のとおりです。

3

タグの名前（番号）	設定値
ImageWidth （256）	適切な値
ImageLength （257）	適切な値
BitsPerSample （258）	1 or 4 or 8 or 8,8,8
Compression （259）	1 ～ 7 or 32773
PhotometricInterpretation（262）	0 ～ 3 or 6
FillOrder （266）	1 or 2
StripOffsets （273）	適切な値
SamplesPerPixel （277）	1 or 3
RowsPerStrip （278）	適切な値
StripByteCounts （279）	適切な値
MinSampleValue（280）	適切な値
MaxSampleValue（281）	適切な値
Xresolution（282）	適切な値
Yresolution（283）	適切な値
PlanarConfiguration （284）	1 or 2
T4Options （292）	0 ～ 7
T6Options （293）	0 or 2
ResolutionUnit （296）	1 ～ 3
Predictor （317）	1 ～ 2
Colormap （320）	適切な値
JPEGTables （347）	圧縮用のテーブル
JPEGInterchangeFormat （513）	適切な値（JPEG の SOI へのオフセット）

タグの設定値は、Byte、Ascii、Short、Long、Rational のデータ型で記述します。

タグの値がタグエントリーの外に格納されるデータへのポインターのとき、そのポインターは、そのタグを含むディレクトリーの後ろ以降かつ、次のディレクトリーまたはデータの終端より前のデータ領域を指している必要があります（そのページ用のデータ領域内に格納されている必要があります）。

ビットマップイメージ

1 ページ分のビットマップイメージのデータは、以下の条件を満たしている必要があります。

- 単一ストリップ、または複数ストリップの集合で構成されている

- すべてのストリップデータが、そのページ用のデータ領域（そのページのディレクトリーから次のページのディレクトリーまで）に格納されている
- そのページのデータ領域の最後の情報として格納されている（推奨）
- 複数ストリップの集合で構成されているとき、各ストリップデータは副走査方向の順序で格納されている（推奨）
- ストリップデータの先頭の位置がStripOffsets（273）タグの値で参照されている
- 符号化後のデータサイズ（バイト）がStripByteCounts（279）タグの値で明示されている
- 最終ページの最後のストリップデータにおいて、末尾のバイトがそのTIFFデータの終端バイトになっている（推奨）
- ビットマップイメージのデータに適切な種類のイメージが使用されている
- ビットマップイメージのデータが適切な圧縮方式で符号化されている

補足

- ビットマップイメージの種類と圧縮方式については、P.177「ビットマップイメージの種類」またはP.179「ビットマップイメージの圧縮方式」を参照してください。

ビットマップイメージの種類

RTIFFエミュレーションで印刷できるビットマップイメージの種類とタグの条件です。

1ピクセルあたり1サンプル1ビット（2色）のモノクロイメージ

タグ	条件
BitsPerSample（258）	このタグが含まれないか、値が1に設定されている
PhotometricInterpretation（262）	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている • ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき＝0 • ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき＝1
SamplesPerPixel（277）	このタグが含まれないか、値が1に設定されている
FillOrder（266）	ストリップデータの格納方式に応じて、このタグが含まれないか、以下のいずれかに設定されている • バイト中にMSBtoLSBのビット順で格納されるとき＝1 • バイト中にLSBtoMSBのビット順で格納されるとき＝2

3

1 ピクセルあたり 1 サンプル 4 ビット（16 色）のグレースケールイメージ

タグ	条件
BitsPerSample （258）	値が 4 に設定されている
PhotometricInterpretation （262）	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている • ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき=0 • ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき=1
SamplesPerPixel （277）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder （266）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている

1 ピクセルあたり 1 サンプル 8 ビット（256 色）のグレースケールイメージ

タグ	条件
BitsPerSample （258）	値が 8 に設定されている
PhotometricInterpretation （262）	ピクセルのサンプル値と色の対応に応じて、以下のいずれかに設定されている • ピクセルの最小サンプル値が白、最大サンプル値が黒を表すとき=0 • ピクセルの最小サンプル値が黒、最大サンプル値が白を表すとき=1
SamplesPerPixel （277）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder （266）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている

1 ピクセル当たり 1 サンプル 4 ビット（16 色）のパレットカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample （258）	値が 4 に設定されている
PhotometricInterpretation （262）	値が 3 に設定されている
SamplesPerPixel （277）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder （266）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
Colormap （320）	値が適切な RGB カラーマップデータを参照している

1 ピクセル当たり 1 サンプル 8 ビット（256 色）のパレットカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample （258）	値が 8 に設定されている
PhotometricInterpretation （262）	値が 3 に設定されている

タグ	条件
SamplesPerPixel （277）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
FillOrder （266）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
Colormap （320）	値が適切な RGB カラーマップデータを参照している

1 ピクセル当たり 3 サンプル 24 ビット（1678 万色）の RGB フルカラーイメージ

タグ	条件
BitsPerSample （258）	値が 8,8,8 に設定されている
PhotometricInterpretation （262）	値が 2（RGB）または 6（YCbCr）に設定されている
SamplesPerPixel （277）	値が 3 に設定されている
FillOrder （266）	このタグが含まれないか、値が 1 に設定されている
PlanarConfiguration （284）	イメージデータの格納方式に応じて、このタグが含まれないか、以下のいずれかに設定されている • ピクセル単位で格納するとき（推奨）=1 • カラープレーン単位で格納するとき=2

ビットマップイメージの圧縮方式

RTIFF エミュレーションで印刷するビットマップイメージは、非圧縮または特定の方式で圧縮されている必要があります。各方式とタグについての条件です。

非圧縮方式

タグ	条件
Compression （259）	値が 1 に設定されている

MH（Modified Huffman）方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression （259）	値が 3 に設定されている

タグ	条件
T4Options （292）	このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている • 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがないとき=0 • 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがないとき=2 • 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=4 • 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=6

MR（Modified Read）方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression （259）	値が 3 に設定されている
T4Options （292）	このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている • 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがないとき=1 • 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがないとき=3 • 非圧縮モードを未使用で、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=5 • 非圧縮モードを使用しており、EOL コードの前にパディングビットがあるとき=7

MMR（Modified Modified Read）方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression （259）	値が 4 に設定されている
T6Options （293）	このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている • 非圧縮モードを未使用のとき=0 • 非圧縮モードを使用するとき=2

修正 MH（Modified Huffman）圧縮方式

この圧縮方式は 2 色モノクロイメージだけに適用できます。

タグ	条件
Compression （259）	値が 2 に設定されている

PackBits 圧縮方式

タグ	条件
Compression （259）	値が 32773 に設定されている

LZW 圧縮方式

タグ	条件
Compression （259）	値が 5 に設定されている
Predictor （317）	このタグが含まれないか、値が以下のいずれかに設定されている • イメージデータをそのまま格納するとき＝1 • イメージデータを水平方向の差分で格納するとき＝2

JPEG 圧縮方式

タグ	条件
Compression （259）	値が 6 または 7 に設定されている
JPEGTables （347）	このタグが含まれないか、圧縮用のテーブルが設定されている
JPEGInterchangeFormat （513）	このタグが含まれないか、適切な値（JPEG の SOI へのオフセット）に設定されている

補足

- メモリー容量の超過のためエラーが発生して印刷できない TIFF データのときでも、印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定すると印刷できることがあります。データ処理用のメモリー量は、印刷条件リストの「処理用メモリ」で確認できます。印刷条件リストは、操作部やサマリー印刷指定コマンドで印刷できます。

印刷できる CALS ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる CALS ファイルは、CALS Rastar（Type1）形式のビットマップイメージデータです。以下のような制約があります。

ヘッダー（CALS ファイル）

CALS データは、その先頭に以下の条件を満たすヘッダーブロックを含めます。

- ヘッダーブロック内には、その先頭に 11 個のヘッダーレコードを記述すること。 また、ヘッダーレコードを記述する順番は、データ構造の図に示すとおりであること。

レコードID、設定値（全てASCII文字列）

（単位：byte）	0 　　　　　　127	
0	srcdocid： 任意	ヘッダーブロック
128(0x80)	dstdocid： 任意	
258(0x100)	txtfilid： 任意	
348(0x180)	figid： 任意	
512(0x200)	srcgph： 任意	
640(0x280)	doccls： 任意	
768(0x300)	rtype： 1	
896(0x380)	rorient： 000,270	
1024(0x400)	rpelcnt： 適切な値	
1152(0x480)	rdensty： 適切な値	
1280(0x500)	notes： 任意	
1408(0x580)	0x20 × 128byte	
1530(0x600)	0x20 × 128byte	
1664(0x680)	0x20 × 128byte	
1792(0x700)	0x20 × 128byte	
1920(0x780)	0x20 × 128byte	
2048(0x800)	ビットマップデータ	

AAVSDtiff01

- ヘッダーブロックのサイズは、2048 バイトの固定長であること。
- ヘッダーレコードのサイズは、128 バイトの固定長であること。
- ヘッダーレコード内は、レコード ID で始まり、2 文字分のセパレーター ":"（コロン（0x3a）とスペースコード（0x20））を挟んで設定値を記述すること。また、これらはすべて ASCII 文字列で記述すること。
- 記述すべき有効な情報を持たないヘッダーレコードについては、設定値として "NONE"を記述すること。
- ヘッダーレコードやヘッダーブロックの領域を埋めるためのパディングバイトには、スペースコード（0x20）を使用すること。

補足

- 処理できる CALS ファイルは以下の仕様書に記載されるデータファイル形式とラスター図形表現の仕様に準拠したものです。
    - 『MIL-STD-1840A』（米国国防総省発行、22 - December - 1987）
    - 『MIL-R-28002B』翻訳版（翻訳版発行/（財）日本規格協会）（原文発行/米国国防総省発行、30-September-1993）
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID"srcdocid"のうち"srcdocid"（8byte）を CALS Raster データとして識別するためのキーワードとして使用します。
- レコード ID"rtype"の設定値には、ラスターデータのタイプを指定し、"1"だけ指定できます。

- レコード ID"rorient"の設定値には、ラスター図形の向きを指定します。ラスター図形の画素進行方向、行進行方向の順で指定します。RTIFF エミュレーションでは、以下の画像の向きだけ処理できます。

- レコード ID"rpelcnt"の設定値には、ラスター画像の画素総数を主走査、副走査の順で指定します。
- レコード ID"rdensty"の設定値には、ラスター画像の画素密度を指定します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID"rtype"、"rpelcnt"の指定がないときや設定値が適切でないとき（設定値が "NONE" の場合も含む）、致命的エラーを発生させて処理を中断します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID "rorient"、"rdensty"の指定がないときや設定値が適切でないとき（設定値が "NONE" の場合も含む）、警告エラーを発生させて処理を継続します。
- RTIFF エミュレーションでは、レコード ID が "srcdocid"、"dstdocid"、"txtfilid"、"figid"、"srcgph"、"doccls"、"notes"のヘッダーレコードは印刷処理に使用することなく、単純に無視します。

ビットマップイメージ（CALS ファイル）

ビットマップデータは、以下の形式でヘッダーブロック直後（2048byte 目）から記述します。

- ITU-T 勧告 T.6（グループ 4 ファクシミリ）符号化方式で圧縮されたモノクロのラスターデータであること。
- この圧縮方式は、MMR（Modified Modified Read）圧縮方式と同じです。

印刷できる JPEG ファイル

RTIFF エミュレーションで印刷できる JPEG ファイルは、JFIF（JPEG File Interchange Format）形式や Exif（Exchangeable image file format）形式など、JPEG 圧縮方式を採用したフォーマットのイメージファイルです。

エミュレーション切り替えコマンド

エミュレーション切り替えコマンドにより、エミュレーションを切り替えたり、プログラムを呼び出したりできます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 ! {p} @ CODE-ID ESC SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 21 {p} 40 CODE-ID 1B 20

パラメーター	指定値	説明
p	-1	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は初期値。
	0	CODE-ID で指定されているプログラム番号のエミュレーションに切り替える。 印刷条件はプログラムに登録されている設定値。
	1～16	CODE-ID で指定されているエミュレーションに切り替える。 印刷条件は、この指定値に対応するユーザーメモリースイッチ番号の設定値。（ユーザーメモリースイッチ番号は、プログラム登録時、エミュレーションごとに自動的に付加される番号。印刷条件リストに印刷される。）
	省略時	「1」が指定される。

このパラメーターの指定が「1」でかつ自分自身への切り替えが指定されたとき、RTIFF エミュレーションではこのコマンドは無視されます。

パラメーター	指定値	説明
CODE-ID	3 文字のエミュレーション名	指定したエミュレーション名のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」以外を指定する必要がある。
	P1～P16	指定したプログラム番号のエミュレーションに切り替わる。 パラメーター「p」の指定値は、「0」を指定する必要がある。

指定したエミュレーションが存在しないときやプログラムが登録されていないとき、このコマンドは無視されます。

3 文字のエミュレーション名で入力できる文字には次のものがあります。

- RTF：RTIFF エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RGL ：RP-GL エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- GL2 ：RP-GL/2 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RPS：PS3 エミュレーションに切り替えるときに指定します。
- RCS：RPCS エミュレーションに切り替えるときに指定します。

サマリー印刷指定コマンド

サマリー印刷指定コマンドにより、印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷できます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

本機のエミュレーションを RTIFF に切り替えてから、指定してください。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 $ p SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 24 p 20

パラメーター	指定値	説明
p	1	印刷条件リストを印刷する。
p	2	プログラム登録一覧を印刷する。

補足

- このコマンドは、現在選択されているエミュレーションに有効です。RTIFF の印刷条件リストやプログラム登録一覧を印刷するときは、コマンドを指定する前にプリンターのエミュレーションを RTIFF に切り替えてください。

印刷オプション指定コマンド

印刷オプション指定コマンドにより、印刷オプションを指定できます。RTIFF エミュレーションでは、TIFF ファイルまたは CALS ファイルの直前または直後に以下の形式で指定します。

本機のエミュレーションを RTIFF に切り替えてから、指定してください。

書式（ESC シーケンスのとき）

ESC DC2 ? z {, option { = value}} {, option { = value}} ... {, option { = value}} ESC SP

書式（16 進コードのとき）

1B 12 3F 7A {2C option {3D value}} {2C option {3D value}} ... {2C option {3D value}} 1B 20

パラメーター	指定値	説明
option	印刷オプション名または省略形の文字列	印刷オプションを指定する。
option	印刷オプション名または省略形の文字列	指定値「filetype」は無効。
option	省略時	このパラメーターと対になる value が無視される。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる value は無視されます。

このパラメーターと value の対は、連続して複数指定できます。ただし、このパラメーターと同じ値を指定された対が複数あるときは、最後に指定されている対が有効です。

パラメーター	指定値	説明
value	印刷オプションの指定値の文字列	印刷オプションを指定する。

対応していない指定値を指定したとき、このパラメーターと対になる option は無視されます。

option で指定値のない印刷オプション名や省略形の文字列を指定したとき、このパラメーターは省略します。

補足

- 文字列の合計は 1,023 バイト以内で入力してください。
- 印刷オプション指定コマンドは、一度コマンドを指定するとそれ以降に受信したデータの印刷に有効です。ただし、次のときはリセットされます。
    - エミュレーションが切り替わったとき
    - 新しい印刷オプション指定コマンドが指定されたとき
- 印刷オプションをひとつでも指定したとき、印刷オプション指定コマンドはすべて無効です。
- 印刷オプションについては P.125「印刷オプションを指定する」を参照してください。

RTIFF エミュレーションのトラブルシューティング

エラーメッセージ

印刷するデータや印刷オプションの指定などに問題があってエラーが発生すると、本機の操作部にエラーメッセージが表示されます。RTIFF 特有のエラーには、警告エラーと致命的エラーがあります。

警告エラー

エラーメッセージ	原因	動作
99：ワーニング	• 印刷条件や印刷オプションの設定が正しくありません。*1 • 印刷するデータに無視できる程度の不適切な記述があります。	エラーが発生した原因が無視され、印刷処理が続行されます。

*1 印刷オプション名が不適切なときに警告エラーが発生します。印刷オプションの pjl、staple、punch、qty、outbin、imagedirection、usercode は、指定値が不適切でも警告エラーは表示されません。

致命的エラー

エラーメッセージ	原因	動作
99：データエラー	• 印刷するデータの容量が大きすぎます。 • 印刷するデータに無視できない程度の不適切な記述があります。	印刷するデータの受信処理が中断され、受信済みのデータは破棄されます。描画中のページの内容は、エラーの原因や発生状況により、印刷または破棄されます。*1

*1 両面印刷で裏面ページを描画中だったときは、表面ページだけ印刷されることがあります。その後、受信処理が再開され、新たな TIFF データまたは ESC シーケンスコマンドを検索、処理されます。

警告エラーは、[プリンター初期設定] の [エラー表示設定] が [簡易表示] に設定されていると表示されません。[エラー表示設定] については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

警告エラー、および致命的エラーのエラーメッセージは、以下のいずれかの操作によって表示されなくなります。

- エラーメッセージを印刷する
- 別のエミュレーションに切り替える
- 別のデータを送信する

エラーの原因が特定できないときは、エラーメッセージを印刷することで、より詳細なエラーの内容が確認できます。

補足

- 使用している機器の状況によって、その他のエラーメッセージが表示されることがあります。その他のエラーメッセージについては、『こまったときには』「プリンター使用中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

エラーメッセージの印刷方法

エラーメッセージを印刷することで、操作部に表示されるメッセージよりも詳しいエラーの内容が確認できます。印刷できるエラーメッセージは、RTIFF エミュレーションに切り替えたあとに発生した警告エラー、および致命的エラーです。いずれも発生していないときは印刷されません。

エラーメッセージを印刷するには以下の方法があります。

すでに送信したデータのエラーメッセージを印刷する

- 操作部で［プリンター初期設定］の画面を表示し、［テスト印刷］タブから印刷条件リストを印刷します。
- サマリー印刷指定コマンドで印刷条件リストを印刷します。

「99:ワーニング」または「99:データエラー」が表示されているときに印刷条件リストを印刷すると、印刷条件リストに続いてエラーメッセージの詳細が印刷されます。

これから送信するデータのエラーメッセージを印刷する

- 印刷条件の「エラー印刷」を「する」に設定してから、エラーが発生するデータを送信します。
- 印刷オプションの errorprint を指定して、エラーが発生するデータを送信します。

補足

- エラーメッセージを印刷するとエラーの履歴は消去されます。
- 印刷条件や印刷オプションで、エラー印刷をしない設定から、エラー印刷をする設定に変更すると、その次に印刷するデータが正常なときでも、エラーの履歴が本機に残っている場合にはエラーメッセージが印刷されます。
- エラーメッセージを印刷しなくても、本機の電源を OFF にしたり、エミュレーションを切り替えたりして RTIFF エミュレーションが終了すると、エラーの履歴が消去されます。誤って消去してしまったときは、エラーが発生するデータをもう一度送信してください。
- ステープルやパンチなどの指定でエラーが発生したときは、エラーメッセージが印刷される用紙にもステープルやパンチなどの処理が適用されます。
- エラーメッセージは、システム設定リストやエラー履歴に印刷されることがあります。システム設定リストやエラー履歴については、『プリンター』「テスト印刷」を参照してください。

エラーメッセージの形式と意味

エラーメッセージは、次の形式で印刷されます。

番号 RTF: 種類: エラーメッセージ

- 「番号」は、6 桁の数字で、RTIFF エミュレーションの起動以降に発生したエラーの連続番号です。
- 「種類」に「Warning」と印刷されたときは警告エラーが発生したことを示します。
- 「種類」に「Error」と印刷されたときは致命的エラーが発生したことを示します。

警告エラー

option: Invalid argument: XXX

印刷オプションの option に不適切な値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify over max

印刷オプションの option に上限値 max より大きい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

option: Invalid value XXX. Cannot specify under min

印刷オプションの option に下限値 min より小さい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

autopaper: too small allow size XXX

印刷オプションの autopaper の超過率に下限値より小さい値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

autopaper: XXX set N %

印刷オプションの autopaper の超過率に%以外の単位文字が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

cannot specify value: option = value

印刷オプションの option に範囲外の値が指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

cannot specify value: autoreduce = value

印刷オプションの autoreduce に範囲外の値が設定されました。

- 印刷オプションを正しく設定して印刷してください。

Duplex print is released

両面印刷が解除されました。

- 両面印刷が解除された原因を解消してください。

Invalid option option

不適切な印刷オプションが指定されました。

- 印刷オプションを正しく指定して印刷してください。

mag（m）*xmag（xm）< mag min（min）

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag（m）*xmag（xm）> mag max（max）

印刷条件や印刷オプションで決まる横方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- 変変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag（m）*ymag（ym）< mag min（min）

印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が下限値 min より小さい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

mag（m）*ymag（ym）> mag max（max）

印刷条件や印刷オプションで決まる縦方向の変倍率が上限値 max より大きい値でした。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

no disk space.diskbuffer not work

印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定しているとき、または印刷オプションで diskbuffer を指定しているときに、ハードディスクのデータバッファ用の領域に空き容量がない（1MB 未満）ため、ハードディスクが使用できませんでした。

- 本機を再起動してください。それでもエラーが解消されないときは、ハードディスクが故障していることがあります。サービス実施店にお問い合わせください。

no resolution. tifffit not work

受信した TIFF データ内に解像度情報を記述するタグがないため、印刷条件の「実サイズ変倍」または印刷オプションの tifffit が無効になりました。

- TIFF データを修正してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていない形式や値、および不適切なタグ、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

Using mag, xmag, ymag in panel setting

横または縦方向の変倍率が範囲外の値のため、印刷オプションの指定を無視し、印刷条件の変倍率だけ有効にしました。

- 変倍率にかかわる印刷条件や印刷オプションを正しく指定してください。

command: Invalid parameter: XXX

受信したデータ内のコマンド（エミュレーション切り替えコマンド、サマリー印刷指定コマンド、印刷オプション指定コマンド）に指定したパラメーターが誤っています。

- パラメーターを指定し直してください。

command: Invalid format: XXX

受信したデータ内のコマンド（エミュレーション切り替えコマンド、サマリー印刷指定コマンド、印刷オプション指定コマンド）の書式が誤っています。

- 書式を確認し、コマンドを記述し直してください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていない形式や値、および不適切なヘッダーレコード、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

致命的エラー

BitsPerSample(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

CALS: No space

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: No memory

受信した CALS データの処理に必要なメモリーの容量が不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。

CALS: CALS_data_error

受信した CALS データ内に、サポートしていない形式や値、および不適切なヘッダーレコード、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

Cannot get color map

受信した TIFF データ内にカラーマップの情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image length

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの高さを表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Cannot get image width

受信した TIFF データ内にビットマップイメージの幅を表す情報が記述されていませんでした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image length(l)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの高さを表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Invalid image width(w)

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅を表す値が不適切でした。

- TIFF データを修正してください。

Out of memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

Photometric(n) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

Raster file size is too big

受信した TIFF データのサイズが大きすぎて、処理用のメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式（データ格納順序）でした。

- TIFF データを修正してください。
- 印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

Raster file width is too big

受信した TIFF データ内のビットマップイメージの幅が大きすぎて、処理できませんでした。

- TIFF データを修正して、イメージデータの幅を減らしてください。

Rest of lines will be ignored

エラーなどが発生したため、残りのデータを無視しました。

- エラーの原因を解消してください。

SamplesPerPixel(n) of photometric(m) is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

tiff: No space

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

tiff: No memory

受信した TIFF データの処理に必要なメモリーが不足しました。

- データを修正してデータサイズを減らしてください。
- 印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの diskbuffer を指定して印刷してください。

tiff: tiff_data_error

受信した TIFF データ内に、サポートしていない形式や値、および不適切なタグ、ビットマップイメージの情報が含まれていました。

- データを修正して、適切な情報を記述してください。

TIFF tiled image is not supported

受信した TIFF データは、RTIFF エミュレーションが対応していない形式でした。

- TIFF データを修正してください。

思いどおりに印刷できないとき

TIFF データ、または CALS データが縮小（または拡大）されて印刷される

本機の解像度と TIFF データ、または CALS データの解像度が異なるために発生しています。

TIFF データと同じ解像度を印刷条件や印刷オプションで設定してください。TIFF データと同じ解像度が設定項目にないとき、または複数の解像度が混在するときは、印刷条件の「実サイズ変倍」を「する」に設定するか、または印刷オプションの「tifffit」を指定してください。

画像イメージが用紙の片端に寄って印刷される

以下のいずれかを指定してください。

- 印刷条件の「印刷領域」を「最大」にする
- 印刷オプションの「maxarea」を指定する
- 印刷条件の「中央配置」を「する」にする
- 印刷オプションの「center」を指定する

主に図面系データを印刷するときに設定、または指定することをお勧めします。

横長の TIFF データ、または CALS データが縦方向に印刷され、画像が切れてしまう

印刷条件の「印刷方向」の初期値が「ポートレイト」に設定されているためです。横長のデータを正しく用紙に印刷するには、印刷条件の「印刷方向」を「ランドスケープ」に設定するか、印刷オプションの「landscape」を指定してください。

また、印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」を指定することでもデータに合わせた用紙方向で印刷できます。

自動トレイ選択ができない

印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」を指定します。

自動トレイ選択で 1 つ大きい用紙サイズが選択される

スキャナーで作成した TIFF データは、指定した定形サイズより若干大きく作成されることがあります。

印刷条件の「自動用紙選択」を「する」にして「用紙超過率」を設定するか、印刷オプションの「autopaper」にオプションの「超過率」を指定してください。

印刷オプションの記述例：autopaper=10%

印刷がうまくいかない

操作部に「99：ワーニング」や「P1：コマンドエラー」などが表示されているときは、エラーメッセージを印刷して対処してください。

エラーメッセージを印刷するには、本機の操作部にエラーが表示されている状態で RTIFF の「印刷条件リスト」を印刷してください。

ほかのエミュレーションに切り替えたり、プリンターの電源を切ったりするとエラーメッセージの詳細は解除されます。その場合は、印刷条件の「エラー印刷」を「する」に設定するか、印刷オプションの「errorprint」を指定して、もう一度 TIFF データを印刷してください。エラーメッセージの詳細が出力されます。

エラーメッセージについては、P.187「エラーメッセージ」を参照してください。

大量枚数のマルチ TIFF データが全ページ印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が足りません。

印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」に設定するか、印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。

大きい用紙サイズで、大容量の TIFF データ、または CALS データが印刷できない

RTIFF が使用するメモリー領域が足りません。

印刷条件の「データバッファ」を「ハードディスク」、または印刷オプションの「diskbuffer」を指定してください。データ量が多いため処理に時間がかかることがあります。データインランプが点滅していれば、本機にデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。

印刷条件の「実サイズ変倍」、または印刷オプションの「tifffit」を指定すると印刷が遅い

TIFF データ、または CALS データの解像度が本機の解像度と異なるため、変倍処理に時間がかかっています。

TIFF データ、または CALS データと同様の解像度を印刷条件、または印刷オプションで指定してください。

TIFF データ作成時（スキャン時）に生じる、データ端の影を除いて印刷したい

印刷条件の「右余白」「下余白」、または印刷オプションの「rightspace」「bottomspace」を指定します。

この設定は、TIFF データを白く上書きします。データ左端、上端の影を除くことはできません。

A3 よりも大きい画像データは A3 に縮小印刷、A3 以下の画像データは等倍印刷をしたい

印刷条件の「自動縮小」で「A3 に縮小」又は印刷オプションで「autoreduce=A3」と指定します。

出力する TIFF データの解像度が本機の解像度と異なるときは、出力する TIFF データのサイズ検知が正しくできません。その場合は「TIFF データが縮小（又は拡大）されて印刷される」を参照して対処してください。自動用紙選択も同時にするときは、印刷条件の「自動用紙選択」を「する」に設定するか、印刷オプションの「autopaper」も指定します。

RPCS ドライバーの「集約印刷」と同様の印刷をしたい

印刷条件の「マルチカラム」「マルチロー」、または印刷オプションの「multicols」「multirows」を指定すると、「集約印刷」と類似の結果を得ることができます。

マルチ TIFF データをファイル単位で部数指定したい

印刷オプションの「qty」を指定してください。このとき「pjl ＝ on」もあわせて指定してください。

lpr 印刷で印刷オプションを指定したい

印刷コマンドの使用方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Windows からファイルを直接印刷する」を参照してください。

3